ANNUAL REPORT REVIEW 2025

事業報告書・年誌

挑戦を未来の力に

～大志を抱き、誰かの為に挑み続ける～



©真島ヒロ

JCI NAGANO

ANNUAL REPORT REVIEW 2025

事業報告書・年誌

挑戦を未来の力に

～大志を抱き、誰かの為に挑み続ける～



©真島ヒロ

JCI NAGANO

The Creed of Junior Chamber International

We Believe :
That faith in God gives meaning and
purpose to human life ;
That the brotherhood of man transcends
the sovereignty of nations ;
That economic justice can best be
won by free men through free enterprise ;
That government should be of laws
rather than of men ;
That earth's great treasure lies in
human personality ; and
That service to humanity is the best
work of life.

【日本語訳】 JCI綱領

我々はかく信じる
真理は人生に意義と目的を与え
人類の同胞愛は国家による統治を超越し
公正な経済は我々の自由な経済活動によってこそ果たされ
政府には人治ではなく法治が必要であり
人間の個性はこの世の至宝であり
人類への奉仕が人生最大の使命である

1946年　原案作成
1947年　アメリカ青年商工会議所採択・JCI世界会議総会採択
1950年　全文完成・JCI細則に制定
1951年　文言一部追加
1953年　JCI定款に制定

JCI MISSION

To provide leadership development opportunities
that empower young people to create
positive change.

【日本語訳】

ＪＣＩのミッション（使命）

青年会議所は、青年が社会により良い変化をもたらすために
リーダーシップの開発と成長の機会を提供する。

（2022年12月17日 公益社団法人日本青年会議所 第11回理事会 採択）

JCI Vision

To be the foremost global network of
young leaders.

【日本語訳】

ＪＣＩのビジョン

青年会議所が、若きリーダーの国際的ネットワークを
先導する組織となる。

（2022年12月17日 公益社団法人日本青年会議所 第11回理事会 採択）

ＪＣ宣言

日本の青年会議所は
希望をもたらす変革の起点として
輝く個性が調和する未来を描き
社会の課題を解決することで
持続可能な地域を創ることを誓う

（2020年11月５日 公益社団法人日本青年会議所 第165回総会 採択）

綱　　領

われわれ JAYCEE は
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者　相集い　力を合わせ
青年としての英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

（1960年12月18日 社団法人日本青年会議所 第19回定時総会 決定）

CONTENTS

理事長所信…… 6
スローガン・事業基本方針…… 12
組織図…… 14
出向者名簿…… 16
挨拶・総評…… 17
2025年度事業報告・総会・理事会報告…… 31
委員長・無任所理事報告…… 38
委員会事業報告・活動報告・写真…… 48
出向者レポート…… 87
出席点数報告…… 107
年間事業ダイアリー…… 108
監事意見書…… 111
事業史チャート…… 112
ＬＯＭ年表…… 124

理事長所信



公益社団法人長野青年会議所
2025年度
理事長 **村田　雄介**

はじめに

私が長野青年会議所へ入会したのは2018年。当時、何も分からない新入会員ながらに感じたことを７年が経過した今でも鮮明に覚えている。それは例会や各事業で格好良く輝く理事長をはじめとする正副理事長会議や委員長、正会員の姿である。その姿は一つの事業に真摯に向き合い挑戦し、愉しみながらも積極的に活動を行っている姿であり、新入会員の私はその姿に強く惹かれ憧れを抱き、私の指針となっている。私は長野青年会議所をそんな誰もが憧れる格好良い大人が集まる組織にしたいと思っている。私が思う格好良い大人とは、マナーやモラルを守り、礼儀正しく、一つのことに真摯に向き合いひたむきに打ち込み挑戦する人である。では、格好良いJayceeとは何だろうか。議案や資料を作成しパソコンと向き合っている姿なのだろうか。委員会や会議を行っている姿なのだろうか。例会や事業を開催し登壇している姿なのだろうか。それとも光は浴びなくとも縁の下の力持ちに徹する姿なのだろうか。はたまた、懇親会で盛り上げ役に徹する姿なのだろうか。私はそのどれもが格好良いJayceeの可能性を秘めていると感じる。青年会議所は単年度で役職や立場が変わりその時々の環境によって新たな挑戦が生まれる組織である。その挑戦の中にJayceeや大人としての新たな学びと成長の機会があり、その様々な挑戦の機会こそが青年会議所の本質なのではないだろうか。その新たな挑戦にひたむきに打ち込み、格好良いJaycee、そして格好良い大人を目指そう。

青年会議所の使命は社会により良い変化をもたらすために青年にリーダーシップの開発と成長の機会を提供することである。青年会議所は常に成長と発展の機会が与えられる場所であり、まずは我々がここでしかできない学びと経験を得ることで、一人の市民、そして青年経済人として成長することが必要である。そして、地域の課題を解決する過程を通じて指導力の開発を行い、今日よりも明日をより良くするため、その指導力をもって社会に貢献しなければならない。私は入会以来、常に成長と発展の機会を求めて来たのだと思う。そこには輝ける会員の姿を見て、「この役職はどんなことをしているのだろう。」と思う好奇心と「こうなってみたい。」という羨望、そして「こいつには負けたくない。」という強い気持ちがあった。そういった成長を求める感情は人それぞれなのだろうが、近年では同期や同年代はライバルであるといった青年会議所ならではの文化が薄れてきているように感じる。同期や同年代は友情を育むべき良き友であると同時に研鑽を共にする良きライバルであり、それがさらに我々を成長させる要素の一つなのではないだろうか。ぜひとも全会員に成長のための良き友とライバルをもっていただき、有意義な成長と発展の機会を掴み取っていただきたい。そして何よりも青年会議所は常に一年に一度、新たな挑戦の機会がやって来る。毎年新たなリーダーのもと、役職や組織図がつくられ、新たな所信や委員会方針に沿って事業が展開されるのである。その事業を成功させるために、新たな知識を求め、周りに先駆けて行動を起こし、行政や市民、子どもや学生といった対外対象者を巻き込みながら明るい豊かな社会を実現するために挑戦を続けるのだ。それが我々Jayceeの成長と発展に繋がると確信している。

青年会議所は輝く個性が調和する未来を描き、社会の課題を解決することで、持続可能な地域を創ることを宣言している。それは青年会議所が発足以来長きに亘り地域社会を想い、青年の自由な発想と行動力で「明るい豊かな社会」を目指し、まちと人を巻き込んだ事業を展開することで、課題解決に向けた運動を推進し伝播させてきた実績と成果があるからであり、市民に対して青年会議所の存在意義を示してきたからである。しかしながら、移りゆく時代の中でその時その時の新たな課題が生まれ山積し、我々は常にまちの未来に考えを巡らせ、その新たな課題に対し柔軟な発想をもって事業を展開している。我々はスターターとして運動を創る組織であり、時代と課題に合わせた多種多様なステークホルダーの共感を得ると共に連携し、ハブとなることで運動を最大化させる必要がある。しかし、運動の推進はおろか事業を行うだけで終わってはいないだろうか。動員するためだけの体裁を整えた事業になっていないだろうか。また、それで自己満足をしているだけになっていないだろうか。例え対象者が少なくともその人の心に響く事業を展開し、強く想いを伝えることでその人の意識を変革しよう。それが周りの人に伝わり運動として伝播していくのではないだろうか。我々は地域や他団体に先駆けてムーブメントを起こす団体である。10年後20年後の将来を見据え潜在的な問題や社会課題をも掬い上げ、明確な目的

をもって恐れずに事業を展開し、誰にとっても魅力溢れるまちにするために、この熱い想いを一人でも多くの市民に伝播させることで、我々が住まうこの長野を輝けるまちにしよう。

確かな基盤とさらなる挑戦

これまで長野青年会議所は、厳格な組織運営のもと総会や理事会を開催するとともに、常に透明性をもった会計管理を行ってきた。それは72年目を迎える今となっても変わることはない。今後も先達が繋いできた組織をより強固な組織とするために公益社団法人として法令を遵守するとともに、公益性の追求と適切な会計管理を行っていくことが求められる。青年会議所運動はその強固な基盤と信頼の上に成り立ち、それがあるために青年としての自由な発想と情熱により多くの事業が展開されるのである。しかしながら、ここ数年は会員の当事者意識の希薄さから組織の最高意思決定機関である総会への出席が少なくなり、委任状による出席で「良し」としている傾向が見て取れる。総会への出席は会員の権利と義務であることを改めて意識し、組織の方向性を決定する総会において自らの意思で議決権を行使してほしい。また、毎月多くの議案書が上程され審議されている理事会では、事業の計画に対して会員から預かっている会費が適正に使われているのか、その事業計画と費用で事業が最大化されるのか議論されている。上程者が想いをもって作成している議案書に全会員が関心をもち意見を集約する機会を創ることで、さらに運動の最大化を図るとともに当事者意識を高めていきたい。総会や理事会、会計管理は直接市民と関わることはないが、一つひとつの総会や理事会が、周り回って誰かのためになり、笑顔を創っていくと確信している。そして、総会や理事会の承認を得ることができた上程者に対して、すべての出席者から敬意をもって拍手が送られる伝統を未来へ繋いでいこう。

長野青年会議所には強固な組織運営を行っている実績がある。だからこそ新たな挑戦の機会である出向という文化が根付いているのだと感じる。長野青年会議所が毎年多くの出向者を輩出しているのは、出向がこの組織やまちを飛び出しさらに羽ばたける機会であるとともに、出向者が世界や日本各地の会員と繋がることで新たなネットワークの構築や、各地のまちを訪れることで長野市の現状や課題を客観的に捉えることのできる貴重な機会であるからである。出向者にはこの組織を代表している自覚をもち、全国の多種多様な会員と交流し関係を深め、自身の成長や活動への意識向上の機会として捉えるとともに、全国各地へ赴くことでそのまちの風土や雰囲気を感じ出向を楽しんでいただきたい。そして、その経験と成長を全会員に伝えてほしい。それが未来の出向者を輩出するとともに、日本青年会議所や地区協議会、ブロック協議会との懸け橋となり、長野青年会議所をさらに成長させるのだ。また出向者をハブとした全国規模のネットワークは、近年増加する自然災害での支援において正確な情報収集と迅速な災害対応を可能とし、相互に支援を行う体制が整っている。これも長きに亘り長野青年会議所が多くの出向者を輩出し、日本全国から実績と信頼を積み重ねてきたからであり、今後もその信頼を積み重ねていかなくてはならない。そして、この組織に残る会員はぜひとも出向者を応援して欲しい。私も出向の経験があるが出向者は組織を離れ難しい環境の中で活動を行い、また違った不安と緊張の中で運動に邁進している。各種大会で声を掛けていただくだけでも心強く、この組織の会員が支えてくれているからこそ、組織の外へ飛び出し新たな機会に挑戦することができると感じる。この組織に残る会員は各種大会に参加し、長野青年会議所では味わえないスケールの大きな事業や新たな価値観に触れ、それをもち帰るとともに、出向者に労いと激励を伝えてほしい。出向の文化と組織の成長を未来へ繋げるため、全会員で出向者を応援しよう。

まちへの共感と学びの機会

長野青年会議所の認知度と広報力は常に課題の一つとなっている。長野青年会議所は長野びんずるや長野灯明まつり、青少年育成事業や地域連携事業など、このまちにとって有益な事業を数多く展開してきた。しかし、そのどれもが長野青年会議所が行っている事業だと認知している市民は多くはないのではないだろうか。本年は全会員が長野青年会議所の広告塔であることを再認識し、会員それぞれがより多くの市民へ広報することで認知度の向上と市民の意識変革を起こしたい。現代はインターネットやSNSの普及により、いつでも誰とでも繋がれる時代となった。多くの広報媒体がある中でどの媒体を使い、誰に何の目的でどんな情報を届けるのか、効果的な広報とは何なのか常に考えを巡らせ、改めて広報について検討することが必要である。これまで長野青年会議所が実施してきた多くの広報を精査しブラッシュアップを行うとともに、コンプライアンスに留意しながら正しい情報を伝え、このまちとの繋がりをより強固なものにし、長野青年会議所のファンを増やしていこう。

全会員に出席の義務と権利がある例会は、会員の一番身

近な成長と発展の機会である。例会は常に開催する側と参加する側の双方に学びと新たな発見があり、そして成長のきっかけとなる場であるとともに、会員としての資質向上の場であることが求められる。また、全会員が一堂に会する例会は、長野青年会議所の運動の方向性を確かめ、心を一つにする機会でなければならない。当然ながら参加する会員がいなければ例会は成り立たない。例会を構築する委員会は発信する側の決まりきった例会内容や展開、常識の枠に収まった発想になっていないだろうか。このまちのリーダーである我々が、このまち、この組織の課題を的確に捉え、課題解決に向けて調査研究し、英知と情熱と自由な発想をもって挑むことができれば、常識の壁を打ち破り、生きた情報や想いのこもった有意義な例会となるのではないだろうか。そんな情熱溢れる例会には多くの会員が出席するはずである。また、参加する側はマナーとモラルをもって参加し例会を傾聴する姿勢が求められる。月に一度の素晴らしい機会である例会を居眠りやスマホなど無駄に時間を過ごしてはもったいない。参加する側も事前に例会の趣旨や目的、参加することでどんな学びがあるのかを理解した上で参加してほしい。開催する側と参加する側でお互いに目的意識をもって例会に参加することで、全会員の心の方向性が一つになるのではないだろうか。伝統ある長野青年会議所の例会は、やって終わり、聞いて終わりではなく、その例会から新たな学びや気づきを得て会員としての資質を向上し、その後の行動に繋げるきっかけづくりの場である。自らの行動でこのまちを明るい豊かなまちにしよう。

国際交流の先駆け

我々青年会議所はそれぞれの地域をより良くすることで恒久的な世界平和を目指している組織である。しかし、第二次世界大戦の終結から2025年で80年を迎え、世界に目を向けるとウクライナ情勢や中東での紛争拡大の危機、そして中国の台頭やそれに伴った台湾有事の危機、さらには核の実戦配備が過去最大になるなど、世界は戦争という手段をもって他国に圧力をかけ、自らの力を誇示するとともに考えを強制しているように感じる。今、世界は混沌を極めているのではないだろうか。我々は民間外交の担い手として長きに亘り先頭を切って国際交流を行ってきた歴史があり、姉妹青年会議所であるソウル江北青年会議所と友好青年会議所である台中國際青年商會との友情を途絶えさせることなく続けていかなくてはならない。まちのリーダーである我々が国際的な視点をもつとともに貴重な機会である両青年会議所との交流に積極的に参画し、相互理解と多文化共生の精神を高めることが、このまちの国際化を推進する基盤となるだろう。その行動こそが恒久的な世界平和への第一歩となると信じている。また、新型コロナウイルスが日常から消え、ニューノーマルやアフターコロナは残りつつも世界は以前の様子を取り戻してきている。長野市在住の外国人は増加傾向にあるが、特にインバウンドの回復はこの長野市にも影響を与え、長野駅周辺や善光寺には外国人観光客が溢れつつあり、経済にも好影響を与えつつもオーバーツーリズムが心配される。市民の足である路線バスは土・日・祝日の運航を減便、または運休し、市外観光地への観光バスを増便しており、長野市民の足に影響を与えている。しかしながら、このインバウンドの増加をチャンスと捉えなければならない。冬季オリンピックを開催した国際都市「NAGANO」の魅力を再び世界へ広める契機とするのだ。このまちが国際都市として魅力を発信するためには、我々が広告塔となることはもちろんのこと、市民との協働により国際的な視野を広げ感覚を高める機会を創出することが必要であると感じる。このチャンスを市民一人ひとりの多文化共生と恒久的な世界平和への意識を高める機会として活用し、外国人の交流人口を増やし賑わいを創出することで、真に国際都市としての地位を確立しよう。

壮大な夢と自由な発想

2024年、平和の祭典であるパリオリンピック、パラリンピックが開催され、日本中が熱狂の渦に包まれた。ひたむきに競技と向き合い打ち込むアスリートからは多くのパワーと勇気、そして、感動を与えていただいた。このまち「NAGANO」でも、1998年に冬季オリンピック、パラリンピックが開催され、当時、中学生だった私も多くの会場に足を運び、憧れの選手に熱狂したことを覚えている。その長野オリンピック招致に向けて声を上げ行動を起こしたのがこの長野青年会議所であり、オリンピックの先駆けとして開催されたのが1996年の第45回全国会員大会長野大会である。この一連の青年会議所運動は長野青年会議所の存在を全国に広げるだけでなく、地域へ多くの経済効果をもたらすとともに、「NAGANO」の認知度を向上させ、国際都市として確立する契機となった。今、我々現役会員はこのような壮大な夢と自由な発想をもって青年会議所運動を行っているだろうか。前例踏襲の文化が染みついてはいないだろうか。今こそ、我々はこの状況を打ち破るため、10年先、20年先の将来を見据えた大きな目標をもち、困難な挑戦をすることでこのまちと組織の発展のきっかけとすることが必要だと感じる。その挑戦こそがこの

「NAGANO」、そして、長野青年会議所と会員それぞれにとってこのまちのリーダーとしての成長と発展の機会となると確信している。

長野青年会議所は創立72年目を迎える誇りと伝統ある組織だ。この72年の軌跡は先達が青年としての英知と勇気と情熱をもち、このまちのため、人のために全力で先頭に立ち、駆け抜けてきた歴史に他ならない。我々現役会員はそのことに感謝の気持ちをもち、青年会議所運動に邁進しなければならない。その青年会議所運動の方向性を示す指針となっているのが未来ビジョンである。未来ビジョンは10年先の未来へ向けて組織の目的や目標、価値観といった根幹を示すものであり、全会員が共有し意思を統一する道標である。「ヤングブルー」の精神のもと、新たなアイコトバ「青炎を灯そう」を胸に、本年は70周年未来ビジョンをもとに新たな挑戦を求め、運動の推進のための調査研究を行いたい。我々がこのまちについて考え、人を想い、自己成長のきっかけを創るのだ。また、本会の法人格に関する議論も忘れてはならない。全会員が闊達に議論を行い様々な意見を次世代へ繋いでいくことが必要である。この72年目の年は75周年、そして80周年に向けてさらに基盤を盤石にするとともに運動に推進力を与えていきたい。そして、このまちにおける長野青年会議所の存在感をさらに高めよう。

無限の可能性

無限の可能性を秘めている子どもたちは、このまちにとって宝であり、明るい豊かな社会の実現を目指す我々にとって将来への懸け橋である。我々、長野青年会議所は長きに亘り青少年育成事業に尽力し、このまちの子どもたちに様々な学びや体験の機会を提供し、郷土愛の醸成とリーダーシップの開発、将来への希望など、健やかな成長に寄与してきた。それは、その時々によって事業の姿や形は違えど、この「想い」だけは変わることなく先達から連綿と受け継がれてきた歴史があるからだ。しかし、現代の子どもの成長を取り巻く環境は常に変化しており、子どもが成長し自立する上で、実現や成功などのプラス体験はもとより、葛藤や挫折などのマイナス体験も含め、多様な体験を経験することが不可欠である。しかしながら、少子化、核家族化が進行し、子ども同士が集団で遊びに熱中し、時には葛藤しながら、互いに影響し合って活動する機会が減少するなど、様々な体験の機会が失われていると感じる。また、2019年に、WHO（世界保健機構）が、「ゲーム障害」を新しい依存症として認定してから久しく、現代の子どもたちは、ゲームやインターネット等の室内の遊びが増えるなど、偏った体験を余儀なくされているのではないだろうか。さらに、人間関係の希薄化により、地域社会の大人が地域の子どもの成長に無関心になり、積極的に関わろうとしない、または、関わりたくても関り方を知らない大人が増えていると感じる。子どもたちはこのまちの将来を担っていく存在として、我々子育て世代の大人が子どもたちの健やかな成長を促すために、様々な学びの場を提供し、新たな発見や体験、そして、それをもとに表現する力を付けることが求められているのではないだろうか。本年はそのような経験の提供を通じて、子どもたちのシビックプライドの醸成とリーダーシップの開発を図っていきたい。それが、このまちを誇らしく思い将来のリーダーとなって地域に貢献する契機となるはずである。

そして、2023年に新たに策定した70周年未来ビジョンでは、長野びんずる、長野灯明まつり、そしてこの「青少年育成事業」を長野青年会議所事業の３本柱とする戦略が掲げられ、2024年には、青少年育成事業として年度ごとに繋がりをもたせた新たなプロジェクト「JCINAGANOPLAN 80 ～Dream of Youthプロジェクト～」が発足した。その２年目にあたる2025年は、このプロジェクト名を強く打ち出した事業を行い、創立80周年に向けて長野青年会議所といえば「青少年育成」といわれるさらなる基盤を創ることで、行政や市民の認知度を高めるとともに、共感をいただき巻き込みながら、子どもたちに健やかな成長の機会を提供したい。シビックプライドの醸成とリーダーシップの開発でこのまちに多くの「Littleleader」を生み出そう。

まちの未来の為に

我々は青年の英知と勇気と情熱を結集し、このまちの明るい豊かな社会の実現に向け、地域社会の発展を図ることを目的に、行政や企業、市民や学生など地域社会からの共感と協働により長きに亘り青年会議所運動を推進してきた。今もなお長野青年会議所は先達から受け継いできたその基盤をもとにこのまちのより良い発展のため、ここで住み暮らす人のため、地域社会の先頭を駆け様々な事業を展開している。この長野市は都心からのアクセスの良さに加え、新幹線の延伸により北陸方面からのアクセスも良くなった。四方を山に囲まれ自然が溢れる四季が織りなす豊かさと、古くから伝わる小麦粉やそばなど粉もん文化が盛んな土地柄は「長野らしさ」としてそれぞれが魅力的だと感じる。しかしながら、長野市の総人口は平成22年をピークに減少を続けており、それに伴いまちの活気や賑わいも

減少しているように感じる。この現状を打破するためには、このまちに愛着をもって訪れる人たちや地域との関わりを多くもつ関係人口の増加が必要だと考える。日本政府は「将来にわたって活力ある地域社会の実現」を目指し、2014年に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。2020年からの第２期では、東京一極集中の是正の強化に取り組んでおり、我々は東京一極集中から地方分散への流れを捉え、柔軟に青年会議所運動を行わなければならない。その「長野らしさ」を強みに事業を展開することでこのまちに賑わいを創出し、地域に愛着のある関係人口を増やしていこう。

他方で、令和４年の長野県知事選挙では全体の投票率が40.94％と低く、特に若者の投票率は全体の投票率からさらに低いのが現状であり、選挙権者が18歳以上に引き下げられ若者が政治に触れる機会が増えてきてはいるが、若年層を巻き込んで社会全体が政治に関心をもち、当事者意識をもって参加することが必要である。しかし、近年、社会で広く取りざたされている政治不信を招いているのは有権者である我々市民が選んだリーダーであり、我々有権者は政治を自分ごととして捉え、自らに責任をもって主権を行使しなければならない。また、多種多様で複雑化した社会課題が存在する時代において、偏った世代のみの政治参加では真に明るい豊かな社会は訪れない。今後、この長野市が地方都市としての存在感を確立し、誰にとっても住み暮らしやすい魅力あるまちとなるためには、我々、有権者が未来への責任をもって政治参加するとともに、まちの未来を切り拓く若者が主体的に参画することが求められる。我々長野青年会議所は社会の責任世代として、まちのリーダーとして、子どもや若者の見本となる行動を起こすとともに、政治参画への意識づけを行い、共に社会課題の解決へ向けた行動を起こす契機を創出したい。2025年は長野市長選挙をはじめ、多くの選挙の機会が予定されており、まち全体で主権者としての意識を醸成し、政治や選挙、社会課題への関心をもつとともに、このまちの一員としての当事者意識を高めるきっかけを与えよう。そのきっかけが市民の行動力を高め、誰もが憧れるまちへと発展すると確信している。

平和への祈り

長野灯明まつりは善光寺へのライトアップと灯り絵による暖かな灯りで、善光寺界隈を幻想的な光に包み込み、善光寺を照らすその静かな灯りは、1998年冬季長野オリンピック、パラリンピックの平和への願いを祈る灯りであり、その雰囲気は冬の寒空のもと平和への想いを改めて考える機会となっている。本年で第二十二回目を迎え、夏の長野びんずると並び冬の長野を彩る風物詩となった長野灯明まつりは、近年では再開発された城山公園を活用し、灯り絵を並べるとともに、夜空に浮かぶLEDランタンを開催するなど、新たな取り組みやイベントで多くの来場者を集め、その平和への祈りを長野市民や市外からの観光客、外国人観光客と共有している。また、昨年は長野市が開催しているNAGANO DESIGN WEEKとの共催により、善光寺へと続く中央通り沿いのイルミネーションやながの表参道セントラルスクゥエアでのイベントの開催により、まち全体がまつり一色となることで、まちに活気を与える機会となるとともに、観光資源としても価値が向上していると感じる。しかし、長野灯明まつりを開催するにあたり、運営方法や資金面などの課題は依然として残されているのが現状であり、全体事業でありながらも会員の当事者意識の希薄さが顕著になるなど、継続開催を組織の総意とした長野灯明まつりを未来へ繋いでいくためには、さらなる仕組みと意識の醸成が必要であり、常に考えを巡らせ問い続けることが、この伝統になったまつりを次代へ繋いでいくためにできることなのではないだろうか。第二十二回長野灯明まつりは新たな試みとして公開例会として開催することを検討したい。その試みにより全体事業としての全会員の当事者意識を図るとともに、運営面での効率化に寄与できるのではないかと考える。また、その効果の検証と考察を第二十三回長野灯明まつり以降に引き継いでいき、継続開催へ向けて試行錯誤を続けていくとともに、灯り絵が文化としてこのまちに根付き、誰もが身近で当たり前の存在として認知される取り組みを行いたい。長野灯明まつりはこのまちにとって平和への祈りを全世界へ発信するとともに、観光資源としてまちに活力を与える財産となるまつりだ。この伝統ある貴重なまつりを次代へ繋いでいくため、全会員が当事者意識をもって挑み続けよう。

青年会議所運動の根幹

2025年は長野青年会議所にとって大きな転換点となると考えている。それは2024年と2025年に多くの経験を積んできた会員が卒業を迎えるからである。そのような状況の中にある長野青年会議所は今後もこの組織をどのように成長させ発展させていくのだろうか。全国的に見ても青年会議所の会員数の減少が課題となっているが、この長野青年会議所においても2010年の264名をピークに減少の一途をたどり、現在では約半数になってしまった。会員数の減少は

単純にこの組織の力の低下を表しており、各委員長が想いをもって構築する事業実施のための費用の圧縮を迫られるとともに、マンパワーの不足に直結する。また、事業実施のために会員一人ひとりの資質を上げようとも、会員同士の研鑽の機会は減少してしまう。やはり青年会議所運動を最大化させるためには多くの多種多様な人財が必要であり、性別や国籍、職種にこだわらず時代に即した人財が求められている。また、会員拡大は会員にとって貴重な成長の機会であり、まだ見ぬ人財に出会うことができる貴重な事業だ。会員拡大は我々青年会議所運動の１丁目１番地と言われるが、青年会議所を知らない対象者へこの想いと情熱を伝え意識変革を起こし入会へ導く。その行動こそが青年会議所運動の根源なのではないだろうか。まさに１丁目１番地なのである。この組織の発展のためには多くの人財が必要であり、まだ見ぬ同志に会員一人ひとりがこの組織の魅力を伝えることが会員拡大のカギとなる。会員拡大は全体事業だと理解し、当事者意識をもって取り組んでもらいたい。その積極的な取り組みが自身の成長に繋がり、組織の成長と発展に繋がるのだと確信している。自己成長を求め、この組織の魅力を多くの市民に伝えることで、未来へ繋がる多くの同志を迎え入れよう。

真の市民総和楽・総参加

第55回目を迎え節目となる長野びんずるは、先達が長きに亘り情熱をもって挑戦を続けてきた祭りであり、この長野市にとって夏の風物詩としてなくてはならない祭りである。我々はその歴史に敬意を表すとともに感謝をしなければならない。善光寺で約1400年絶やすことなく燃え続ける「常燈明」を採火し、その燈明を灯した大火釜を中心に多くの市民が踊り、まち全体が一体となる伝統ある祭りは一年で一番の熱をまちに生み出す。しかし、2020年、2021年の新型コロナウイルスの影響による祭りの中止は多くのネガティブな影響を与えた。それはニューノーマルといった新たな価値観による人と人との繋がりの希薄さや、働き方改革といった企業や各団体の組織の在り方による結束力の低下であり、長野びんずるの根幹である踊り手の減少が見て取れる。コロナ禍での２年の中止を経て、現在までに徐々に祭りの規模を戻しつつも、以前の参加者数には届いていないのが現状であり、この祭りの発展を図るためには、市民が互いに打ち解け楽しむ「総和楽」と、市民が創り上げる祭りである「総参加」の基本理念を広く伝播させ、真の「市民総和楽・総参加」の実現が必要であると感じる。本年、第55回長野びんずるは祭りの規模、踊り手、観覧者数をコロナ禍以前に戻し、多くの参加者が集い想いを一つとする熱く魂の籠る祭りとしたい。その先頭を我々長野青年会議所が走り、この伝統と歴史ある祭りをさらに発展させ市民の地域愛の醸成を図るとともに、まちの活性化に貢献し、未来へ繋いでいく熱き挑戦を続けよう。

結びに

1953年７月22日、わずか25名の熱き情熱と高き志をもった青年によって発足した長野青年会議所は本年で創立72年目を迎える。これは長きに亘る先達の弛まぬ努力と挑戦の継続によってその伝統と歴史を積み重ねてこられた年月である。我々はその功績に感謝し青年会議所活動を行うとともに、さらにこのまちをより良くするためその高き壁を越え努力と挑戦を積み重ねなければならない。長野青年会議所の指針である70周年未来ビジョンを策定した2023年、その未来ビジョンをもとに新たな一歩を踏み出した2024年。2025年はその高き基盤をもとにさらに青年会議所運動を加速させ推進する一年である。そのためにも会員一人ひとりがこの瞬間も成長するために、多くの仲間と共に困難な課題に立ち向かい挑戦し、そのチャンスをものにすることでより良く自らを変え、この長野青年会議所で圧倒的なリーダーシップを身につけよう。私はその成長が「まちの為、人の為、誰が為が、自分の為になる。」そう信じている。そして、将来への希望を抱き挑戦を続ける大きな志をもった多くの会員をこのまちに増やしていきたい。先達から繋がれた次代を創るリーダーを輩出し続けている長野青年会議所は、このまち、ここで住み暮らす人たちをより良く変えるチカラをもっていると確信している。目指すべき将来を強くイメージし、強く願い、弛まぬ努力を続ければ、それは必ず近いカタチとなって実現する。

我々は時代に対応するのではない。
高き理想を掲げ、圧倒的なリーダーシップで次代を創るのだ。

会員一人ひとりが目指すべき姿を想像し、挑戦を続ける。
その歴史を共に繋いでいこう。
このまちの輝ける未来のために。

挑戦を未来の力に
～大志を抱き、誰が為に挑み続ける～

公益社団法人長野青年会議所
2025 年度　事業計画（抜粋）

スローガン



事業基本方針

- 先達から受け継がれた厳格な組織運営と出向文化を未来へ繋げるため、さらに強固な基盤をもつ組織を築き上げ、このまちと共に新たな挑戦を続けていこう。

- 恒久的な世界平和を目指し、リーダーとしての資質を向上させるとともに、我々の運動の魅力をまちに響かせ、次代を見据えた新たな価値を育もう。

- このまちや組織の輝かしい未来のために歩みを進め、我がまちを愛し牽引していくリーダーとなる人財を育成し、夢溢れる「NAGANO」へと未来を仕掛けよう。

- 市民一人ひとりの主体的にまちづくりに関わる意識の醸成と弛まぬ平和への願いと灯りを継承し、次代へと繋がる活気溢れるまちの実現を目指そう。

- 会員一人ひとりが、未来を創る新たな同志を迎え入れる起点となり、節目を迎える市民祭を、まちを挙げて創り上げ、このまちと共にさらに高く飛躍しよう。

〈 管 理 者 〉	小林　徹哉
〈管 理 者 補 佐〉	宮沢　洋平
〈会 計 責 任 者〉	白土巴瑠香
〈会 計 担 当 者〉	小森　穂高
〈規 則 責 任 者〉	白土巴瑠香
〈規 則 担 当 者〉	町田　信也
〈事 務 局 長〉	池田　竜一

専務理事	副理事長
白土巴瑠香	宮尾　龍介

室	志縁室	響和室	
室　長 （理　事）	池田　竜一	宮尾　龍介	
委員会	総務渉外	広報例会	国際交流
委員長 （理　事）	大工原遼太	黒岩　　龍	楢本　大介
副委員長	小澤　太郎 宮澤　拓也 宵野間宏秋	小泉　　渓 佐藤　　廉 堀内　清文	武内　祐磨 西宮　大士 横川　　歩
委　員 （◎顧問） （〇理事）	内田　　涼 太田　和希 太田　裕三 小林　　巧 〇小森　穂高 堀内　陽介 三村　拓人 渡辺　大輔	海野　良瑛 関原　　司 杉本　　陽 戸谷　保明 〇町田　信也 丸山　真一	石井　拓弥 岡藤　　旭 ◎加藤　昇平 河原崎　瞬 清水　　努 鈴木　　剛 滝沢　洋介 〇宮澤　　遥
2025年 前期準会員	黒田　泰斗 水島　彩花	青木　孝裕 両角　　享	

2025年 後期準会員	猪又　　剛	大川　雅士	児玉　晃喜
	小林　大晃	髙見澤秀毅	武田まりん
	橘　　俊雄	西澤　順一	

公益社団法人長野青年会議所2025年度 組織図

総　会

監　事
松橋　丈雄
田上　直寿
礒　宏典
福島　勇太

理事会

理事長
村田　雄介

顧　問
伊藤　拓宗
加藤　昇平

直前理事長
有吉　隆

総括副理事長
唐木沢正晃

副理事長	副理事長	副理事長
山崎　義明	若林　裕士	小林　徹哉

共進室	推連室	飛躍室
山崎　義明	若林　裕士	小林　徹哉

未来黎明	青少年共創	市民力向上	灯明	会員拡大	びんずる	理　事
西澤　準	原山　大樹	高野　裕也	峯村　侑弥	宮沢　洋平	伊藤　陵輔	北島　謙治
清水　亮	小渕　哲	鈴木　晴海	武野　成哉	徳竹恵里香	落合　拓	窪　智敬
千川　龍馬	佐藤　太一	永戸　貴大	長澤　瑞樹	中野　大輔	片平　大地	倉島　盛朗
室賀　直	多田　了	和田　凌弥	林部　祐也	松本　拓城	峯村　直樹	小森　穂高
◎伊藤　拓宗	大島　裕太	飯田　達也	飯塚　大	岩井　勇樹	石坂　智毅	塚田　翠
金丸　望美	荻原　和	○倉島　盛朗	○窪　智敬	長田　竜樹	大垣　俊稀	福岡　正芳
小林久美子	荻原　功吉	佐藤真利郎	鈴木　一平	金城　将太	○北島　謙治	町田　信也
櫻井　幸仁	小山　美喜	徳武　郁人	田牧　勇気	北村　亮	鈴木　賢一	宮澤　遥
○塚田　翠	島津　恵子	長堀　世輝	中島　輝人	小林妃世希	竹内　進	若麻績憲義
鶴見　真慧	高瀬　成博	納富　允	柳澤　龍志	小林　圭	橋本　諭	
吉池　悠汰	遠山　裕太	堀内　諒	柳島　我智	轟　敬輔	原　竜太	
	豊田　航	町田　功志		西川　豪	横田　将	
	○福岡　正芳			○若麻績憲義		
塚田壮太郎	有馬　拓也	岡田　奈々	作田香織莉			
宮下　晴幸	三村　拓馬	和田さおり	宮﨑　由衣			

（2025年12月31日現在）

公益社団法人長野青年会議所　2025年度出向者名簿

■公益社団法人　日本青年会議所

〈国際グループ〉

JCI関係委員会	委員	礒　宏典

〈組織グループ〉

会員拡大委員会	副委員長	若麻績憲義
	委員	石井　拓弥
	委員	清水　努
	委員	高瀬　成博
	委員	遠山　裕太
	委員	橋本　諭

〈総務グループ〉

規則審査会議	副議長	宮澤　拓也
	委員	内田　涼
	委員	岡藤　旭
	委員	北島　謙治
	委員	櫻井　幸仁
	委員	鈴木　賢一
	委員	鶴見　真慧
新JCビル建設準備委員会	委員	窪　智敬
渉外委員会	委員	伊藤　拓宗

■公益社団法人　日本青年会議所　北陸信越地区協議会

レジリエンス強化委員会	運営幹事	宵野間宏秋
	委員	有吉　隆
	委員	倉島　盛朗

■公益社団法人　日本青年会議所　北陸信越地区協議会　長野ブロック協議会

	監査担当役員	加藤　昇平
事務局	事務局次長	中野　大輔
信州のまごころ育成委員会	運営幹事	町田　功志
	委員	倉島　盛朗
信州の未来を担う人財育成委員会	委員	北村　亮
活気あふれる信州人育成委員会	副委員長	小林　巧
	委員	鈴木　剛

挑戦を未来の力に

～大志を抱き、誰かの為に挑み続ける～

挨拶・総評



理事長所感「挑戦を未来の力に」



理事長
村田　雄介

多くの時間と情熱を費やし誰が為にJC運動に邁進されたメンバーの皆様、日頃より我々の運動にご賛同いただいている賛助会員の皆様、また、物心ともに温かなご支援とご協力をいただいている長野青年会議所シニアクラブの皆様、行政関係者、関係諸団体の皆様、そして、このまちに住まう皆様に、一年間、計画通りに事業を展開し運動を推進することができましたことをご報告するとともに、多大なるご支援とご協力をいただきましたことに心より御礼を申し上げます。

昨今の厳しい経済情勢や人口減少による超高齢社会、生産年齢人口やまちの賑わいの減少など、このまちが多くの課題を抱えている中で2024年から高きバトンを受け取った本年は、よりJC運動を加速させる１年だと考えスタートし、スローガンに「挑戦を未来の力に」～大志を抱き、誰が為に挑み続ける～と掲げ、メンバー一人ひとりが大きな志をもって将来への希望や理想を抱き、まちの為、人の為、誰が為に新たな挑戦を続けることでそれぞれのメンバーと長野青年会議所のさらなる成長と発展、そして、このまちの輝ける未来へ繋げるためにJC運動を推進してまいりました。

各委員長には予定者段階から綿密な調査研究を行っていただき、誰のために、何のために、どんな目的をもって事業を行うのか。また、それにもとづいた計画と事業構築を行っていただいたことから、限られた予算、少ないマンパワーでも最大限の効果をもった事業を展開することができたと感じております。特に本年は多くの対外事業を行い、最終最後まで気の抜けない１年ではありましたが、そのどれもが素晴らしい成果を上げ、このまちと市民により良い変化となるインパクトを与えたものと感じております。

また本年は組織としても変革の１年となり、40年間変わらなかった正会員の年会費を増額するという重大な決断をさせていただきました。この年会費の増額により長野青年会議所らしく青年としての自由な発想と壮大な夢を描き、それを実現するための事業に自由度をもたせることができたと思うとともに、このまちや市民にインパクトを与え、メンバーにとって有意義な事業を行うことができると確信をしております。

また、メンバーの皆様には年当初から自らの将来像や高き理想を掲げ、「まちの為、人の為、誰が為が、自分の為になる」と、新たな挑戦をして欲しいとお伝えしておりました。12月例会を終え皆様の姿を拝見しますと堂々と達成感に溢れた姿を見ることができました。誰が為に新たなことにチャレンジし、メンバーそれぞれの成長を見ることができた１年だったと思うとともに、長野青年会議所のもつチカラを再度確認することができ、「明るい豊かな社会」の実現にまた一歩近づくことができたのではないかと感じます。ぜひとも、この１年間、JC運動に邁進した自らに自信と誇りをもって欲しいと思います。

2026年は、スローガン「真華～時を得るために～」のもと、これまでの挑戦を礎に、さらに力強く華開く１年となることを心より期待するとともに、JCでしかできない経験とJCでしか作れない想い出を心に刻んで欲しいと思います。

１年間、その道のプロフェッショナルとして輝きを放った９名の委員長、また、それを支えJC運動に邁進していただいたメンバーの皆様、組織を支えていただいた理事の皆様、LOMを飛び出し活動をしていただいた出向者の皆様、そして１年間、私と苦楽を共にした正副理事長会議の皆様に心より感謝申し上げます。

先達が積み重ねた歴史を受け継ぎ、72年目の本年もしっかりとその足跡を残すとともに、未来へ繋ぐことができると感じます。１年間、皆様と共にJC運動に邁進し、挑戦を未来の力にすることができたことを誇りに思います。

「挑戦を未来の力に」～大志を抱き、誰が為に挑み続ける～

１年間ありがとうございました。

直前理事長所感



直前理事長
有吉　　隆

直前理事長といたしまして、2024年度の想いを引継ぎ、運動を昇華させ１年間素晴らしい運動を牽引いただきました、村田理事長を始めとする執行部の皆様、そしてLOMのメンバー全員に感謝を申し上げます。

毎週激しい激論が交わされる正副理事長会議というのが私の耳にも入ってまいりました。久々にここまで拘りを持って会議する会議を１年間通していただく執行部だったのではないかと思います。それに応えるように素晴らしい事業を展開してくださった委員長の皆様。前年度からの流れを踏襲する事業。全く新しい分野にチャレンジする事業。我がまちとLOMの行く末を導き出す事業など、村田色が濃く出た１年間であったと感じている次第です。

特に本年度は選挙イヤーということで、まちの首長のみならず、世界で日本でと激動の政治変動があった１年でした。その中で若者の政治参画や主権者意識の向上を目指した事業は非常にタイムリーかつ、JCだからこそやるべき事業の選択であったように感じています。一方でLOMの行く末を不安に思う事も増えてきました。理事一人ひとりの矜持と意識の問題。新入会員の入会状況そしてサポートは充分なのか。全体事業への参加姿勢や、例会の出席率、委員会の開催状況等、会員のコンプライアンス問題等これまで先達が歯を喰いしばりながら残してきたものが一つまた一つとおざなりになっている現状も見て取れます。もちろんアップデートできている点、自信を持って誇れる事業やLOMとしてのここぞの一体感など、長野青年会議所の良い部分も沢山あるだけに、今一度自分たちの足元を見つめ直し、長野青年会議所の存在意義そして、我々メンバーの気概をもう一段階高めていくことが今後の我々には求められています。青年会議所だからこそ、色んな人や団体を巻き込み、突き抜けたことを、突き抜けた規模で、突き抜けたスピード感で牽引していく。それが出来たら我々はもっとカッコイイじゃないですか。本年度村田理事長が挑戦を未来の力にのスローガンの下、この土台となる礎を築いてくれたと思います。残るべきメンバーはさらに長野青年会議所の存在感を、存在意義を発揮していこうじゃないですか。JCは他の団体にない多様性を持っています。長野青年会議所はこの多様性が他LOMに比べても色濃いものだと感じています。この多様な価値観をもつメンバー同士が必死になって創り上げる中で、社会に対して青年として堂々と意見を表明する、場合によっては具体的な行動を興してみる。JCの不連続の連続たる運動のなかで、一人一人が、また長野青年会議所が光り輝きながら、社会と地域に揺らぎを与えることになることができると、私は信じています。最後に改めましてこの激動の１年間を中心になって舵を取っていただいた村田理事長を筆頭とする執行部の皆様、そしてメンバーの皆様に感謝申し上げ、私の感じている所感に代えさせていただきます。2025年度ありがとうございました。

ご挨拶



顧問
伊藤　拓宗

「挑戦を未来の力に～大志を抱き、誰が為に挑み続ける～」のスローガンのもと、2025年を駆け抜けられた村田理事長をはじめとする役員の皆様、そしてそれを力強く支えられたメンバーの皆様に、心から敬意と感謝を申し上げます。

「挑戦」というスローガンのとおり、対外事業においてもLOM内の運営においても、数多くの新しい試みを果敢に実行され、未来へとつながる確かな功績を残された一年であったと感じています。これらは今後の長野青年会議所にとって、大きな財産として受け継がれていくことを確信しています。これもひとえに、村田理事長の卓越したリーダーシップと、それを支えた正副理事長の皆様、また多くの事業に懸命に向き合われた委員長の皆様、そして運動に邁進された全てのメンバーの皆様のご尽力の賜物にほかなりません。素晴らしい形で2026年へとバトンが渡されることを、大変嬉しく思っております。

スローガンのサブタイトルにある「誰が為に」という言葉は、まさにJayceeの本質を表していると感じています。多くのメンバーは入会の動機として、「人脈をつくりたい」「成長したい」「仕事につなげたい」といった、いわゆる「自分の為」を掲げて入会されていると思います。しかしJC運動に取り組む中で、その動機は次第に「仲間の為」「お世話になった人の為」「地域の為」へと変化していきます。利己主義が増長しがちな近年の社会情勢において、利他の精神の重要性、そしてJC運動がもたらす人材開発の価値の一端に、あらためて気づかされた一年でもありました。

まちづくりもひとづくりも、決して短期間で成果が見えるものではありません。本当の成果が表れるのは、何年も先のことです。だからこそ、常に未来を見据え、広い視野を持って行動することが求められます。そのような視点を持ちながら、能動的に挑戦し続ける運動が今後も継続されていけば、長野青年会議所の存在価値はさらに高まり、より一層地域に必要とされる組織になると確信しています。また、一人ひとりが「昨年の自分よりも、今年の自分は成長できた」と胸を張って言える年を重ね、その経験を翌年以降のLOM運営や地域社会へと還元していける組織であることを心から願っています。

私自身は顧問として、理事長をはじめLOMの皆様のお役に立てたかを振り返ると、反省することばかりではありますが、卒業を迎えた今、これまでにいただいた多くのご縁とご恩を、また違った形でLOMや地域にお返ししていきたいと考えております。

結びとなりますが、本年も多くの方々に大変お世話になりましたことに、あらためて御礼申し上げますとともに、来る2026年が「真華～時を得るために～」のスローガンのもと、皆様にとって実り多き素晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げ、顧問としてのご挨拶とさせていただきます。

一年間、本当にありがとうございました。

顧問総評



顧問
加藤　昇平

本年度、顧問という立場で皆様の活動を間近に拝見し、その力強さに深い感銘を受けました。まずはじめに、本年度の組織を牽引された村田理事長をはじめとする正副理事長会議の皆様へ、心より敬意と感謝を申し上げます。村田理事長の強靭なリーダーシップのもと、市長への提言書の提出をはじめ、対外的にも確固たる存在感を示されました。大きな混乱もなくこの伝統ある組織を守り抜き、安定した政権運営を全うされたその手腕は、称賛に値するものです。また、各委員会の「顔」として現場の最前線に立ち、メンバーを力強く先導された理事の皆様。皆様の献身的なリーダーシップがあったからこそ、各事業は輝きを放ち、多くの実りをもたらしました。組織の根幹を支えてくださった皆様に、厚く御礼申し上げます。

さて、本年度は私自身にとっても、2023年の理事長時に策定に関わった「70周年未来ビジョン」について改めて考える機会が非常に多い１年でした。このビジョンは単なる指針ではなく、これまで長野青年会議所の歴史を築き上げてこられた先輩方すべての魂が込められた、情熱の結晶でもあります。ビジョンに掲げた「GAME CHANGE」という言葉が、今の現役メンバーの皆様によって具体的な形となり、新しい価値を生み出している様子を見ることは、当時の理事長としてこれ以上の喜びはありません。先輩方の想いを受け継ぎつつ、今この瞬間を全力で生きている皆様が自由に未来を描いていく。それこそが、私たちがビジョンに託した真の願いであり、長野青年会議所のあるべき姿なのだと改めて実感いたしました。

こうした歴史の重みや先輩方の想いがあるからこそ、時には先輩方から「今の現役は物足りない」といった厳しい叱咤激励をいただくこともあるかもしれません。しかし、それは決して否定ではなく、自分たちが情熱を注ぎ、誇りを持ってこの組織を駆け抜けたからこそ湧き出る、期待の裏返しなのです。愛があるからこそ、今の現役はどうなっているんだと気にかけてくださる。そうした先輩方の熱い想いこそがこの組織の源流であり、未来ビジョンという形となって皆様に受け継がれているのだと思います。どうかその言葉を、皆様の誇りと自信に変えていただきたいのです。

私は本年をもって卒業となりますが、これから先、皆様がこの青年会議所という最高の舞台で必死に汗をかき、事業運営に奔走する姿が風の便りに聞こえてくるのを、何よりも楽しみにしています。議案作成に苦労し、時には壁にぶつかりながらもリーダーシップを発揮しようと抗う姿。あるいは、仲間に恥ずかしいところを見せながらも、共に切磋琢磨する姿。どんな姿であっても構いません。ここでしかできない一生ものの経験を積み、一生の友をつくってください。そしていつか卒業を迎える時に、心から「やっていてよかった」と胸を張って言えるように、今という時間を全力で駆け抜けてください。皆様が創り上げる、新しくも逞しい長野青年会議所の輝かしい未来を心から信じています。１年間、本当にありがとうございました。

卒業監事の葛藤



監事
礒　　宏典

14年半にわたる青年会議所活動の最後に、名誉でもある公益社団法人長野青年会議所の監事という大役をお預かりし、一年間務めさせていただきました。これまで委員会活動や役職を通じて多くの経験を重ねてきましたが、この節目の年に監事という立場を任せていただけたことは、私にとって大きな誇りであり、同時に身の引き締まる思いでもありました。

監事という役職は、会計や業務の適正を確認し、組織が正しい方向へ進んでいるかを見守る立場であり、青年会議所の活動において欠かすことのできない重要な役割です。数字や議案の一つひとつに向き合いながら、公益社団法人としての責任の重さを改めて実感した一年でもありました。その一方で、理事や委員会の第一線からは一歩距離を置く立場でもあり、卒業を迎える最後の年度にこの役職を担うことは、正直なところ、少し淋しさを感じる時間でもありました。

それでも私は、監事だからといって「外側」に立ち続けるのではなく、できる限り皆さんに近い目線でこの一年を過ごしたいと考えていました。事業に参加し、現場の空気を感じ、仲間の表情や想いに触れることで、議案や数字だけでは見えない青年会議所の価値や、メンバー一人ひとりが持つ熱量を感じ続けていたかったからです。監事という役割を果たしながらも、一人の会員として、皆さんと同じ方向を向いていたい。その気持ちを最後まで持ち続けることができました。

その背景には、事業に真剣に向き合う皆さんの姿がありました。悩みながらも前に進もうとする姿、仲間を思いやりながら組織を良くしようとする姿に、何度も心を動かされました。時には迷い、立ち止まりながらも、それでも前を向く皆さんの姿を間近で見られたことは、監事という立場だったからこそ得られた、大きな財産です。

振り返れば、頼りない監事だったと感じる場面も多々あります。至らぬ点や、十分に応えきれなかったこともあったかもしれません。それでも、そんな私を受け入れ、支え、共に活動してくださった皆さんには、感謝の気持ちしかありません。14年半の活動を通して得た経験、人とのつながり、そしてこの一年で感じた想いは、これからの人生においても、必ず私の支えとなるはずです。

最後になりますが、これまで共に歩んでくださったすべての皆さんに、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

監事総評



監事
福島　勇太

2025年、日本は「団塊の世代」が75歳以上となる「2025年問題」が社会の現実として深く胸に刺さる年となりました。医療や介護、社会保障の負荷が一段と増す中で、地域・行政・企業それぞれに重い責任がのしかかる社会情勢を、私たち青年経済人として他人事ではなく、自分事として見つめた年だったと感じます。

本年度、長野青年会議所は村田理事長が掲げるスローガン、「挑戦を未来の力に～大志を抱き、誰が為に挑み続ける～」のもと、地域の未来を見据え、青年らしい情熱と覚悟をもって運動を展開されました。村田理事長を中心に、理事・委員会メンバーそれぞれが高い志を胸に、一つひとつの事業に真摯に取り組んだ姿勢に、まず心から敬意を表します。

一年を通じて、社会の変化が加速する中にあっても、決して立ち止まることなく、地域のため、仲間のために挑戦し続けました。その挑戦の根底にあったのは、「誰かのために行動すること」への精神がこの組織を支える原動力であったと感じております。

監事として理事会や各事業の現場を拝見する中で、成功の裏にある努力、そして時にメンバー同士がぶつかり合いながらも互いを信じ、助け合う強い絆を幾度も目にしました。挑戦には困難が伴います。しかし、困難を乗り越える度に、少しずつ成長し、組織としての結束が深まっていく過程こそが、まさに「未来の力」へと繋がる歩みでした。また、各委員会がそれぞれの立場から工夫を重ね、地域に寄り添う事業を実施されたことも特筆すべき成果です。その取り組みの一つひとつが、長野市にしっかりと足跡を残し、次代の長野青年会議所の財産となったことは間違いありません。地域の課題に真正面から向き合い、改善を積み重ねるその姿勢こそが、我々Jayceeの精神であり、未来を拓く力となるでしょう。

本年度を通じ、村田理事長の揺るぎない信念とリーダーシップのもと、メンバー一人ひとりが自らの役割を全うし、地域社会に誇れる活動を成し遂げたことは、何よりの成果であり誇りです。この一年で得た経験と絆は、必ずや次なる世代へと受け継がれ、長野青年会議所の更なる発展を支える礎となると確信しております。

結びに、すべてのメンバーの努力と情熱に深く敬意を表するとともに、本年度の運動が、これからの未来を照らす確かな光となることを心より願い、監事としての総評とさせていただきます。

監事を２年受けたという爪痕は設立72年来初でした。拙い監事講評にお付き合い頂きありがとうございました。貴重な経験をありがとう！！

総括副理事長　総評



総括副理事長
唐木沢正晃

「挑戦を未来の力に～大志を抱き、誰が為に挑み続ける～」をスローガンとした2025年度の長野青年会議所。まずは、年度当初計画していた全ての事業が無事、開催・実施できたことをこの場をお借りしてご報告申し上げます。

さて、本年度の活動として特筆すべき１点目は、全12回の例会中５回を公開例会として実施したことをはじめとし、対外向け事業を数多く実施したことです。いずれも多くの来場者に参画いただき大盛況のうちに実施できたこと、それにより多くの市民の意識変革・行動変革を促すことができたことにつきましては、担当委員会の尽力の賜物です。

なお、公開例会を例年よりも数多く実施した背景には、本会が未来に向けて発展を図る上で市民の皆様による本会の認知、理解の促進が必須でありますところ、年度を通して「長野青年会議所のAction」を市民の皆様に知っていただきたかったという私個人としての想いもあったことを申し添えます。

また、２点目として、本年度の新たな試みも数多く実施いたしました。長野灯明まつりを初めて公開例会という形で実施し、会員の同まつりへの向き合い方を再確認した他、２年目を迎えた「NAGANO JC PLAN80～Dream of Youthプロジェクト～」では、当プロジェクトの認知度を飛躍させるべく「EXPO」という形を提案するとともに、当プロジェクトのロゴマークを制作し、組織を挙げてプロジェクトの一層のブランディングを図ってまいる機運を高めることが叶いました。「長野市長選挙立候補予定者公開討論会」においては、討論テーマを市民の声から選定すべく、テーマ選定に関する「街中アンケート」を長野駅前善光寺口にて実施し、公開討論会に対する市民の皆様の興味関心を誘引するとともに、民意をもとに選定された討論テーマを用意できたことで、立候補予定者の皆様の熱い想いやメッセージを引き出すことが叶いました。

さらに、３点目として、長野市長に対する政策提言「スポーツ×教養でつくる 帰りたいまち、ずっといたいまちNAGANO」、「未来リーダーズ・フォーラム」参加学生の提案書の取りまとめと提出補助、長野市教育課に対する「灯り絵を長野の文化にする事業『あかりのまち　ながの灯り絵出張工房』」についての事業パッケージ化に関する提案書の提出と、行政に対する働き掛けも例年にないvolumeにて実施いたしました。特に後二者に関しては、フォーラムや出張事業について「実施して終わり」にせず、未来へ繋げることを主眼に展開いたしました。2026年以降、我々が蒔いた種がいつか目を息吹かせることを願い、その時を心待ちにしたいと存じます。

さて、事業実施の他にも、本年度は約40年振りに正会員の会費を増額する決断をいたしました。また、「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」の改正に対応し、かつ2026年１月より本会に外部理事を設置するための定款及び各種規程の変更を敢行いたしました。村田理事長の旗振りのもと、本年度の会員によるこれら重大な決断は必ずや本会の未来を力強く輝かせていくものとなると確信しております。

末尾となりますが、2025年度の本会の活動・運動にご支援ご協力いただきましたすべての皆様に厚く御礼を申し上げて、2025年度総括副理事長の総評といたします。

一年間、誠にありがとうございました。

副理事長の振り返りと感謝



副理事長兼響和室室長
宮尾　龍介

青年会議所に入会してから、気がつけば11年が経ちました。振り返ってみると、本当にあっという間でありながら、多くの出会いや学び、そして数えきれない挑戦が詰まった時間であったと感じています。その歩みの延長線上で、1年半前に村田理事長より副理事長就任のお声がけをいただきました。大きな責任を伴う役職に対して不安を覚えながらも、これまで支えてくれた仲間や積み重ねてきた経験を信じ、前向きな気持ちを胸に、この大役をお引き受けすることを決意いたしました。

予定者期間が始まり、会議や準備を重ねる中で、副理事長として求められる役割の広さや責任の重さを改めて実感しました。これまでとは異なる視点で組織を見ることで、考えることも増え、「本当にこの立場を務め切れるのだろうか」と自問する日々が続きました。しかし、困ったときに励まし支えてくれた仲間の存在が、自然と前へ進む力となり、不安の中でも少しずつ覚悟を持って役割と向き合うことができました。

本年度、響和室では、魅力ある運動をこのまちに響かせることを大切にしながら、このまちと組織に新たな価値を生み出し、変化を恐れず挑戦することで新たな可能性を切り拓き、明るい未来へとつながる道を築くため、1年間運動を推進してまいりました。これまで先輩諸兄姉から受け取ってきた想いや学びを、少しでも形にすることを意識しながら、日々の運動に向き合いました。仲間と共に議論を重ね、悩みながらも一歩ずつ前に進めたことは、私にとって大きな喜びであり、貴重な経験となりました。

私が担当した広報例会委員会では、長野青年会議所がこのまちにおいて、より身近で必要とされる存在となることを目指し、組織の顔である会員一人ひとりが「自らが伝える側である」という意識を持てるよう取り組みました。例会においても、参加するだけで終わるのではなく、準備から発信までを含めた主体的な関わりを促すことで、学びの価値が高まる場となるよう支援を行いました。委員会メンバーをはじめ、多くの会員の皆様の熱意や協力のおかげで、思い描いた運営を形にすることができました。この場を借りて、心より感謝申し上げます。

国際交流委員会では、長年先達が築いてこられた国際交流の歩みと想いを大切にしながら事業を展開しました。世界情勢が不安定な中にあっても、民間レベルでの交流を継続することが、相互理解を深め、恒久的な平和へとつながると信じ、活動してまいりました。多くの文化や価値観に触れる中で、学びや気づきを得ることができたのも、委員会メンバー一人ひとりの努力と協力があったからこそです。メンバー全員の熱意と行動が、事業をより豊かで実りあるものにしてくれました。

最後になりますが、副理事長として活動させていただいたこの1年半は、私自身にとって学びと成長に満ちた、かけがえのない時間となりました。村田理事長をはじめ、常に支え導いてくださった正副理事長の皆様、そして長野青年会議所を力強く支えてくださった理事・会員をはじめ、関わるすべての皆様に心より感謝申し上げます。「挑戦を未来の力に～大志を抱き、誰が為に挑み続ける～」のスローガンのもと、共に悩み、考え、行動し続けてくださったすべての皆様に深く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

挨拶・総評



副理事長兼共進室室長
山崎　義明

70周年未来ビジョンが策定されて２年目を迎えた2025年。長野青年会議所は例年以上に対外向けの事業を実施し、長野市民の皆さまと実際に接する機会を多くいただくことができました。改めて、大勢の皆さまの支えがあって当会議所が活動でき、その運動をこのまちが必要としていることを実感することができました。無事に全事業が成功裏に終わりましたのもお支えいただいた皆さまがいたからこそできたと感じます。ここに厚く御礼申し上げます。

さて、私が担当した共進室では、当会議所だけでなく、このまちに住まう子どもたちをはじめすべての皆さまと共に進化し、変化の時代だからこそ明るい豊かな社会への実現に向け「未来を仕掛ける」想いで取り組んできました。

未来黎明委員会では、このまちのより良い未来のために、長野市の強みである「スポーツ」と「教養」分野に着目し、様々な調査研究を行い、長野市へ政策提言書を提出しました。その一環として、五輪招致運動の調査研究や911件集めた市民意識調査アンケートの実施、会員の意見を集約すべくオープン会議を実施しました。提言書を提出した際に、「今の長野市が掲げている方向性と親和性が高いので、ぜひとも前向きに検討していきたい。」と市長から好評を得ることができました。一方で、当会議所の未来についてもディベート形式にて実施した居酒屋の青春を通して、「法人格」と「五輪招致」について会員間でも熱い議論の場を設けることができました。当日は非常に白熱したディベートとなっており、会員の熱い思いを確認することができました。この１年間の活動を通して、当会議所会員だけでなくこのまちにも、これからのより良い未来のために行動を起こす意欲を高めるきっかけを創出することができました。

また、青少年共創委員会では、70周年未来ビジョンによりプロジェクト名が名付けられた青少年育成　事　業「NAGANO JC PLAN80 ～Dream of Youthプロジェクト」の２年目として、このまちへよりブランディングを図るべく展開しました。青少年育成事業としては、長野市の「文化」、「自然」、「食」、「商業」の体験機会を設け、子どもたちのシビックプライドとリーダーシップの醸成を図りました。全４回のプログラムでしたが、参加された21名の子どもたちはどの回も楽しそうに参加していただき、初回と４回目の姿を見比べると子どもたちの成長スピードに驚かせられるほど逞しさを感じました。９月公開例会も「こどもEXPO2025」とし、ここ数年実施してこなかった青少年に特化した公開例会を実施しました。来場者も多く、「NAGANO JC PLAN80 ～Dream of Youthプロジェクト」をこのまちに広く展開することができたとともに、この青少年育成事業の重要性を改めて発信することができました。

70周年未来ビジョンが策定され２年目を迎えた本年、両委員会ともこのまちと共に歩みを進め、我々がもつ強みを最大限に展開でき、夢溢れる地方都市に向け未来を仕掛けることができました。

結びとなりますが、組織を力強く先導していただいた村田理事長はじめ多くの皆さまのお支えがあり「挑戦を未来の力に～大志を抱き、誰が為に挑み続ける～」のスローガンのもと一年間運動を推進することが叶いました。

一年間、誠にありがとうございました。

誰が為に挑み続けた１年、挑み続けてくれた１年



副理事長兼推連室室長
若林　裕士

2025年度、長野青年会議所は「挑戦を未来の力に～大志を抱き、誰が為に挑み続ける～」という力強いスローガンのもと、全力で駆け抜けてまいりました。私は本年度、副理事長兼推連室室長という大役を仰せつかりましたが、正直に申し上げますと、お引き受けした当初は「私のスケジュール帳の限界に対する挑戦ではないか」と戦々恐々としておりました。しかし、蓋を開けてみれば、村田理事長をはじめとする正副理事長会議の仲間からの温かいサポートと、私を置いてきぼりにするほどの勢いで突き進む推連室メンバーのおかげで、無事にこうして筆を執ることができております。

本年度、我が推連室は「市民一人ひとりの主体的にまちづくりに関わる意識の醸成と弛まぬ平和への願いと灯りを継承し、次代へと繋がる活気溢れるまちの実現を目指そう」と基本方針を掲げました。言葉にすれば格好良いのですが、要は「長野のまちをもっと自分事として捉え、巻き込みながら誰よりも楽しもう」ということです。灯明まつりの運営や主権者教育といった、難易度の高い課題に対し、私たちは決してスマートにこなせたわけではないかもしれません。時に泥臭く、時に全身でアルコール消毒を受け、地べたを這いつくばりながらも、何度も議論を重ね、真剣に「誰が為に」を問い続けました。

高野裕也委員長率いる市民力向上委員会は、若者の主権者意識向上という、一筋縄ではいかない壁に挑みました。３月例会から始まり、センキョ割普及活動を含めた一連の運動は、10月公開例会の「未来づくりラボ」で最高潮を迎えました。ゲストの杉村太蔵氏の講演や、学生たちが長野の未来について真剣に、かつ熱く交わす議論を舞台袖からサポートし、また粉もん総選挙を始めとした屋外プログラムを運営する委員会メンバーの姿は、まさに運動の最前線に立つJayceeそのものでした。そして、全ての事業の集大成として、学生たちの想いが詰まった提案書を、長野市長へと無事に手渡せた後に見せた高野委員長の安堵の表情。それは、重責を果たし「大志」を確かな形にした男の、最高に晴れやかな顔でした。

続いて、峯村侑弥委員長率いる灯明委員会です。こちらは長野灯明まつりの当事者意識向上と灯り絵文化の創出に邁進しました。２月公開例会では、「全会員が主役」という高い理想を掲げた結果、準備段階から委員会メンバーの目がランタン以上にギラギラと輝いていた（あるいは単に寝不足で血走っていただけかもしれませんが）のが印象的です。その熱意は「あかりのまち ながの灯り絵出張工房」として市内の小学校へと伝播し、児童たちの笑顔という最高の成果を生みました。長野市教育課への提案書を提出した際、峯村委員長の背中がいつもより少しだけ大きく見えたのは、私の「室長としての親バカ」ではなかったと確信しております。

この一年、私は副理事長として組織を俯瞰しつつ、現場でメンバーが「誰が為に」と奮闘する姿に、誰よりも刺激を受けてきました。多くの挑戦の中で得たものは、成功体験だけでなく、共に悩み抜いた仲間との絆です。私の心に灯っている「青炎」は、一年の任期を終えてもなお、消えるどころか火力が増しているようです。最後になりますが、深夜まで及ぶ会議を許してくれた（半分諦めてくれた）家族、そして支えてくださった全ての皆様に、最大級の感謝と、少しの「お騒がせしました」を添えて、私の総評とさせていただきます。2025年度、本当に最高に楽しい挑戦でした。一年間、誠にありがとうございました！

2025 年度　所感



副理事長兼飛躍室室長
小林　徹哉

長野青年会議所の執行役員として全事業の構築から実施まで各委員長の想いの実現に携わることができ大変有意義な１年間となりました。それぞれの委員長の思い描く社会課題を解決すべくより良い事業へとともに改善し理事会審議通過を目指してきました。時折手法が先行してしまい一番重要であるべき背景が置き去りになってしまうことを感じられました。そこで今一度考えてもらいたいことは私たちが行っていることはイベントの開催やただのボランティア事業とは異なり、長野市にある問題を解決するために調査研究を行い何が課題かをしっかりと定め課題解決の手法を探り実施し引き継ぐことが青年会議所運動であると私は思います。私自身そこまで考えられていたかと言えば考えられていませんでした。人は立場が変われば見える景色も考えることも変わります。どんな役職でも声がかかったら率先して経験し40歳までの貴重な経験を多く積んでいただきたいと心から願います。

会員拡大委員会では、会員の拡大は全メンバーが一丸となって取り組む全体事業です。今年のスローガンは「全員拡大」。素晴らしいスローガンを掲げスタートした１年でした。目標も40名と昨年に負けじと掲げました。多くの新入会員を入会に導くべく宮沢委員長には委員会運営のこと、拡大のこと、タスクのこと、様々な言い方や伝え方を駆使して伝えてきましたが始めから最後まで一人で黙々と全ての作業をこなしていました。宮沢委員長を成長させることができたのかできなかったのかついに私には分かりませんでしたが、長野青年会議所の委員長を務め副委員長始めメンバーとともに過ごした時間は一生に残る思い出になったことと確信しています。来年は時間を作り宮沢洋平委員長と二人で成長について本人から聞き取りをさせていただきたいと思います。また、25名の新入会委員を迎え入れられたことは長野青年会議所全メンバーの協力があったからこそです。宮沢委員長を始め委員会メンバー、そして全会員の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

びんずる委員会では、「徹哉さん、６月例会で流しそうめんやりたいんです。」伊藤委員長から突拍子もなく飛んできた例会構築の相談でした。全く課題が見えないまさに手法論先行型の事業構築で、ただやりたいだけじゃ長野青年会議所の事業にはならないからできない、というところが始まりでした。びんずる委員会の使命は何なのかと言えば第55回長野びんずるを市民総和楽総参加を目指すこと、そのためにはコロナ禍によって減ってしまった参加連、来場者を増やす必要がある、そのために６月例会を市民に向けて開催し長野びんずるまつりに繋げ市民総和楽総参加を目指そうと構築が始まりました。長野びんずるを構築しながら６月公開例会も構築する苦しい夏になったことと思いますが伊藤委員長を筆頭にびんずる委員会一同が一丸となって２度と忘れ得ない夏の思い出を残せたのではないでしょうか。伊藤委員長、委員会メンバーの皆さん本当につらく、そして楽しい最高の夏、お疲れさまでした。また、長野青年会議所メンバーの皆様のご協力があったからこそ６月公開例会も第55回長野びんずるも大成功に終わることができました、心から感謝申し上げます。

長野青年会議所で出会えた全ての皆様に感謝申し上げ2025年度の所感に代えさせていただきます。ありがとうございました。

専務理事及び会計責任者・規則責任者総評



専務理事
白土巴瑠香

2025年は村田理事長が掲げた【挑戦を未来の力に　～大志を抱き、誰が為に挑み続ける～】のスローガンのもと、運動を推進してまいりました。72年の歴史ある組織の専務理事という大役に挑戦する機会を提供してくださいました村田理事長、唐木沢総括副理事長、そして先輩諸兄姉の皆さまに感謝申し上げます。若干余談となりますが、本組織において専務理事の役職を女性に預ける試みは今回が初めてだったようです。この度の挑戦が今年度のものだけでなく、後進の選択肢を広げるための一助となっておりましたら幸いです。

さて、突然ですが、専務理事とはどのような役職なのかご存じでしょうか。その年度の代表でありすべての業務を統一管理する理事長や、事業総括責任者としてすべての事業の総括を行う総括副理事長、担当の室を持ち担当事業の実施のために各委員会に寄り添う室長と異なり、なんとなくイメージの湧きにくい役職なのではないでしょうか。そこで、事業報告に先立ち専務理事という役職について、少し触れさせていただければと思います。

専務理事の役割について、定款には、理事長及び副理事長を補佐して業務を処理するとともに財務・総務・事務局を統括する。と記載されています。このうち、理事長補佐の業務としては、年当初に行われる長野市や賛助企業等の関係諸団体への挨拶回りや、日本青年会議所の理事会、北陸信越地区協議会及び長野ブロック協議会の会員会議所会議へのオブザーブ、北信5LOMの総会への参加など、様々な場面で帯同させていただきました。会員会議所の帰路には姨捨PAから共に夜景を見る…といった2024年度のようなロマンチックなエピソードはありませんが、多くの場所、多くの機会にご一緒できたこと、道中様々なお話を伺えたことは大変貴重な経験となりました。

財務・総務・事務局の統括につきましては、本年度は更に会計責任者及び規則責任者としても任命をいただき、メンバーの皆さまからお預かりした会費が各事業においてより効果的に使用されているか、まちを牽引する団体として市民の皆さまに恥じぬよう規則を遵守することができているかを確認させていただきました。予算折衝においては限られた予算の中、当初思い描いていた事業内容から変更をお願いした委員会も少なくありませんが、腐らずに向き合い、対応していただいた委員長の皆さまに改めて感謝申し上げます。また、会計及び規則の管理に当たっては、会計担当者の小森理事と規則担当者の町田理事にご助力いただき、全32回の財務運営会議及びコンプライアンス会議を実施させていただきました。所属委員会の事業もある中、臨時開催も含めて多くの会議を滞りなく実施いただいた両理事に、この場を借りて御礼申し上げます。そして、委員会としての総務と事務局の運営については池田室長のご尽力により、滞りなく実施されましたことを併せてご報告させていただきます。池田事務局長におかれましては委員長経験のない中での室長業務は想像以上のご苦労があったことと思いますが、最後まで委員会に寄り添っていただき、本当にありがとうございました。

結びとなりますが、扱い難い私に専務理事の役職に挑戦する機会を提供してくださいました村田理事長並びに唐木沢総括副理事長、１年半活動を共にしてくださいました正副理事長会議の皆さま、そして、本年度の運動に積極的に参加・参画いただいた全てのメンバーの皆さまに感謝申し上げ、総評に代えさせていただきます。皆さまと走り抜けた１年半は、私にとってかけがえのない宝物です。

感謝



事務局長兼志縁室室長
池田　竜一

2024年６月、村田理事長からお電話をいただき、「居酒屋の青春」の前に某居酒屋でお話があるとお誘いを受けました。その時は、どのようなご用件なのかまったく心当たりもないまま、少し不安な気持ちで集合場所に向かったことを、今でも鮮明に覚えています。現地でお聞きしたのは、まさかの事務局長兼室長にならないかというお話でした。委員長経験のない自分には無縁だと思っていた正副理事長会議のメンバーに、まさか自分が誘っていただけるとは全く思っていませんでした。「私で務まるのか」「本当に自分でいいのか」と、居酒屋の青春の集合時間が迫る中、頭の中を様々な思いが駆け巡りました。しかし、「一緒にやってほしい。」という村田理事長の言葉に背中を押され、その場で快諾いたしました。理事長が私のために確保してくださった時間は、わずか30分。その短い時間が、私にとって長い１年半の始まりとなりました。あれから１年。皆様のご協力のおかげで、なんとか職責を全うすることができました。心から感謝申し上げます。

志縁室では、「厳格な組織運営」と「果敢な渉外活動への挑戦」をテーマに掲げ、組織のさらなる発展、そして社会からより必要とされる組織を目指して邁進してまいりました。担当させていただいた大工原委員長率いる総務渉外委員会のメンバーは、出席率も高く、統率の取れた素晴らしいチームでした。「やるときはやる、遊ぶときは遊ぶ」そんなメリハリのある方々ばかりで、私がタスクに追われて大変そうなときには、「何か自分にできることはありますか？」と声をかけてくれる優しさも持ち合わせていました。私が１年間、事務局長兼室長として務め上げることができたのは、間違いなくこの仲間たちのおかげです。至らない点ばかりの室長でしたが、支えてくれた総務渉外委員会の皆様、本当にありがとうございました。

振り返れば私は、総務渉外委員会はもちろん、いわゆる「左側」の委員会に所属した経験がありませんでした。それでも、ブルーノートの発行や名刺作成、年３回の定時総会、毎月の理事会、さらに３大大会や地区フォーラム、ブロック大会と、事業がない月が一度もない１年でした。慣れない業務ばかりで、本当に多くの時間をJCに捧げたと思います。正直、もう一度やれと言われたら「もう無理です」と答えるかもしれません。そんな私も、ようやくこの立場に慣れてきたところで、今年度をもって卒業となります。村田理事長をはじめ、正副理事長会議の皆様に支えられ、かけがえのない学びと成長の機会をいただきました。心より感謝申し上げます。

最後になりますが、１年間ともに活動し、常に力を貸してくれた正副理事長会議の皆様、志縁室の皆様、そして会員の皆様に、心より感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

挑戦を未来の力に

～大志を抱き、誰かの為に挑み続ける～

2025年度
事業報告・総会・理事会報告

定 時 総 会 報 告

第１回定時総会

日　時 ▶ 2025年２月１日（土）開会15：50～16：21
場　所 ▶ ホテル国際21 弥生の間
議　題 ▶ 第１号議案 公益社団法人長野青年会議所定款変更（案）承認の件
第２号議案 2024年度事業報告（案）承認の件
第３号議案 2024 年度一般会計収支決算（案）承認の件

第２回定時総会

日　時 ▶ 2025年８月23日（土）開会 14：00～15：18
場　所 ▶ ホテル国際21　藤の間
議　題 ▶ 第１号議案　公益法人認定法改正に伴う外部理事・外部監事導入のための定款変更（案）承認の件
第２号議案　公益社団法人長野青年会議所2025年度一般会計修正収支予算書承認の件
第３号議案　公益社団法人長野青年会議所会費額及び会費規程変更（案）承認の件
第４号議案　公益社団法人長野青年会議所2026年度役員選任の件

第３回定時総会

日時 ▶ 2025年12月13日（土）開会14：00～16：00
場所 ▶ ホテル国際21　藤の間
議題 ▶ 第１号議案　公益社団法人長野青年会議所役員選出規程変更（案）承認の件
第２号議案　長野市への政策提言承認の件
第３号議案　公益社団法人長野青年会議所2026年度役員追加選任の件
第４号議案　公益社団法人長野青年会議所2026年度事業計画（案）承認の件
第５号議案　公益社団法人長野青年会議所2026年度一般会計収支予算書（案）承認の件
第６号議案　公益社団法人長野青年会議所2026年度資金調達及び設備投資の見込み（案）承認の件

理事予定者会議報告

第１回理事予定者会議

日　時 ▶ 2024年８月25日（日）17：00～18：00
場　所 ▶ ホテル国際21　弥生の間
議　案 ▶ 第１号議案　公益社団法人長野青年会議所2025年度組織（案）決定の件
第２号議案　公益社団法人長野青年会議所2025年度室長、委員長、理事委員会配属（案）承認の件
第３号議案　管理者、管理者補佐、会計責任者、会計担当者、規則責任者、規則担当者、事務局長（案）承認の件
第４号議案　慶弔慰金決定の件
第５号議案　理事会日時、場所決定の件
第６号議案　定例支払日決定の件

第２回理事予定者会議

日　時 ▶ 2024年　９月12日（木）19：00～20：40
場　所 ▶ ホテル国際21　藤の間
議　案 ▶ 第１号議案　公益社団法人長野青年会議所2025年度　副委員長承認の件
第２号議案　公益社団法人長野青年会議所2025年度　例会日時決定の件

第３回理事予定者会議

日　時 ▶ 2024年10月９日（水）19：00～20：35
場　所 ▶ ホテル国際21　千歳の間
議　案 ▶ 第１号議案　公益社団法人長野青年会議所2025年度委員会所属承認の件
第２号議案　【２月公開例会】第二十二回長野灯明まつり開催・運営計画・予算承認の件

第４回理事予定者会議

日　時 ▶ 2024年　11月８日（金）19：00～20：58
場　所 ▶ ホテル国際21　弥生の間
議　案 ▶ 第１号議案　公益社団法人長野青年会議所2025年度出向者決定の件
第２号議案　公益社団法人長野青年会議所2025年度スローガン・事業基本方針の件
第３号議案　公益社団法人長野青年会議所2025年度室方針・委員会年間事業計画の件
第４号議案　公益社団法人長野青年会議所2025年度基準開催数決定（案）の件

第５回理事予定者会議

日　時 ▶ 2024年　12月５日（木）20：00～21：09
場　所 ▶ ホテル国際21　弥生の間
議　案 ▶ 第１号議案　公益社団法人長野青年会議所2025年度休会者決定の件
第２号議案　公益社団法人長野青年会議所正会員及び2024年度後期準会員委員会配属承認の件
第３号議案　公益社団法人長野青年会議所2025年度出向者追加決定の件
第４号議案　公益社団法人長野青年会議所定款変更（案）承認の件
第５号議案　公益社団法人長野青年会議所2025年度一般収支予算（案）の件
第６号議案　第１回定時総会開催並びに議案決定の件
第７号議案　長野ブロック協議会災害協定災害対応組織（案）決定の件
第８号議案　公益社団法人長野青年会議所2025年度資金調達及び設備投資の見込み（案）の件
第９号議案　１月例会開催・運営計画・予算承認の件
第10号議案　公益社団法人長野青年会議所　2025年度年間広報計画・予算承認の件

定例理事会・臨時理事会報告 1/4

第１回臨時理事会

日　時 ▶ 2025年１月１日（水）
場　所 ▶ 書面
議　案 ▶ 第１号議案　理事長・副理事長・専務理事　業務執行理事選定の件

第１回定例理事会

日　時 ▶ 2025年１月９日（木）19：00～21：00
場　所 ▶ ホテル国際21　弥生の間
議　案 ▶ 第１号議案　公益社団法人長野青年会議所2025年度休会者承認の件
第２号議案　公益社団法人長野青年会議所2024年度一般会計収支決算書承認の件
第３号議案　公益社団法人長野青年会議所2024年度事業報告（案）承認の件
第４号議案　【２月公開例会】第二十二回長野灯明まつり開催・修正運営計画・予算承認の件
第５号議案　公益社団法人長野青年会議所2025年度年間広報修正計画・予算承認の件

第２回定例理事会

日　時 ▶ 2025年２月６日（木）19：15～20：36
場　所 ▶ ホテル国際21　藤の間
議　案 ▶ 第１号議案　３月例会開催・運営計画・予算承認の件
第２号議案　新入会員募集事業計画・予算承認の件

第３回定例理事会

日　時 ▶ 2025年３月６日（木）19：00～21：51
場　所 ▶ ホテル国際21　藤の間
議　案 ▶ 第１号議案　正会員入会適格者決定の件
第２号議案　公益社団法人長野青年会議所2025年度出向者追加決定の件
第３号議案　４月公開例会開催・運営計画・予算承認の件
第４号議案　９月公開例会開催日及び開催場所決定・予算承認の件
第５号議案　１月例会事業報告・決算承認の件

第４回定例理事会

日　時 ▶ 2025年４月３日（木）19：00～21：33
場　所 ▶ ホテル国際21　藤の間
議　案 ▶ 第１号議案　正会員入会適格者決定の件
第２号議案　公益社団法人長野青年会議所2025年度出向者追加決定の件
第３号議案　青少年育成事業（JCI NAGANO PLAN80 ～Dream of Youth プロジェクト～）プロジェクト名変更承認の件
第４号議案　５月例会開催・運営計画・予算承認の件
第５号議案　2024年度後期準会員アップグレードセミナー開催・運営計画・予算承認の件
第６号議案　ソウル江北青年会議所公式訪問受入実施・運営計画・予算承認の件

定例理事会・臨時理事会報告 2/4

第７号議案　青少年育成事業（NAGANO JC PLAN80 ～Dream of Youthプロジェクト～）開催・運営計画・予算承認の件
第８号議案　【２月公開例会】第二十二回長野灯明まつり補正予算承認の件
第９号議案　【２月公開例会】第二十二回長野灯明まつり事業報告・決算承認の件

第５回定例理事会

日　時 ▶ 2025年５月１日（木）19：00～21：39
場　所 ▶ ホテル国際21　藤の間
議　案 ▶ 第１号議案　正会員入会適格者決定の件
第２号議案　次年度理事長候補者及び監事候補者選考委員選定要綱決定の件
第３号議案　次年度理事長候補者及び監事候補者選考委員有資格者名簿承認の件
第４号議案　６月公開例会開催・運営計画・予算承認の件
第５号議案　前期新入会員セミナー開催・運営計画・予算承認の件
第６号議案　「JCI-ASPACウランバートル大会」ジャパンナイトブース出展・運営計画・予算承認の件
第７号議案　３月例会事業報告・決算承認の件

第６回定例理事会

日　時 ▶ 2025年６月５日（木）19：05～21：41
場　所 ▶ ホテル国際21　弥生の間
議　案 ▶ 第１号議案　次年度理事長候補者及び監事候補者選考委員承認の件
第２号議案　正会員承認の件
第３号議案　準会員登録承認の件
第４号議案　準会員委員会配属承認の件
第５号議案　６月公開例会開催・修正運営計画・修正予算承認の件
第６号議案　７月例会開催・運営計画・予算承認の件
第７号議案　主権者教育・地域連携事業及び10月公開例会開催・運営計画・予算承認の件
第８号議案　前期新入会員セミナー開催・修正運営計画承認の件

第７回定例理事会

日　時 ▶ 2025年７月３日（木）19：00～21：43
場　所 ▶ ホテル国際21　藤の間
議　案 ▶ 第１号議案　公益法人認定法改正に伴う外部理事・外部監事導入のための定款変更（案）承認の件
第２号議案　公益社団法人長野青年会議所会費額及び会費規程変更（案）承認の件
第３号議案　第２回定時総会開催並びに議案決定の件
第４号議案　８月例会開催・運営計画・予算承認の件
第５号議案　灯り絵を長野の文化にする事業開催・運営計画・予算承認の件
第６号議案　４月公開例会事業報告・決算承認の件
第７号議案　５月例会事業報告・決算承認の件
第８号議案　ソウル江北青年会議所公式訪問受入実施・修正運営計画・補正予算承認の件
第９号議案　ソウル江北青年会議所公式訪問受入事業報告・決算承認の件
第10号議案　2024年度後期準会員アップグレードセミナー事業報告・決算承認の件

定例理事会・臨時理事会報告 3/4

第８回定例理事会

日　時 ▶ 2025年７月31日（木）19：00～20：44
場　所 ▶ ホテル国際21　藤の間
議　案 ▶ 第１号議案　公益社団法人長野青年会議所2025年度一般会計修正収支予算承認の件
第２号議案　NAGANO JC PLAN80 ～Dream of Youthプロジェクト～ロゴマーク制作及び決定の件
第３号議案　９月公開例会開催・運営計画・予算承認の件
第４号議案　公益社団法人長野青年会議所2025年度年間広報中間検証・修正計画承認の件
第５号議案　新入会員募集事業・修正運営計画承認の件
第６号議案　「JCI-ASPACウランバートル大会」ジャパンナイトブース出展事業報告・決算承認の件
第７号議案　前期新入会員セミナー事業報告・決算承認の件

第９回定例理事会

日　時 ▶ 2025年８月28日（木）19：10～21：43
場　所 ▶ ホテル国際21　弥生の間
議　案 ▶ 第１号議案　正会員入会適格者決定の件
第２号議案　９月公開例会開催・修正運営計画・修正予算承認の件
第３号議案　令和７年度長野市長選挙立候補予定者公開討論会開催・運営計画・予算承認の件
第４号議案　６月公開例会開催・修正運営計画・補正予算承認の件
第５号議案　６月公開例会事業報告・決算承認の件
第６号議案　７月例会事業報告・決算承認の件

第10回定例理事会

日　時 ▶ 2025年９月25日（木）19：00～22：41
場　所 ▶ ホテル国際21　藤の間
議　案 ▶ 第１号議案　入会勧誘対象者決定の件
第２号議案　主権者教育･地域連携事業及び10月公開例会開催・修正運営計画・修正予算承認の件
第３号議案　11月例会・アップグレードセミナー開催・運営計画・予算承認の件
第４号議案　JCI世界会議チュニス大会ジャパンナイトブース出展・運営計画・予算承認の件
第５号議案　８月例会事業報告・決算承認の件

第11回定例理事会

日　時 ▶ 2025年10月30日（木）19：00～20：17
場　所 ▶ ホテル国際21　藤の間
議　案 ▶ 第１号議案　第３回定時総会開催並びに議案決定の件
第２号議案　公益社団法人長野青年会議所役員選出規程変更（案）承認の件
第３号議案　会費未納者退会の件
第４号議案　入会勧誘対象者決定の件
第５号議案　12月例会開催・運営計画・予算承認の件
第６号議案　後期新入会員セミナー開催・運営計画・予算承認の件

定例理事会・臨時理事会報告 4/4

第２回臨時理事会

日　時 ▶ 2025年12月３日（水）19：00～19：33
場　所 ▶ Zoom
議　案 ▶ 第１号議案　準会員登録承認の件
第２号議案　正会員復会承認の件
第３号議案　賛助会員入会承認の件

第12回定例理事会

日　時 ▶ 2025年12月５日（金）19：00～21：03
場　所 ▶ ホテル国際21　弥生の間
議　案 ▶ 第１号議案　正会員承認の件
第２号議案　長野市への政策提言承認の件
第３号議案　９月公開例会事業報告・決算承認の件
第４号議案　青少年育成事業（NAGANO JC PLAN80 ～Dream of Youthプロジェクト～）事業報告・決算承認の件
第５号議案　主権者教育・地域連携事業及び10月公開例会事業報告・決算承認の件
第６号議案　灯り絵を長野の文化にする事業・事業報告・決算承認の件
第７号議案　令和７年度長野市長選挙立候補予定者公開討論会事業報告・決算承認の件
第８号議案　公益社団法人長野青年会議所2026年度室方針・委員会年間事業計画（案）承認の件
第９号議案　公益社団法人長野青年会議所2026年度一般会計収支予算（案）承認の件
第10号議案　公益社団法人長野青年会議所2026年度資金調達及び設備投資の見込み（案）承認の件

第13回定例理事会

日　時 ▶ 2026年１月14日（水）19：00～21：00
場　所 ▶ ホテル国際21　弥生の間
議　案 ▶ 第１号議案　新入会員募集事業報告・決算承認の件
第２号議案　11月例会・アップグレードセミナー事業報告・決算承認の件
第３号議案　後期新入会員セミナー事業報告・決算承認の件
第４号議案　12月例会事業報告・決算承認の件
第５号議案　長野市への政策提言事業報告・決算承認の件
第６号議案　ソウル江北青年会議所公式訪問受入事業実施・修正運営計画・補正予算について
第７号議案　ソウル江北青年会議所公式訪問受入事業報告・決算承認の件
第８号議案　JCI世界会議チュニス大会ジャパンナイトブース出展・運営計画・補正予算承認の件
第９号議案　JCI世界会議チュニス大会ジャパンナイトブース出展・事業報告・決算承認の件
第10号議案　公益社団法人長野青年会議所2025年度年間広報報告・決算承認の件
第11号議案　公益社団法人長野青年会議所2025年度一般会計収支決算（案）の件
第12号議案　公益社団法人長野青年会議所2025年度事業報告（案）の件

挑戦を未来の力に

～大志を抱き、誰が為に挑み続ける～

委員長・無任所理事報告





総務渉外委員会
委員長 **大工原遼太**

人生の瞬く間

総務と渉外が一つの委員会となって約１年半、私たちは歩んできました。

毎月開催される定例理事会や定時総会、さらには県外事業や出向者支援と、振り返れば休む間もなくJC活動に取り組んだ期間だったと感じます。

第３回理事予定者会議までは、委員会メンバーの配属が決まっておらず、限られた人数で設営を行っていました。しかし、委員会メンバーが正式に決定し、理事会設営をともに行った際には、ようやく委員会らしさが生まれた瞬間だったと、今でも印象に残っています。

５月担当例会では、当事者意識の醸成を目的とし、会員が能動的にJC活動に関わっていくきっかけとなるよう、例会を構築しました。

議案構築の段階で、毎年の総会における出席率の低下が課題であるとのお話を、村田理事長および唐木沢総括副理事長よりいただき、「総会とは何か」に切り込む例会とすることを決めました。近年、総会をテーマとした例会は開催されておらず、会員にとっても新たな学びや気づきのある機会になると確信して準備を進めました。

総会の意義や会員としての権利を改めて理解し、長野青年会議所の最高意思決定機関に主体的に参加する意識を醸成できたことは、大きな成果だったと感じています。

県外事業については、「旅行のつもりで楽しみながら参加してほしい」と呼びかけたところ、委員会メンバーが積極的に参加してくれました。

京都会議、地区フォーラム、サマーコンファレンス、ブロック大会、全国大会と、多くの学びと出会い、そして笑顔が詰まった時間でした。参加を通じて、出向者への激励や慰労も行うことができ、仲間との絆をより深められたことを嬉しく思います。

最後に、１年半ともに活動してくれた委員会メンバーの皆さん、右腕として支えてくれた３名の副委員長、並びに小森理事、そして池田室長に心より感謝申し上げます。



総務渉外委員会
理事 **小森　穂高**

New insights

本年度、会計担当理事を務めさせていただきました小森穂高です。まずはこの場をお借りしまして、私を支えてくださった白土専務理事、池田事務局長、共に頑張りました町田理事に感謝を申し上げたいと思います。１年間、誠にありがとうございました。

何もわからない中で臨んだこの会計担当者という役目。長野青年会議所事業の会計は、重箱の隅をつつく仕事と思っていましたが、やってみると見えてきたものがありました。それは、委員長や正副理事長会議の方々の努力と苦労の結晶でした。

普段よく読み込んだことのなかった私は、財務コンプライアンス会議を通してこの議案というものが、とんでもない労力をもって創り上げられているということを知りました。当事者の不断の努力によって紡がれる議案という物語を、成功へと導くための一端を担うこの財コ会議に、１年を通して携われたことを誇りに思いますし、自分自身の成長にも繋がったと思っています。携われたすべての方々、１年間本当にありがとうございました。



広報例会委員会
委員長 黒岩　龍

苦＝楽

予定者のはやい段階から、年間広報計画議案作成とともに１月例会議案作成、例会の構築が始まり、年度が始まっても１月から絶えることなく12月、否、年明けまで例会の支援と事業の撮影、年誌の作成などの活動を続けてまいりました。広報と例会というLOMを内側から支援する委員会は年間通して常にタスクがあり、全委員会の例会・広報支援という性質上、至らない点があるとご意見を頂戴する機会の多い委員会でした。当初、私が感じたのは率直に「なんでこんなことしなくちゃならんのだ」というネガティブな感情でした。良い委員長でありたいという願望がある反面、委員会の運営もままならず、歴代の偉大な委員長たちに比べて強い想いのない自分自身を痛感しました。そんな中で、村田理事長からいただいた会員資質向上を目的とした７月例会は、そんな自分の考えを変える貴重な機会となりました。７月例会で扱ったJCI-Achieve曰く、JCは成長の機会を提供し、リーダーを育成することによって社会により良い変化をもたらし、世界平和を実現するための団体だというのです。つまり、私が自分の無力さを実感し、思い悩むことこそが、私がJCに所属している価値だというのです。私はそれまで長野市のため、青年会議所のために自分のリソースを使っていると思い込んでいましたが、それは大きな間違いで、長野市が、青年会議所が、私の成長のために機会を与えてくれていたのです。私は決して良い委員長ではありませんでしたが、町田理事、堀内VC、佐藤VC、小泉VCをはじめとする広報例会委員会のメンバーが１年半、頼りない私のことを委員長と呼び、熱心に活動に参加し続けてくれたことで、私はようやく委員長になれたのだと思います。アツい委員会メンバーのもと活動が出来たことを誇りに思います。本当にありがとうございました。また予定者から12月に至るまで正副理事長会議で癇癪をおこす私に対して粘り強く寄り添い支え続けてくださりました宮尾室長、さまざまなアドバイスをいただきました正副理事長会議の皆様、例会と広報を支えてくださった各委員長をはじめとする会員の皆様、そして私に最高の１年半を過ごす機会を与えて下さった村田理事長、唐木沢総括副理事長、白土専務、本当にありがとうございました。

皆様のおかげでJCが好きだと胸を張って言える経験ができた１年半となりました。



広報例会委員会
理事 町田　信也

補足ございません!!

まずは規則担当理事として計32回の財務コンプライアンス会議を無事に終えられ、委員長の皆様ご協力ありがとうございました。そして共に運営いただきました小森理事感謝申し上げます。

また今年10回目委員会配属は、初無任所理事として広報例会委員会としても活動してきましたが、７月例会のJCI-Achieveを我々が受講してメンバーに伝えるという斬新なことを行いましたが、近年にはないノーカンペで発表ということもあり委員メンバーと共にかなりの練習を積んだことは特に印象深く、結果的には私自身は心残りがある内容になってしまいましたが、黒岩委員長はじめスタッフの皆様、メンバーみんなのおかげで楽しい一年間を過ごすことができました。

コンプラ理事としてのあるまじき言動を委員会内で多々言ったけどごめん‼そしてありがとう‼



国際交流委員会
委員長 **楢本　大介**

委員長所感

今年度、国際交流委員会では「挑戦を未来の力に～大志を抱き、誰が為に挑み続ける～」のスローガンのもと、事業構築を行ってまいりました。

４月には、公開例会「TOUCH THE KOREA 2025」およびソウル江北青年会議所の公式訪問受入事業を同日に実施いたしました。長野市の多文化共生を推進すべく、韓国文化に触れて頂ける様々な体験をご用意した結果、多くの来場者が訪れていただくことができ、また長年交流を育んできたソウル江北青年会議所の皆様も公開例会に参加され、翌日の長野観光も含め、大いに楽しんでいただくことができました。それ以外でも、姉妹・友好JCとの交流事業においては、篤い友情を育む中で、改めて両LOMとの絆の深さを実感するとともに、国際的な視野や感覚を養い、国籍・言語・文化・性別といった壁を越える民間レベルの外交を実践することで、恒久的な平和に貢献する国際交流の意義を学び、理解を深める貴重な機会となりました。また、海外事業として実施しているアイドゥルミッションも、本年で33回目を迎えました。世界的にグローバル化が進むなかで、国籍を超えた交流を大人だけでなく、次世代を担う子どもたちが実際に体験することにより、国際感覚を身につけ、互いに友情を育むことができました。これからも、真の国際都市「NAGANO」の実現に向け、長野青年会議所が先頭に立ち国際交流事業に邁進していただければ幸いです。

最後になりますが、卒業年に貴重な経験の機会を提供していただいた正副理事長会議の皆様、委員会スタッフはじめメンバー、準会員、事業に携わって頂いたすべてのみなさまに御礼申し上げます。



国際交流委員会
理事 **宮澤　　遥**

無任所理事所感

振り返ると無任所理事の立ち位置について模索し続けた1年だったと思います。委員会内のスタッフは委員長と副委員長であり、スタッフが先導しメンバーを巻き込まなければ委員会運営は上手くいきません。なので、事業の成功に向けて裏で動きながら補佐に徹した1年だったのかなと振り返ります。

長野青年会議所にとって姉妹JCや友好JCとの国際交流は先達が紡いできた長き歴史があり、長野青年会議所にとって文化です。本年度の国際交流委員会の楢本委員長は過去に多く国際交流委員会の配属があり、経験を積んできた事で本年度、国際交流に対して並々ならぬ強い思いでリーダーシップを発揮されました。無任所理事として委員長の強い思いの下、長野青年会議所の文化である国際交流に携わらせていただいた事は私自身大きな学びとなり、本年度の委員会配属が国際交流委員会で良かったと心より思っています。

最後に、長野青年会議所の文化である国際交流が未来永劫続いていく事を祈念し所見とさせていただきます。



未来黎明委員会
委員長 西澤　準

生産性の高い毎日へ

委員長予定者から約500日、お声がけをいただいたことがつい最近のようでありながら、後ろを振り返ると非常に多くの思い出や感謝があふれ出てきます。30も半ばを過ぎたこの年齢でこんなにも多くの心通わせた出会い、新たな学びを得られる日々があるとは思いもよりませんでした。

未来黎明委員会では、70周年未来ビジョン達成に向け、全会員のこのまちのリーダーとしての行動意欲を向上させることを目的に活動してまいりました。また、委員会としての目的の裏で人生において組織の上役経験の無い自身の自己成長、自身より入会歴や年齢が若いメンバーに対する指導と機会の提供という委員長としてのミッション遂行も目指し活動を行ってまいりました。

個人的ミッションにおいて、反省点は多くあるものの、山崎室長や経験豊富な多くの委員会メンバーに支えをいただけたとで、委員会として2025年を駆け抜けることができたことを嬉しく思います。

私の考える委員長という役割は、委員会という名のプロフェッショナル集団の唯一の責任者です。達成の喜びは人一倍、その反面すべての責任は自身が負うべきです。それ故大きな成長、真の人間関係の構築が出来るのだと思います。これからチャンスのある皆様には、ぜひ挑戦してほしいと思います。

最後に、経験や能力に乏しい私が12月まで挑み続けられたのは、自分なりの逃げない姿勢を貫くことで周囲の方が力強く手を差し伸べてくれたこと。このことに尽きると感じています。多くの方に感謝する1年半となりました。ご指名ご助言いただきました正副理事長会議の皆様、私を導いてくださった山崎室長、常に支えてくれた委員会メンバーに、この場をお借りしあらためて心から感謝申し上げます。

皆様と過ごした期間は私の人生に多くのものを生み、彩を添えてくれました。



未来黎明委員会
理事 塚田　翠

若いパワーの凄さを感じた一年

本年度は、未来黎明委員会にて無任所理事を務めさせていただきました。私自身は歴も長くなり、理事としての役割をしっかり努めようと心に決め一年をスタートしました。

居酒屋の青春、２回の例会、政策提言と最後の最後までやることの多い委員会でした。事業の準備が始まると心配になることもありましたが、若いメンバーの新しい発想と一人ひとりの能力の高さに支えられ、すべての事業を大成功に終えることができたのではないかと思います。若いメンバーから多くを学ばせていただきました。

この委員会は、みんなを楽しませながらまとめていく西澤委員長のリーダーシップと、それぞれの良さを存分に発揮していた干川VC、清水VC、室賀VCと、個性豊かでやる時はやるメンバーの皆さんのおかげで最高の委員会だったと思います。私は理事として十分に務められたか不安は残りますが、この委員会の一員になれて本当に最高でした。若いメンバーの今後の活躍も楽しみです。一年間、本当にありがとうございました。



青少年共創委員会
委員長 原山　大樹

Dream of Youthプロジェクト 2年度目の軌跡

「NAGANO JC PLAN80 ～Dream of Youthプロジェクト～」の2年目となる本年は、「シビックプライド」に焦点を当てながら、「体験」という手法を用いて、子どもたちの成長機会の創出と、郷土愛の醸成を図りました。その目的達成として『NAGANO QUEST～キミが発見する長野の魅力～』を企画運営し、その集大成の場となる９月公開例会NAGANOこどもEXPO2025『未来をつくるキミへ～発見・挑戦・広がる世界～』の実施を行いました。

両事業に馳せた想いとして、自分が幼い頃に経験できなかったことで、こんな経験をしてみたい、させてあげたいというものが素案となっていました。私の長野への愛郷心は、子どもの頃の楽しかった体験の思い出がベースだと思うため、本事業に関わってくれた子どもたちを楽しませ、心に届くように委員会として工夫を凝らしました。事業を終えて、NAGANO QUEST参加者から、「来年も参加したいよ」という声が上がったこと、NAGANOこどもEXPO2025で3,000名を超える集客を達成できたこと、この結果が本年の青少年共創委員会としてのハイライトであり、NAGANO JC PLAN80 ～Dream of Youthプロジェクト～の２年度目の役割をしっかりと果たせたのではないかと感じております。

委員長を拝命いただいてから、予定者段階を含めてあっという間の一年半でした。今思い返せば、プレッシャーとの闘いでした。不安が常に隣にいたような感覚でした。ただ、それを跳ね除け、一年半を駆け抜けることができたのはまずもって委員会メンバーがいたからです。常に心の支えでした。そして、私を常に裏で支え続けてくれた山﨑室長のおかげです。感謝しかございません。加えて、村田理事長を始めとした全メンバーの皆様のお力添えをいただいたからこそであります。私に関わっていただいた全ての人に感謝申し上げます。簡単ではございますが、委員長報告に代えさせていただきます。



青少年共創委員会
理事 福岡　正芳

【理事としての１年 ～“役職つきフォロワー”の不思議な冒険記～】

入会から早いことに５年が経ち、これまで「できる限り全部やる」のストロングファイトスタイルで走り続けてまいりました(つもりです笑)。本年度はありがたいことに「理事」という重責を賜りました。理事とは、長野青年会議所では役職がつきながら、委員会ではあくまでも「フォロワーメンバー」。役職つきフォロワーという、不思議な二刀流？で１年を過ごすことになりました。そんな独特な立ち位置の私をあたたかく、時に優しくいじりながら支えてくださったのが、原山委員長をはじめとする青少年共創委員会の最高の仲間たちです。皆様のおかげで、気がつけば例年より余裕を持ち、さらに多くの学びと気づきを得られる１年となりました。

「理事らしさ」とは何かを考えるより早く、皆様の力に助けられ続けた気がしております。心より感謝申し上げます。本当に１年間ありがとうございました。



市民力向上委員会
委員長 **高野　裕也**

多くの経験、沢山の想い出

市民力向上委員会としての活動は、あっという間の１年でしたが、その中身は本当に濃く、私にとって忘れられない時間となりました。

本年度、私たち市民力向上委員会は「若者や市民の主権者意識の向上」をテーマに、さまざまな運動を行いました。３月例会では“大人向け主権者教育”に挑戦し、まずはメンバー自身が主権者としての意識を学びました。センキョ割普及プロジェクトでは、長野市長選挙をきっかけに、学生とともに「選挙をもっと身近に、まちをもっと自分ごとに」する文化を育てようと取り組みました。そして10月公開例会「未来づくりラボ～知ろう、語ろう、自分たちのまち～」では、市民がまちの魅力を知り、語り合う場を通じて、“自分たちのまちを考える力”を育むことに挑戦しました。さらに、長野市長選挙立候補予定者公開討論会では、候補者の理念や政策を直接聴き、市民が自らの判断で未来を選ぶ機会を提供できたと感じています。

こうして振り返ってみると、事業を構築し、市民と向き合い、まちの未来を考える中で、最も主権者意識が高まったのは、他でもない私たち委員会メンバー自身だったのかもしれません。気が付けば、私たちが一番“市民力”が磨かれていたのです。集大成を迎え、そう実感しています。

結びになりますが、この激動の１年を支えてくださった正副理事長会議の皆様、各事業にご参加くださったメンバーの皆様、そして何より、一緒に悩み、笑い、時に私のむちゃぶりを適当にあしらいながらも共に走り抜けてくれた市民力向上委員会の最高の仲間に、心より感謝申し上げます。

この１年間で得た経験を胸に、これからも地域の未来づくりを自分ごととして考え続けていきます。ありがとうございました！



市民力向上委員会
理事 **倉島　盛朗**

委員会の振り返りと卒業

本年度、市民力向上委員会の理事を務めさせていただいた倉島です。今年度の委員会は、高野委員長をはじめ、過去にも類を見ないほど優秀な人材が集まり、今年卒業する私にとって大変居心地の良い環境でした。私が何か手を出そうとしても、むしろ足を引っ張ってしまうことも多く、力になれず申し訳なく思っております。委員会メンバー一人ひとりが主体的に行動し、互いに補い合いながら活動を進める姿勢には、深い学びと刺激をいただきました。

本年度は、村田理事長の掲げた「若者の主権者意識向上」を主軸とし、３月例会や学生と連携したセンキョ割活動、そして10月公開例会を実施しました。どの事業においても、市民や学生の主体的な参加を促すことを意識し、我々自身も主権者としての自覚を再確認する一年となりました。この経験を通じて得た学びを、卒業後も地域の一員として生かしていきたいと思います。



灯明委員会
委員長 **峯村　侑弥**

一期一会と興文育化

灯明委員会の委員長をお引き受けするにあたり、大きな責任とともに不安も感じておりました。長い歴史をもつまつりを次の時代へとつなぐという重みを感じながらも、新たな挑戦を通じて、より多くの方々にまつりの魅力を伝えたいという期待を胸にスタートいたしました。

思い返すと、2024年７月から事務局長の小山先輩とともに議案構築から走り始め、10月には委員会メンバー、事務局メンバーが加わり、翌年2月に開催される第二十二回長野灯明まつりへ向けて駆け抜けました。企画運営を進める中で、様々な壁にぶつかることも多く、決して簡単な道のりではありませんでした。しかし、そのたびに一緒に立ち向かってくれるメンバーの存在、そしてシニアの先輩方の温かい支えが大きな力となり、困難を乗り越えることができました。

本年は灯り絵をより多くの小学生に知ってもらいたい、そして長野市出身の子どもたちが成長した時に共通の思い出があればいいなという想いで、灯り絵の普及事業を開催させていただきました。どれくらいの学校が参加してくれるか不安も大きかったですが、想定以上に多くの生徒の皆さまにご参加いただき､心を込めて切り絵を描く姿が見られました。その光がともる瞬間、人と人とのつながりや灯り絵が醸し出す温かい空間を感じることができ、灯り絵がもつ可能性を改めて実感いたしました。

一年を通して得た経験と絆は、私の大切な財産です。これからも、灯明まつり、灯り絵の文化を未来へと受け継ぎ、より多くの方に感動を届けられるよう願っております。改めまして、この一年間にわたりご支援、ご協力を賜りました正副理事長会議をはじめとする長野青年会議所の皆様、事業に全力で取り組んでいただいた灯明委員会の皆様、関わってくれたすべての皆さまに、心より感謝申し上げます。



灯明委員会
理事 **窪　　智敬**

５年連続６回目の理事職

推連室灯明委員会理事の窪です。本年度は、第二十二回長野灯明まつり事務局運営、灯り絵を長野の文化にする事業等を実施しまして、峯村委員長と林部VCを中心に楽しい委員会活動をありがとうございました。

理事として、主に総会・理事会に関する発信、灯明まつりの決算総会の会計と各事業への参画をした2025年でしたが、委員会内の参加動員については結果的には難しい一年間でありました。勿論、運営はスタッフ陣にお任せしましたが、もう少し理事として何かできたのではないかと思案した日々でした…多分。おそらく。

なんとも反省文みたいになり暗くなってしまうので、別角度から思い出を書きます。静かにうるさいイッペイさんの酔っ払い話と野生のミズキチを発見した報告が楽しみでした。ランチでの爆食、吉田うどんも稲里の焼肉もめちゃ美味しかった記憶と、新入会員に配属先を問いかけられることもありました。どれも素晴らしい？思い出をありがとうございました笑。

来年度も灯明まつりを楽しみにしております!！以上、

ありがとうございました。



会員拡大委員会
委員長 **宮沢　洋平**

「全員拡大」に感謝

この一年を振り返ると、「全員拡大」というスローガンのもと、寝ても覚めても拡大のことを考え続けた日々でした。残念ながら掲げた新入会員数の目標にはわずかに届きませんでしたが、その過程で得た経験や気づき、そして多くの仲間との絆は、何ものにも代えがたい財産となりました。

会員拡大は単なる人数の増減ではなく、私たち長野青年会議所の未来、さらには地域社会の発展を支える人材を増やす重要な運動です。入会を迷う方々と真摯に向き合い、長野青年会議所の意義や魅力を語るなかで、私自身も改めて「JCとは何か」「なぜこの運動が必要なのか」を自問する日々でした。人を誘うことの難しさを痛感する一方で、人の想いが人を動かすというJC運動の原点を、改めて実感する機会にもなりました。

「全員拡大」という言葉の通り、この一年は委員会だけでなく、LOM全体で支えていただいた一年でもありました。メンバーの皆様には、私たちの見えないところでも数多くの勧誘活動を行っていただき、新たな仲間を迎える原動力となってくださいました。そのご尽力に心より感謝申し上げます。また、入会を決意された新入会員の皆様には、新たな環境に勇気をもって飛び込んでくださったことに、深く敬意を表します。どうか今後のJC活動を通じて多くの経験を積み、ご自身の可能性を存分に広げてください。

最後に、この一年間、未熟な私を支え、常に前向きな力を与えてくれた委員会メンバー、そしてご指導・ご支援を賜りました正副理事長会議の皆様、「全員拡大」のスローガンのもと共に歩んでくださった全メンバーの皆様に、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



会員拡大委員会
理事 **若麻績憲義**

無任所理事として

一年間会員拡大委員会の無任所理事をお預かりいたしました。今振り返ると、正直悔いが残る一年間でした。日本青年会議所の会員拡大委員会に副委員長出向しておりそちらの活動に追われ、無任所理事として宮沢委員長を支えることや、拡大運動に注力することができませんでした。拡大運動は全員拡大を念頭に置いて実施しているはずが、自分自身が十分に参画できず、委員会メンバーを巻き込むことができなかったことは不甲斐なく感じています。しかし、私の至らない動きをしていても宮沢委員長は文句も言わず応援してくれており、その姿勢を見習わなければならないと思いました。そのおかげで、出向に集中することができましたし、次年度への準備をすることができました。今回学んだこと、反省点をしっかり自身に落とし込むとともに、他のメンバーへも伝えてまいります。宮沢委員長、一年間ありがとうございました。



びんずる委員会
委員長 伊藤　陵輔

彩～忘れ得ぬ夏～

本年度、びんずる委員長兼第55回長野びんずる実行委員会事務局長兼EXILEのRYOの職をお預かりさせていただきました伊藤です。

長野びんずるの発起に位置づける例会であれば、長野市民を巻き込んだ盛大な例会にしたいと考えました。また、善光寺から不滅の常燈明をいただいてからびんずる踊りが始まります。そのことから、６月公開例会は善光寺から水をもらい中央通りで流しそうめんをしたい、そんな安直な考えから６月公開例会の構築が始まりました。最初は、確定事項や前例がないことでしたので、雲を掴むような感覚で議案を構築していきました。予算やゲストも決まらない中で委員会を何度も開催し、メンバーに何回も励まされ、なんとか開催まで辿り着けました。

６月公開例会当日は、酷暑となりましたが、準備作業を黙々とこなしてくれるメンバーたちの姿を見て改めてJCの魅力や底力を再認識しました。元EXILEのMAKIDAI氏の効果で、多数の新聞やインターネット媒体、LDH公式HPにも６月公開例会について掲載されました。さらにMAKIDAI氏と一緒にテレビに生出演し、６月公開例会をPRしたことで、私が知りうる公開例会の中で１番の来場者の方にご来場いただき、巨大流しそうめんも大盛況でした。６月公開例会、第55回長野びんずるともに来場者の溢れる笑顔は忘れ得ぬ夏となりました。

伝統ある長野青年会議所で名誉ある委員長の職を担う事で、何者でもない自分が、これほどまでにまちや市民の皆様に彩を与えることができました。そんな素晴らしい経験ができるのがJayceeの魅力であることを改めて認識いたしました。このような貴重な機会を与えていただきました正副理事長会議の皆様、また、６月公開例会及び第55回長野びんずるにご協力いただきました皆様に御礼を申し上げ、私からの委員長報告とさせていただきます。１年間ありがとうございました。



びんずる委員会
理事 北島　謙治

「最高の夏」

拡大広報戦略委員会委員長として後期新入会員募集事業と11月例会、そして事業報告書及び年誌の作成が始まった地獄の日々を過ごしていた時、唐木沢総括副理事長より当委員会にて筆頭VCを担っていただいていた「伊藤陵輔」というスーパースターがびんずる委員会の委員長になるから、そこの無任所理事を受けて欲しいとの打診がありました。もちろん即答でお受けしました。何かを成す漢であると確信はしていましたが、びんずるの準備が本格化する非常に忙しい時期に公開例会を行いたいと。『びんずるの名を冠した事業を展開できるのは我々長野青年会議所だけである』と。死の宣告を受けた気分でしたが流石はスーパースター。全ての不安を払拭し、委員会メンバーの先頭に立ち本祭までやり遂げてくださいました。私がその一端を担うことが出来たことを誇りに思います。

これまでびんずる委員会の為にご尽力していただきました正副理事長会議の皆さまをはじめ、伊藤委員長、委員会メンバーにこの場をお借りして感謝申し上げます。「忘れ得ぬ夏」をありがとうございました。

挑戦を未来の力に

～大志を抱き、誰が為に挑み続ける～

委員会事業報告・活動報告・写真



１月例会の企画・運営

◆１月例会「勇往邁進」～挑戦の幕明け～

●実施組織
広報例会委員会

●実施日時
2025年01月11日（土）18：00～21：00

●実施場所・会場
ホテル国際21 千歳の間
長野県長野市県町 576

●事業目的（対外）
なし

●事業目的（対内）
組織の団結力を高め、運動への参画意欲を高めることを目的とします。

●実施プログラム
１）2024年度後期準会員の紹介
２）2025年度正副理事長会議、委員長及び理事の紹介
３）アトラクション（餅つき）
４）2025年度委員会紹介
５）出向者激励

●成果
上記各プログラムを通して、会員間で2025年度の運動の方向性や意識を明確に共有することができ、本会の団結力を高めることができたとともに、参加した全会員に本年度の運動への参加意欲を高めていただくことができました。













出向者の支援（京都会議）
各種会議・大会・周年事業に参加する会員の支援

◆2025年度京都会議　LOMナイト　～挑戦の旅～

●実施組織
総務渉外委員会

●実施日時
・京都会議
2025年１月23日（木）～26日（日）
・LOMナイト
2025年１月25日（土）18：30～20：30

●実施場所・会場
・京都会議
国立京都国際会館
・LOMナイト
レストラン菊水

●事業目的（対外）
無

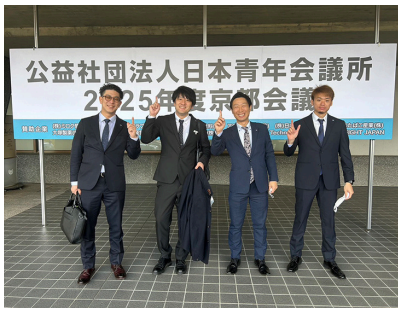
●事業目的（対内）
新年式典や各フォーラムに参加することによって、貴重な発見や学びを得ることができるとともに、委員会メンバーとの懇親を深め、新年度の活動に対する意識を高めることを目的とします。

●実施プログラム
１）京都会議への参加支援
２）LOMナイトの企画・運営

●成果
従来より実施している参加支援に加えて参加推進を実施し、より多くの会員にLOMナイトと新年式典に参加していただくことで、会員同士の懇親を深めるとともに、日本青年会議所が一年間実施する運動の方向性を確認していただきました。また、各会議体・委員会が実施するファンクションへの参加を通して、出向者の活動を知っていただくことができました。そして、LOMナイトを開催することで、出向者を応援する機運を高めるとともに、委員会メンバー同士の結束を深め、一年間の運動を円滑に推進する基盤を作ることができました。













第二十二回長野灯明まつり実行委員会事務局運営
２月公開例会の企画・運営

◆２月公開例会・第二十二回長野灯明まつり「長野から世界へ～平和の灯りを届けよう～」

●実施組織
灯明委員会

●実施日時
2025年02月07日（金）17：30～2025年02月11日（火）21：00

●実施場所・会場
善光寺周辺、城山公園、中央通り、長野駅周辺

●事業目的（対外）
多くの来場者が長野灯明まつりの灯りに触れることで、世界平和を願う人々が増えることを目的とします。

●事業目的（対内）
多くの来場者が集まる魅力的なまつりの構築と運営を目的とします。また「長野灯明まつり」を全体事業とする会員の当事者意識の醸成を目的とします。

●実施プログラム
01）ゆめ灯り絵（城山公園）
02）善光寺ゆめ常夜灯（善光寺本堂他）
03）夜空に浮かぶLEDランタン（城山公園）
04）大灯籠（長野駅・善光寺口駅前広場）
05）灯明ラーメンフェスタ（城山公園）
06）灯明キャンドルコンサート（北野文芸座）
07）灯明スポーツファンフェスタ（長野県立美術館地下ホール）
08）第20回門前そば屋のそば食いねぇ！
09）宿坊ゆめ茶会
10）仲見世ぶらり歩き
11）善光寺表参道イルミネーション（善光寺表参道・長野駅交差点～善光寺交差点）
12）こどものモール×善光寺表参道イルミネーションコラボ（もんぜんぷら座）
13）外国人向け特別ガイド「NAGANO TOMYO FESTIVAL～Welcome to Zenkoji Temple Lantern Festival～」
14）プロジェクションマッピング（ながの表参道セントラルスクゥエア）
15）善光寺表参道Food Stand
16）カンパイ横丁in長野灯明まつり（ながの表参道セントラルスクゥエア）
17）信州SAKEまつり“熱燗飲み比べ”（ながの表参道セントラルスクゥエア）
18）特設足湯体験（ながの表参道セントラルスクゥエア）
19）こども夢福引
20）敦賀の特産品ブースと、コラボおやき販売「つるが屋」（ToiGO広場前）
21）オリンピックメモリアル（もんぜんぷら座304号室）
22）豚汁の販売（仁王門東側）

●成果
第二十二回長野灯明まつりは、長野青年会議所の２月公開例会という初めての形式で実施しました。また、事業実施前には決起集会の開催にも初挑戦し、これらを通じて多くの会員がこれまで以上に当事者意識を醸成した上で運営に携わることができ、長野灯明まつりという魅力的なまつりの構築と運営を実現することができました。また、ほぼすべての来場者に本事業の「灯り」を通じて平和への願いを感じていただき、世界平和を願う人々が増える一助とすることができました。













３月例会の企画・運営

◆３月例会「Change Your Mind」～大人向け主権者教育～

●実施組織
市民力向上委員会

●実施日時
2025年３月19日（水）18：30～21：00

●実施場所・会場
長野市芸術館　アクトスペース（長野県長野市大字鶴賀緑町1613）

●事業目的（対外）
なし

●事業目的（対内）
会員が主権者意識の重要性を理解し、その意識を向上させることを目的とします。

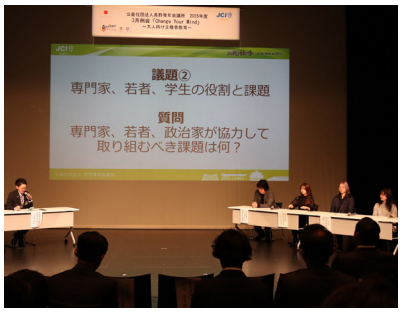
●実施プログラム
１）第1部　「主権者意識の現状」
２）第2部　「主権者意識向上の重要性とまちづくり」
　前半：講演　佐藤章太郎氏
　センキョ割学生実施委員会大学生メンバー
　後半：パネルディスカッション
３）第3部　「主権者意識×市民力向上」

●成果
本事業では、長野市における主権者意識の現状を共有し、また専門家の講演や若者も含めたパネルディスカッションを通して、市民の主権者意識向上がもたらすまちづくりへの可能性について理解を深めてもらい、参加した多くの会員に対して、主権者意識の重要性の理解促進と、その意識の向上をもたらすことができました。













４月公開例会の企画・運営

◆４月公開例会「TOUCH THE KOREA 2025」

●実施組織
国際交流委員会

●実施日時
2025年04月12日（土）11：00～17：00

●実施場所・会場
ながの表参道セントラルスクゥエア
長野県長野市西後町1580

●事業目的（対外）
長野市民が国際交流や外国の文化に関心をもつことを目的とします。

●事業目的（対内）
会員自らの国際感覚の醸成を図ることを目的とします。

●実施プログラム
１）韓国食文化体験ブース
２）韓国コスメ体験ブース
３）韓国子どもの遊び体験ブース
４）韓国ステージイベント
５）JCブース（ソウル江北JCとの交流の歴史紹介）

●成果
本例会を開催し、各種ブースやステージイベントを通して2,000名を超える長野市民に国際交流や外国の文化に関心をもってもらうきっかけを創出することができ、会員に対しても例会構築や参画を通じて国際感覚を醸成していただくことができました。













ソウル江北青年会議所との交流事業

◆ソウル江北青年会議所公式訪問受入事業

●実施組織
国際交流委員会

●実施日時
2025年04月12日（土）～04月14日（月）

●実施場所・会場
04月12日（土）
歓迎レセプション：メトロポリタン長野
交流会：ゴースト

04月13日（日）
昼食会：高山亭
エクスカーション：臥竜公園
懇談会：湯田中温泉 一茶のこみち美湯の宿
夕食会：同上
交流会：スナック輝き

04月14日（月）
昼食会：東急ハーベスト旧軽井沢

●事業目的（対外）
なし

●事業目的（対内）
ソウル江北JCとの関係をより強固なものとすることを目的とします。

●実施プログラム
1）歓迎レセプション
2）交流会
3）昼食会
4）エクスカーション（お花見）
5）懇談会
6）夕食会

●成果
本年で46年目を迎える姉妹JCであるソウル江北青年会議所との交流について、韓国文化を長野市民に体験していただいた４月公開例会と同時開催とすることで例年以上におもてなしの心を形に示すことができ、ソウル江北青年会議所との関係をより強固なものとすることができました。













居酒屋の青春の企画・運営

◆居酒屋の青春～形式化を脱却して激論！知的サロン編～

●実施組織
未来黎明委員会

●実施日時
2025年4月17日（木）19：00～21：30

●実施場所・会場
COLORFUL
長野県長野市南千歳１-16-14

●事業目的（対外）
なし

●事業目的（対内）
このまちや組織の未来について多角的視点から議論を行い、会員相互で未来を語り合う重要性を再認識し、そして本事業を起点に会員一人ひとりのリーダーたる意識を高めることを目的とします。

●実施プログラム
１）事前説明（クイズ形式）
２）ディベート「長野青年会議所にとってどちらの法人格が効果的であるか」
３）ディベート「二度目の五輪招致が我々やまちにもたらす効果」

●成果
本事業は、ディベート形式にて開催しましたが、事前勉強を含め多くの会員が闊達なる議論を通して、テーマである「法人格」、「五輪招致運動」について知識を深めていただき、全会員に会員相互で未来を語り合う重要性を再認識し、このまちのリーダーたる意識を高めていただくことができました。











５月例会の企画・運営

◆５月例会『確かな基盤とさらなる挑戦』～総会や各種大会の醍醐味～

●実施組織
総務渉外委員会

●実施日時
2025年05月15日（木）18：30～21：00

●実施場所・会場
長野市芸術館　アクトスペース

●事業目的（対外）
無

●事業目的（対内）
長野青年会議所の会員としての当事者意識を向上させるとともに、各種大会に対する参加意欲を向上させることを目的とします。

●実施プログラム
１）長野青年会議所を知る　前半・後半
２）長野青年会議所を考える
３）長野青年会議所を飛び出す

●成果
本会における総会・理事会をはじめとする各種会議の位置づけや事業実施までのフローなど長野青年会議所の組織の根幹について会員に理解していただきました。特に、例会内で「定時総会への当事者意識を向上させるための工夫」をテーマにグループディスカッションを実施した結果、次回以降の総会への当事者意識を高めていただくという目的を達成することができました。また、各種大会やそこで実施される各フォーラムについて具体例を複数紹介し、フォーラムで得られる学びを共有して会員の参加意欲を向上させるという目的を達成することができました。













台中國際青年商會公式訪問の実施

◆台中國際青年商會公式訪問事業

●実施組織
国際交流委員会

●実施日時
2025年５月16日（金）～５月18日（日）

●実施場所・会場
中華民国（台湾）台中市内

●事業目的（対外）
なし

●事業目的（対内）
台中國際青年商會との関係をより強固なものとすることを目的とします。

●実施プログラム
１）懇談会
２）歓迎レセプション

●成果
友好締結を結び56年目を迎える台中國際青年商會を訪問し、今後の両LOMの関係性を再確認し、懇親を深めたことで台中國際青年商會との友好関係をさらに強固とすることができました。













アップグレードセミナー（24後期）の企画・運営

◆2024年度後期準会員アップグレードセミナー～熱き挑戦、誰が為に～

●実施組織
会員拡大委員会

●実施日時
2025年05月22日（木）18：30～20：00

●実施場所・会場
長野市生涯学習センター 4階大学習室1
長野市大字鶴賀問御所町1271番地3　TOiGO WEST

●事業目的（対外）
なし

●事業目的（対内）
後期準会員が青年会議所運動への理解を深め、自ら運動を起こす力を身に付けることを目的とします。

●実施プログラム
第１部～熱き挑戦～「事業のプレゼンテーション」
第２部～誰が為に～（前半）「プレゼンに対する質疑応答」
（後半）「質疑応答の共有」

●成果
上記各プログラムの履修を通じて、2024年度準会員が研修期間の総決算として青年会議所運動への理解を深め、自ら運動を起こす力を身につけていただくことができ、同準会員らに今後正会員として、より主体的に青年会議所運動に取り組む基礎固めを修了していただくことができました。













JCI-ASPACへのブース出展の企画･運営

◆「JCI-ASPACウランバートル大会」ジャパンナイトブース出展

●実施組織
正副理事長会議

●実施日時
・JCI-ASPACウランバートル大会
2025年06月12日（木）～2025年06月15日（日）
・JCI-ASPACウランバートル大会ジャパンナイト
2025年06月14日（土）21：00～23：00

●実施場所・会場
National Amusement Park 内 Happy Park エリア
Olympic Street 1,SBD-1khoroo, Ulaanbaatar14241
Mongolia

●事業目的（対外）
長野市の認知度を高め、交流を通した相互理解を図ることを目的とします。

●事業目的（対内）
国際交流を通して、会員一人ひとりの国際社会の一員であるという当事者意識の向上を目的とします。

●実施プログラム
1）JCI-ASPACウランバートル大会への参画
2）同大会ジャパンナイトにおける長野市PRブースの出展
（七味唐辛子の振る舞い）

●成果
モンゴルはウランバートルの地で開催されたJCI-ASPACウランバートル大会ジャパンナイトにてブース出展を行い、会員に直接的な国際交流の機会を提供することで、国際社会と主体的に関わる意識を高め、さらには国内に留まらず海外の方々へ長野市の認知度向上と相互理解の促進をもたらすことができました。













６月例会の企画・運営

◆６月公開例会　「prologue」～長野びんずる、踊るしない！？～

●実施組織
びんずる委員会

●実施日時
2025年06月21日（土）15：00～21：00

●実施場所・会場
（対内パート）
長野市生涯学習センター 4階大学習室3
長野市大字鶴賀問御所町1271番地3　TOiGO WEST

（公開例会パート）
・ながの表参道セントラルスクゥエア
長野県長野市南長野西後町1580
・大門南～セブンイレブンまでの中央通り（歩行者天国）

●事業目的（対外）
長野市民の第55回長野びんずるへの参加意欲が高まることを目的とします。

●事業目的（対内）
会員の第55回長野びんずる運営に向けた意識と結束が高まることを目的とします。

●実施プログラム
（対内パート）
・新入会員紹介
（公開例会パート）
１）アトラクション「巨大流しそうめん」
２）アトラクション「ダンスパフォーマンス」（ナチュラルムーブメント321）
３）アトラクション「よさこいパフォーマンス」
４）アトラクション「みんなで踊ろうびんずる踊り」
５）アトラクション「ゲストライブ」（舞響太鼓雅）

●成果
55回目の節目を迎える本年の「長野びんずる」において真の市民総和楽・総参加を実現するために公開例会という形式でびんずるに向けた決起の機会を設けました。ゲストに現代ダンスブームの火付け役である「EXILE」のMAKIDAI様を迎えたことにより、多くの市民の皆様の注目を集めることができ、それにより第55回長野びんずるへの参加意欲を大いに醸成することができ、会員に対しても同祭りの運営に向けた意識と結束を大いに高めることができました。








７月例会の企画・運営
会員資質の向上事業の企画・運営

◆７月例会「アチィ部!!」～心を燃やせ～

●実施組織
広報例会委員会

●実施日時
2025年07月17日（木）18：30～21：30

●実施場所・会場
ホテル国際21 芙蓉の間

●事業目的（対外）
なし

●事業目的（対内）
青年会議所の存在意義や理念に対する理解を深め、会員の成長機会獲得に対する意識向上を目的とします。

●実施プログラム
１）第１部 「資質向上の可能性」
２）第２部 「JCI-Achieve」

●成果
会員に対して、「JCプログラム」という学びの機会があることを周知することで、今後の成長機会のチャンネルの幅を提供できました。特に、講師となる委員会メンバーが「トレーナートレーニング」を受講し、事前の入念な準備によって内容を十分に理解し、自らの言葉で伝えることができたことで、参加した会員に対して当該プログラムの本質を伝えることができ、それによって青年会議所の存在意義や理念に対する理解を深めていただき、成長機会獲得に対する意識を向上させることができました。









出向者支援（サマーコンファレンス）
各種会議・大会・周年事業に参加する会員の支援

◆2025年度サマーコンファレンス
LOMナイト～Neo Cruising Night～

●実施組織
総務渉外委員会

●実施日時
・サマーコンファレンス2025
2025年７月19日（土）～７月20日（日）
・LOMナイト
2025年７月19日（土）19：00～21：00

●実施場所・会場
・パシフィコ横浜　神奈川県横浜市西区みなとみらい1丁目1-1
・CRUISE　PARTY　FRONTIER　神奈川県横浜市西区みなとみらい1-3レストラン菊水

●事業目的（対外）
無

●事業目的（対内）
青年会議所運動に対して新たな気付きや学びを得るとともに、出向者と会員の相互理解を深めることで、青年会議所運動に対する意欲をさらに高めることを目的とします。

●実施プログラム
１）サマーコンファレンス2025への参加支援
２）LOMナイトの企画・運営

●成果
本大会は「Get your future」をテーマに、横浜の地で２日間に亘り開催されました。本会から出向している会員にとっては最大の運動発信の場となり、その姿は多くの本会の会員にも新たな気づきと良い刺激を与える場となりました。また、横浜港を周遊するクルーズ船内で開催したLOMナイトには、76名と多くの会員の皆様にご参加いただき、委員会メンバーや出向者との懇親をより深める機会とすることができました。













第55回長野びんずる実行委員会事務局運営

◆第55回長野びんずる「彩～忘れ得ぬ夏～」

●実施組織
びんずる委員会

●実施日時
2025年08月02日（土）

●実施場所・会場
中央通り及びその周辺地域

●事業目的（対外）
何気なく過ごしている日常に彩と活力を与え、老若男女を問わず記憶に残るようなまつりにします。

●事業目的（対内）
新しい時代にふさわしい、真の市民総和楽・総参加を体現したまつりを創り上げます。

●実施プログラム
01）ウォータースライダー・プール
02）移動水族館
03）はたらく車大集合
04）ティラノ撮影・水射的
05）びんずるゴーカート
06）スポーツエリア
07）電動キックボード
08）ステージイベント
09）カンパイ横丁
10）切り絵ワークショップ
11）セレモニー（採火式・法灯行列・分火式）
12）新正調踊り
13）萬燈神輿

●成果
第55回長野びんずるは長野を代表する祭りであり、市民総和楽・総参加という普遍的なテーマの元、第54回からの引き継いだ各種イベントの継続、EXILE　MAKIDAI氏やFANTASTICS　澤本夏輝氏に参加していただくことで、コロナ禍以降、最高の来場者数を記録しました。また、踊りの参加人数も前回より500人増加し、スローガンに込めた「何気なく過ごしている日常に彩と活力を与え老若男女を問わず記憶に残るような祭り」を実現することができ、このまちを鮮やかに彩り、びんずるに関わったすべての人の忘れ得ぬ夏を創出することができました。













ソウル江北青年会議所との交流事業

◆アイドゥルミッション訪問事業

●実施組織
国際交流委員会

●実施日時
2025年８月14日（木）～16日（土）

●実施場所・会場
大韓民国ソウル市内

●事業目的（対外）
言葉のみではなく文化や習慣等の違いを体験し、感受性の豊かな少年時代から国際感覚を養うことを目的としています。

●事業目的（対内）
なし

●実施プログラム
１）歓迎会
２）ホストファミリーごとに交流

●成果
国際都市長野を目指すべく、これからの将来を担う子どもたちに海外との交流を通じて、言葉、文化及び習慣等の違いを体験していただき、参加した全ての子どもたちに少年時代から国際感覚を身に付けていくことができました。











８月例会の企画・運営

◆８月例会「Make it Happen!」～青炎を灯し、夢をかなえろ～

●実施組織
未来黎明委員会

●実施日時
2025年８月23日（土）17：30～20：00

●実施場所・会場
ホテル国際21　芙蓉の間
長野県長野市県町576

●事業目的（対外）
なし

●事業目的（対内）
全会員がこのまちのリーダーとしての行動意欲を向上させることを目的とします。

●実施プログラム
１）第１部　「Dream Big. Act Bold.」～大きく夢見て、大胆に動け～
２）第２部　「Shape The Dream.」～夢を形に～

●成果
本事業では、未来黎明委員会がこのまちに変革の起点を創出するために行ってきた調査研究内容を発表するとともに、長野市への政策提言の概要についても会員に共有する機会としたことで、全会員に対して本会ならではの壮大な夢と自由な発想をもった取組みが今後のまちや組織をより良くするために重要であることを理解していただくことができ、このまちのリーダーとして行動する意欲の向上をもたらすことができました。













９月公開例会の企画・運営
NAGANO JC PLAN80
～Dream of Youthプロジェクト～

◆９月公開例会 NAGANOこどもEXPO2025『未来をつくるキミへ～発見・挑戦・広がる世界～』

●実施組織
青少年共創委員会

●実施日時
2025年９月28日（日）10：00～16：00

●実施場所・会場
ながの表参道セントラルスクゥエア（長野県長野市南長野西後町1580）
中央通り

●事業目的（対外）
・子ども
体験を通じて子どもたちの自己成長とシビックプライドを育むことを目的とします。
・地域
本事業へ参加いただいた地域の人や協力団体が子どもの成長を育む重要性を感じてもらうことを目的とします。

●事業目的（対内）
地域のリーダーとしての自覚と青少年育成事業の重要性の認識を高めることを目的とします。

●実施プログラム
１）シビックプライド醸成ファンクション
・謎解き
・未来ポストブース
２）自己成長ファンクション
・こどもチャレンジマーケットの屋台出店（年間事業4回目）
・子どものステージ発表会
３）体験ファンクション
・ウォーターサバゲー
・防災ブース
・化石発掘ブース

●成果
当日は想定を上回る子どもたちにご来場いただき、貴重な体験の機会提供ができたことで、参画した会員が地域のリーダーとしての自覚を高めるとともに青少年育成事業の大切さを肌で感じることができた例会となりました。また、上記各プログラムによる体験を通じて、子どもたちの自己成長とシビックプライドを育むとともに、参加いただいた地域の方や協力団体が子どもの成長を育む重要性を感じていただくことも叶いました。













出向者支援（全国大会）
各種会議・大会・周年事業に参加する会員の支援

◆第74回全国大会佐賀大会　LOMナイト　Gratitude～共に歩んだ旅路～

●実施組織
総務渉外委員会

●実施日時
・第74回全国大会佐賀大会
2025年10月09日（木）～2025年10月12日（日）
・LOMナイト
2025年10月11日（土）20：00～22：05

●実施場所・会場
・第74回全国大会佐賀大会
佐賀市文化会館　佐賀県佐賀市日の出1丁目21-10
SAGAアリーナ　佐賀県佐賀市日の出2丁目1-10
・LOMナイト
ダイニング＆テラス86　佐賀県佐賀市中央本町3-18 アルファ318ビル3F

●事業目的（対外）
日本青年会議所の運動をより理解し、出向者、卒業予定者の想いを継承することを目的とします。

●事業目的（対内）
無

●実施プログラム
1）第74回全国大会佐賀大会への大会登録・参加支援
2）LOMナイトの企画・運営

●成果
本大会は、「Plus Ultra～理想の先へ～」をテーマに掲げ、本年度の総括にとどまらず、これまでに得た成果や経験を次年度へと繋ぎ、未来に向けて運動をさらに加速させる機会として開催されました。開催地である佐賀市は遠方ではありましたが、多くの会員に参加していただき、出向者や卒業予定者と共に現地を訪れ各ファンクションや式典に参加し、次年度へ想いを受け継いでいただくことができました。













公開討論会の企画・運営

◆令和7年度長野市長選挙立候補予定者公開討論会

●実施組織
市民力向上委員会

●実施日時
・街中アンケート
2025年09月13日（土）10：00～15：00
・公開討論会
2025年10月17日（金）18：00～20：00

●実施場所・会場
・街中アンケート
長野駅善光寺口周辺
・公開討論会
若里市民文化ホール　長野県長野市若里3丁目22番2号
YouTubeライブ及びアーカイブ配信
https：//www.youtube.com/live/gw9R-XZ2gCM?si=Si9kIo-Hyu2zcLJG

●事業目的（対外）
若年層を中心とした市民の政治参加への意識と、長野市長選挙の投票率向上を目的とします。

●事業目的（対内）
市民に対する政治啓発の重要性を再認識することを目的とします。

●実施プログラム
1）討論テーマ選定のための街中アンケート
2）公開討論会の実施

●成果
公正公平な立場で立候補予定者の公開討論会を開催し、立候補予定者の思いや人となりを知り、そして市が抱える課題について市民が主体的に考える機会を提供することで、市民のまちづくりへの関心、政治参加への意識の向上をもたらし、また会員に対しては市民への政治啓発の重要性についてあらためて理解を深めることができました。また、事前に街中アンケートを実施し、400名近い市民の声を反映させて討論会テーマを選定して討論会を実施した結果、立候補予定者のより熱のある言葉を引き出すことができました。













10月公開例会の企画・運営
主権者教育事業の企画・運営
地域連携事業の企画・運営

◆主権者教育･地域連携事業「NAGANO未来づくりプロジェクト」
10月公開例会「未来づくりラボ～知ろう、語ろう、自分たちのまち～」

●実施組織
市民力向上委員会

●実施日時
・センキョ割普及プロジェクト
2025年06月06日（金）～2025年11月09日（日）
・10月公開例会
2025年10月25日（土）10：00～16：00
・未来リーダーズ・フォーラム「長野市への提案書」提出
2025年12月23日（火）14：20～14：40

●実施場所・会場
・センキョ割普及プロジェクト
長野市内の企業・店舗
・10月公開例会
講演会・未来リーダーズ・フォーラム：北野文芸座　長野県長野市南長野1611
粉もん総選挙･スタンプラリー:ながの表参道セントラルスクゥエア
長野県長野市南長野西後町1580
・未来リーダーズ・フォーラム「長野市への提案書」提出
長野市役所

●事業目的（対外）
長野市民の主権者意識及び主体的に政治参加をする意欲の向上を目的とします。

●事業目的（対内）
高めた主権者意識を確固たるものとし、まちの未来を担う自覚と責任を会員一人ひとりがより強くもつことを目的とします。

●実施プログラム
1）センキョ割普及プロジェクト
2）杉村太蔵氏　講演会
3）未来リーダーズ･フォーラム
4）粉もん総選挙・スタンプラリー

●成果
本事業では、若者を中心とした市民向けの主権者意識向上事業として、長野市内の企業・店舗を巻き込んだ「センキョ割普及プロジェクト」の他、著名人の講演や有識者と学生のパネルディスカッション、市民参加型の体験プログラムを通して、長野市民に対し主権者意識及び主体的な政治参加への意欲の向上をもたらし、会員にはまちの未来を担うリーダーとしての自覚と責任をより強く有してもらうことができました。また、「未来リーダーズ・フォーラム」では、その集大成として、有識者と学生のディスカッションを元に作成した、若者目線の「長野市への提案書」を長野市長へ提出しました。










世界会議へのブース出展の企画・運営

◆JCI世界会議チュニス大会ジャパンナイトブース出展

●実施組織
正副理事長会議

●実施日時
・JCI世界会議チュニス大会
2025年11月04日（火）～2025年11月08日（土）
・ジャパンナイト
2025年11月07日（金）現地時間20：00～22：00

●実施場所・会場
・世界会議チュニス大会
ラディソン・ブル・コンベンションセンター（Radisson Blu Hotel & Convention）
1080,tunisu,Bp355place Des Droits De,Lhomme Avenue Mohamed V
・ジャパンナイト
GREENWOOD MORNAG
M8P5+59X , Mornag, Tunisia

●事業目的（対外）
世界会議ジャパンナイト来場者に対して、長野市のまちの魅力を発信することを目的とします。

●事業目的（対内）
世界各国のJCメンバーと交流を行い、会員一人ひとりが多文化共生に対する意識を高めることを目的とします。

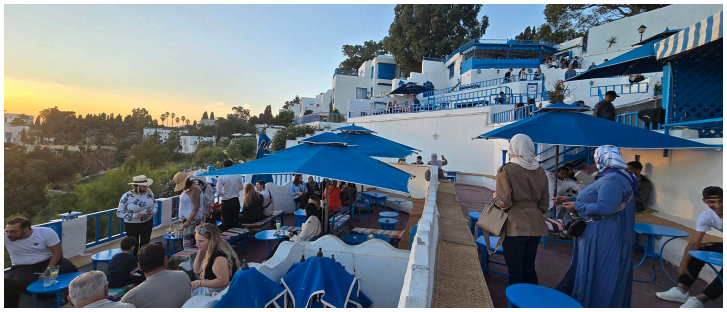
●実施プログラム
１）JCI世界会議チュニス大会への参画
２）同大会ジャパンナイトにおける長野市PRブースの出展
（フリーズドライ味噌汁及び七味唐辛子の振る舞い）

●成果
JCI世界会議チュニス大会ジャパンナイトにてブース出展を行い、会員に直接的な国際交流の機会を提供することで、国際社会と主体的に関わる意識を高め、さらには国内に留まらず海外の方々へ長野市の認知度向上と多文化共生の促進をもたらすことができました。










11月例会第１部の企画・運営

◆11月例会「Action!～まちを先導するリーダーになるために～」 第１部「出向者報告」

●実施組織
総務渉外委員会

●実施日時
2025年11月20日（木） 18：30～21：00

●実施場所・会場
長野市芸術館　アクトスペース

●事業目的（対外）
無

●事業目的（対内）
仲間の成長を実感するとともに自身の成長に向けた意識を高めることを目的とします。

●実施プログラム
11月例会第1部の企画・運営

●成果
出向者が一年間邁進してきた運動の成果を例会内で会員に共有できたことで、出向者の貴重な経験を全会員で共有する機会となったとともに、まだ出向を経験していない会員にとっては出向に対して興味関心を抱く契機とすることができました。

















11月例会・アップグレードセミナーの企画・運営
アップグレードセミナー（25前期）の企画・運営

◆11月例会「Action!～まちを先導するリーダーになるために～」

●実施組織
会員拡大委員会

●実施日時
2025年11月20日（木）

●実施場所・会場
長野市芸術館アクトスペース

●事業目的（対外）
なし

●事業目的（対内）
仲間の成長を実感するとともに自身の成長に向けた意識を高めることを目的とします。

●実施プログラム
1）第２部 「アップグレードセミナー」
2）第３部 「まちのリーダーになるために」

●成果
第２部では2025年度前期新入会員のための「アップグレードセミナー」として、新入会員に対してまちづくりに関する事業計画議案の事前作成を通じて青年会議所運動への理解を深めていただくとともに、例会の中での正会員に対するプレゼンテーションを通じて正会員になるための基礎が十分備えられたことを会員相互に実感していただくとができました。また、第３部では、本年度の会員拡大事業の振り返りとともに今後どのような組織づくりを実施していくべきかその方針を発表し、参加した会員に対して自身の成長に向けた意識を高めていただくことができました。









サッカースクールの支援

◆サッカースクールの支援

●実施組織
青少年共創委員会

●実施日時
2025年11月24日（月）8：30～15：30

●実施場所・会場
富士通長野総合グラウンド

●事業目的（対外）
なし

●事業目的（対内）
サッカーを通じた健全な青少年育成に寄与することを目的とします。

●実施プログラム
長野少年サッカースクールの運動会への参加

●成果
長年受け継がれてきた青少年育成の活動の意義を再確認しながら、子ども達との心温まる交流を通じ、スポーツを通じた青少年育成の重要性を自覚し、会員自身も子ども達との触れ合いを楽しむことで、サッカーを通じた健全な青少年育成の一助となることができました。








12月例会の企画・運営

◆12月例会「誰が為に挑み続けた者たちへ」～輝ける未来のために～

●実施組織
未来黎明委員会

●実施日時
2025年12月13日（土）17：30～21：00

●実施場所・会場
ホテル国際21　千歳の間

●事業目的（対外）
なし

●事業目的（対内）
本年度の運動の軌跡を振り返り、会員相互に労をねぎらい、さらに絆を深めることを目的とします。

●実施プログラム
1）第１部　「72年目の軌跡、そして未来へのバトン」
2）第２部　「感謝～誰が為に挑み続けた者たちへ～」
・出向者慰労会
・委員会発表
・アトラクション（中幕アクト、2025年度長野青年会議所クイズ）
・個人・委員会表彰
・総評
・2025年度クロージング

●成果
本例会第１部では、本年度実施した各事業の振り返り及び理事長を歴任された会員によるクロストークを通して会員に対して未来ビジョンの重要性を再確認していただきました。また、第２部では上記各プログラムを実施した結果、今年度の運動の軌跡を振り返る機会に止まらず、次年度以降の明るい豊かな社会の実現に向けて全会員の良き慰労の機会とすることができたとともに、会員同士の絆をさらに深めることができました。











賀詞交歓会・総会・理事会運営

◆賀詞交歓会・総会・理事会運営

●実施組織
総務渉外委員会

●実施日時
■賀詞交歓会
2025年１月11日（土）

■定時総会
第１回定時総会　2025年２月01日（土）15：00～17：00
第２回定時総会　2025年８月23日（土）14：00～16：00
第３回定時総会　2025年８月23日（土）14：00～16：00

■定例理事会
第01回理事予定者会議　2024年08月25日（日）
第02回理事予定者会議　2024年09月12日（木）
第03回理事予定者会議　2024年10月09日（水）
第04回理事予定者会議　2024年11月08日（金）
第05回理事予定者会議　2024年12月05日（木）

第01回定例理事会　2025年01月09日（木）
第02回定例理事会　2025年02月06日（木）
第03回定例理事会　2025年03月06日（木）
第04回定例理事会　2025年04月03日（木）
第05回定例理事会　2025年05月01日（木）
第06回定例理事会　2025年06月05日（木）
第07回定例理事会　2025年07月03日（木）
第08回定例理事会　2025年07月31日（木）
第09回定例理事会　2025年08月28日（木）
第10回定例理事会　2025年09月25日（木）
第11回定例理事会　2025年10月30日（木）
第12回定例理事会　2025年12月05日（木）
第13回定例理事会　2026年01月14日（水）

■臨時理事会
第01回臨時理事会　2025年01月01日（水）
第02回臨時理事会　2025年12月03日（水）

●実施場所・会場
・ホテル国際21（臨時理事会を除く）
・Zoom会議によるWEB開催（第02回臨時理事会のみ）

●事業目的（対外）
総会、理事会の円滑な会議運営の徹底を目的とします。

●事業目的（対内）
無

●実施プログラム
１）各会議準備
・定時総会
会員への開催通知・出欠管理、来賓・シニアクラブ役員・近隣青年会議所対応、議長・副議長打合せ、配布資料の作成・確認
・定例理事会・理事予定者会議・臨時理事会
理事構成メンバーへの開催通知･会員への開催通知･出欠管理、オブザーバーの確認、議案書の確認
２）各会議当日
・定時総会
会場設営、来賓・シニアクラブ役員・近隣青年会議所対応、出欠管理、司会及び会議運営
・定例理事会、理事予定者会議、臨時理事会
会場設営、資料作成、司会及び会議運営
３）各会議後
・定時総会
議事録作成・署名・捺印、来賓・シニアクラブ役員・近隣青年会議所への御礼状送付
・定例理事会、理事予定者会議、臨時理事会
議事録作成・署名・捺印

●成果
予定者会議、臨時理事会を含む全20回の理事会では、事前準備を十分に実施したことで円滑な運営をすることができ、想いが込められた多くの議題を討議、協議、審議することができました。定時総会の運営では、多くのご来賓、会員をお迎えの上、無事に開催することができ、本会の今後を決める重要な議題を決議することができました。













新入会員セミナーの企画・運営

◆前期新入会員セミナー「Be The Change! ～未来を創る仲間たちへ～」 後期新入会員セミナー「未来を切り拓く挑戦のはじまり」

●実施組織
会員拡大委員会

●実施日時
・前期新入会員セミナー
2025年06月07日（土）13：30～20：30
・後期新入会員セミナー
2025年12月06日（土）12：00～19：00

●実施場所・会場
・前期新入会員セミナー
戸隠高原ホテル
長野市戸隠越水3682－6
・後期新入会員セミナー
善光寺大本願　明照殿
長野市元善町500

●事業目的（対外）
なし

●事業目的（対内）
・前期新入会員セミナー
2025年度前期新入会員が長野青年会議所での活動に必要な知識を学んでもらうとともに同期新入会員及び正会員との親睦を深めることを目的とします。

・後期新入会員セミナー
2025年度後期新入会員に対して、長野青年会議所での活動に必要な知識を学んでいただくとともに、同期会員及び正会員との親睦を深めていただくことを目的とします。

●実施プログラム
・前期新入会員セミナー
1）第１部　「JC基礎講座」
2）第２部　「2025年度長野青年会議所事業説明」
3）第３部　「３分間スピーチ」
4）新入会員と正会員との懇親会

・後期新入会員セミナー
1）第１部　「JC基礎講座」
2）第２部　「クロストーク～青年会議所運動とは～」
　顧問　伊藤　拓宗　君
　顧問　加藤　昇平　君
3）第３部　「2026年度長野青年会議所について」
4）第４部　「３分間スピーチ」
5）新入会員と正会員との懇親会

●成果
上記各プログラムの履修を通じて、新入会員に対して、本会での活動に必要な知識を学んでもらうとともに同期新入会員及び正会員との親睦を深めていただくことができました。なお、セミナー当日参加できなかった新入会員においても補講を実施し、新入会員全員について基礎知識の習得、親睦を深めるという事業目的を達成していただくことができました。













青少年育成事業（NAGANO JC PLAN80～Dream of Youthプロジェクト～）の企画・運営

◆NAGANO JC PLAN80 ～Dream of Youthプロジェクト～『NAGANO QUEST～キミが発見する長野の魅力～』

●実施組織
青少年共創委員会

●実施日時
・プログラム１回目　2025年７月06日（日）10：00～16：00
・プログラム２回目　2025年７月26日（土）08：45～17：00
・プログラム３回目　2025年８月30日（土）09：00～16：30
・プログラム４回目　2025年９月28日（日）09：00～17：00

●実施場所・会場
・プログラム１回目　長野市生涯学習センター　大学習室１
　信州善光寺　淵之坊
・プログラム２回目　Nagano Forest Village内
・プログラム３回目　長野市ふれあい福祉センター
・プログラム４回目　ながの表参道セントラルスクゥエア

●事業目的（対外）
地域の子どもたちが主体性をもちながら、この住まう地域に愛着と誇りを感じていただくことを目的とします。

●事業目的（対内）
青少年育成事業の必要性と重要性を再認識することを目的とします。

●実施プログラム
１）開会式
２）自然体験（いかだ作り）
３）文化体験（宿坊、善光寺周遊、切り絵体験）
４）食、商業体験（こどもチャレンジマーケット）
５）閉会式

●成果
本事業は全４回にわたり、子どもたちにリーダーシップの涵養とシビックプライドの醸成を図る上記各プログラムを実施しました。参加した子どもたちが得た経験は子どもたちの主体性とシビックプライド醸成に繋がり、このまちの未来へ確かに繋がるものとなりました。また、NAGANO JC PLAN80～Dream of Youthプロジェクト～の２年目として、各委員会からも多くの会員に参画していただき、青少年育成事業の必要性と重要性を感じ取っていただくことができました。









灯り絵を長野の文化にする事業

◆あかりのまち　ながの灯り絵出張工房

●実施組織
灯明委員会

●実施日時
・小学校訪問
2025年
09月17日　信州新町小学校
10月10日　緑ヶ丘小学校
10月14日　湯谷小学校
10月20日　南部小学校
10月24日　裾花小学校
10月27日　加茂小学校
いずれも授業時間内90分間
・長野市教育課への提案書提出
2025年12月

●実施場所・会場
信州新町小学校、緑ヶ丘小学校、湯谷小学校、南部小学校、裾花小学校、加茂小学校

●事業目的（対外）
●児童
灯り絵の制作や歴史に触れる中で、小学生の創造意欲の醸成や灯り絵のもつ優しさや温もりを感じてもらうことを目的とします。
●教員
教員方に灯り絵のもつ優しさ・温もりや、制作の中での学びについて感じていただくことを目的とします。

●事業目的（対内）
新たな文化の創出の必要性やその可能性を感じてもらい、郷土愛を育む環境づくりを意識してもらうことを目的とします。

●実施プログラム
１）灯り絵の説明
２）下絵の切取り作業
３）作品の提出・展示

●成果
本事業は、長野市内の小学校6校を訪問し、児童には灯り絵制作を体験してもらうことで灯り絵制作や創作自体の楽しさを実感してもらい、教員には制作に取り組む児童の姿や灯り絵がもつ優しさ・温もりに触れてもらうことで、小学校での教育面における灯り絵制作に対する満足感と継続意欲を与えることができました。さらに、本事業を元に灯り絵制作の授業を長野市小学校の教育課程に取り入れてもらうことを提案する「長野市教育課への提案書」を提出しました。









長野市への政策提言

◆長野市への政策提言「スポーツ×教養でつくる 帰りたいまち、ずっといたいまちNAGANO」

●実施組織
未来黎明委員会

●実施日時
・長野市への政策提言に関するオープン会議
第１回　2025年10月07日（火）18：30～19：30
第２回　2025年10月15日（水）12：00～13：00
・長野市への政策提言の提出 2025年12月23日（火）14：00～14：20

●実施場所・会場
・オープン会議
Web会議
・政策提言の提出
長野市役所

●事業目的（対外）
我々の壮大で自由な発想により、長野市に「長野市らしい魅力あるまちづくり」実現のための新たな変革を創出することを目的とします。

●事業目的（対内）
70周年未来ビジョンのまちビジョン「時代を牽引する地方都市の確立」の実現に向けた青年会議所運動への意識をより一層向上させることを目的とします。

●実施プログラム
なし

●成果
本政策提言は、まちの過去、現在、未来の計画を入念に調査するとともに、会員やまちの声も十分に汲み取った上で作成したものであり、実効性の高い内容とすることができました。本政策提言を作成し長野市長へ提出したことで、まちへの変革の起点を創出することができたとともに、全会員の青年会議所運動への意識のより一層の向上を図ることができました。











会計管理

◆財務運営会議の運営、会費の管理

●実施組織
総務渉外委員会

●実施日時
2025年１月～12月

●実施場所・会場
公益社団法人長野青年会議所

●事業目的（対外）
無

●事業目的（対内）
長野青年会議所の予算を厳格に管理することを目的とします。

●実施プログラム
１）各事業の計画段階での財務審査
２）各事業の報告段階での財務審査
３）支払いに関わる庶務全般
４）通帳、会費の管理

●成果
財務運営会議では、各事業を財政面から協議し、資金の費用対効果を最大限引き出すための会議とすることができました。また、本会の資金を厳格に管理し、適切な決算を行うことができました。

事務局管理・運営

◆事務局管理・運営

●実施組織
総務渉外委員会

●実施日時
2025年１月～12月

●実施場所・会場
公益社団法人長野青年会議所　事務局

●事業目的（対外）
無

●事業目的（対内）
長野青年会議所の事業が円滑に行われるための情報共有及び庶務全般を行うことを目的とします。

●実施プログラム
１）会員・シニアクラブ会員データ管理（ブルーノート作成）
２）名刺等会員必携品の取り纏め及び発注
３）現役会員の慶事・現役及びシニアクラブ会員の弔事の連絡
４）事務局備品等の管理

●成果
謹告、慶事・弔事の連絡について適切な情報発信を行うことができました。また、ブルーノートをはじめとする必携品や各種データを作成するとともに、会議室や事務局備品などにおいても事務局員と連携し、適切な管理を徹底したことで本会の事業を円滑に行うことができました。

事業報告書・年誌の作成

◆2025年度事業報告書・年誌作成

●実施組織
広報例会委員会

●実施日時
2025年１月１日～2025年12月31日

●実施場所・会場
公益社団法人長野青年会議所　事務局

●事業目的（対外）
長野青年会議所の2025年度における活動を地域社会に広く、かつ適切な形で発信することを目的とします。

●事業目的（対内）
2025年度の会員の活動記録を残し、一年間の運動の軌跡を振り返るとともに、今後の運動の指針とすることを目的とします。

●実施プログラム
2025年度事業報告書・年誌の作成

●成果
2025年度の事業報告書・年誌を作成し、これを公式Webサイトで公開したことで、対外に対しては、本会の運動を地域社会に広くかつ適切な形で発信することができました。また、対内に対しては、会員に一年間の運動の軌跡を振り返っていただき、今後の運動の指針としていただくことができました。

LOM広報（SNS・WEBサイト・メーリングリストの管理）

◆公益社団法人長野青年会議所2025年度年間広報

●実施組織
広報例会委員会

●実施日時
2025年１月１日～2025年12月31日

●実施場所・会場
公益社団法人長野青年会議所　事務局

●事業目的（対外）
長野青年会議所及びその事業の魅力を市民に伝播し、当会議所のファンを増やすことを目的とします。

●事業目的（対内）
自らが広告塔として活動すべき意識を醸成し、行動を起こすことができる人財を増やすことを目的とします。

●実施プログラム
１）各事業に対する広報支援
２）公式Webサイトの運用
３）g-stationの運用
４）Facebookの運用
５）Instagramの運用
６）X（旧Twitter）の運用
７）2025年度長野青年会議所LINEグループの運用

●成果
本年度はイメージキャラクターの活用を引継ぐべく、年度を問わず活用できるグッズの作成や、市民への認知度調査アンケートの実施など例年にない取組みも実施し、本会及びその事業の魅力を市民に伝播し、本会のファンを増やすことができました。また、対内広報についても、各事業計画内において積極的に実施するよう促したことで、自らが広告塔として活動すべき意識を醸成し、行動を起こすことができる人財を本会内に増やすことができました。さらに、年間広報中間検証議案を作成したことで、上半期に実施した広報事業とその検証を次年度の広報計画へ引き継がせることができたこともできました。

規則管理（コンプライアンス会議の運営）

◆規則管理（コンプライアンス会議の運営）

●実施組織
広報例会委員会

●実施日時
2025年１月１日～2025年12月31日

●実施場所・会場
公益社団法人長野青年会議所　事務局

●事業目的（対外）
コンプライアンス会議を厳格に運営し、長野青年会議所のガバナンスをより強化し、信頼の高い組織とすることを目的とします。

●事業目的（対内）
各事業のコンプライアンスを審査し、会員の法令遵守に対する理解を深めることを目的とします。

●実施プログラム
１）各事業の計画段階でのコンプライアンス審査
２）各事業の報告段階でのコンプライアンス審査
３）コンプライアンス関係資料の確認及び回収

●成果
公益社団法人として適格な法令遵守を徹底したことで、本会のガバナンスをより強化し、信頼の高い組織として確立することができたとともに、会員の法令遵守に対する理解を深めることができました。

各例会担当委員会への運営支援

◆各例会担当委員会への運営支援

●実施組織
広報例会委員会

●実施日時
2025年１月１日～2025年12月31日

●実施場所・会場
なし

●事業目的（対外）
なし

●事業目的（対内）
例会参画による行動変革を促すことを目的とします。

●実施プログラム
１）各例会の運営支援
２）行動変革を促すための各種注意喚起の実施

●成果
毎月の例会について、司会進行や担当委員会との早期の資料共有、セレモニーの練習を実施したことにより、担当委員会の運営が滞ることなく円滑に開催させることができました。特に、例会前に会員に行動変革を促すための注意を喚起を継続して実施したことにより、例会に参画した会員に対して、行動変革を促すことができました。

出向者支援

◆出向者激励会開催（１月例会内）

●実施組織
総務渉外委員会

●実施日時
2025年１月11日（土）　18：00～21：00

●実施場所・会場
ホテル国際21　千歳の間

●事業目的（対外）
無

●事業目的（対内）
出向に挑戦する会員を組織全体で応援することを目的とします。

●実施プログラム
出向者激励会（１月例会内）の企画・運営

●成果
会員が年度の初めに一堂に会する機会である１月例会内で、出向者を激励する機会を設けたことで、出向者にとっては組織全体での応援を肌で感じてもらうとともに、出向に対する意欲を高めていただくことができました。また、組織全体としても出向者の活動への想いを感じることで、一年間出向者を応援する意欲を高めていただくことで、会員と出向者との相互理解を深めていただくことができました。

五輪招致（調査・研究）

◆五輪招致（調査・研究）

●実施組織
未来黎明委員会

●実施日時
2025年１月１日～12月31日

●実施場所・会場
図書館、長野青年会議所事務局、各五輪施設、炭平コーポレーション（株）、COLORUL、、Web会議

●事業目的（対外）
なし

●事業目的（対内）
当該調査研究をもとに具体的な事業を構築し、会員のリーダーとしての行動意欲を向上させることを目的とします。

●実施プログラム
１）書籍からの調査研究
２）過去に実施した市民アンケートの調査研究
３）長野五輪招致の影響調査
４）札幌の五輪招致と札幌JCの関わりの調査
５）五輪招致に関わった先輩へのインタビュー
６）居酒屋の青春における会員の意識調査
７）市民意識調査アンケート

●成果
本調査・研究を通して、スポーツ都市・教養文化という、このまちの強みを認識することができ、また今後のまちづくりにおける可能性を見いだすことができました。調査研究結果をもとに８月例会及び政策提言を構築し、会員に対して、このまちのリーダーとしての行動意欲を向上せることができました。

門前まち青年会議所連盟への参画

◆門前まち青年会議所連盟への参画

●実施組織
灯明委員会

●実施日時
１）京都１月総会　2025年01月17日（金）20：00～21：00
２）西大寺会陽・懇親会　2025年02月15日（土）15：50～23：00
３）防府臨時総会　2025年07月26日（土）17：00～18：00
４）佐賀10月総会　2025年10月10日（金）18：00～19：00

●実施場所・会場
１）京都１月総会　：Zoom
２）西大寺会陽・懇親会：岡山県岡山市内（備前岡山西大寺五福座）
３）防府臨時総会　：山口県防府市内（防府天満宮参集殿、Zoom）
４）佐賀10月総会　：佐賀県佐賀市内（ホテルグランデはがくれ）

●事業目的（対外）
なし

●事業目的（対内）
同じ門前まちという共通の問題意識をもった青年会議所が一同に会し、人的交流と情報交換をしながら各青年会議所の事業、そしてこれからの各地でのまちづくり運動の一助となることを目的とします。

●実施プログラム
１）京都１月総会への出席
２）西大寺会陽・懇親会への出席
３）防府（主管青年会議所）臨時総会への出席
４）佐賀10月総会への出席

●成果
門前まちという同じまちの特色を抱える青年会議所同士が交流し、寺社仏閣を切り口としたまちづくりに向けての情報交換を行うことで、客観的に長野市を捉え、今後のまちづくりについて考え、学び、さらなる長野のまちの発展に寄与することができました。

全国城下町青年会議所連絡協議会への参画

◆全国城下町青年会議所連絡協議会への参画

●実施組織
青少年共創委員会

●実施日時
2025年１月24日（金）16：30～17：30
2025年７月04日（金）９：00～20：00
2025年７月05日（土）10：00～21：00
2025年７月06日（日）10：00～12：00

●実施場所・会場
TKP京都四条カンファレンスセンターホール6D
那覇文化芸術劇場はなーと

●事業目的（対外）
無

●事業目的（対内）
加盟青年会議所会員と各地の風土や街並みに触れ意見交換を行い、客観的に長野市を捉え、今後のまちづくりについて考え、学び、さらなる長野のまちの発展に寄与することを目的とします。

●実施プログラム
１）2025年度全国城下町青年会議所連絡協議会　通常総会
2025年１月24日（金）16：30～17：30
２）全国城下町シンポジウム　那覇大会
2025年７月04日（金）９：00～20：00
2025年７月05日（土）10：00～21：00
2025年７月06日（日）10：00～12：00

●成果
加盟青年会議所会員と意見交換を行うことで、客観的に長野市を捉え、今後のまちづくりについて考え、学び、さらなる長野のまちの発展に寄与することができました。なお、全国城下町シンポジウム那覇大会につきましては、NAGANO JC PLAN80 ～Dream of Youthプロジェクト～『NAGANO QUEST～キミが発見する長野の魅力～』プログラム１回目と日程が重複してしまったため、不参加となりました。

第二十二回長野灯明まつり実行委員会事務局運営支援

◆２月公開例会・第二十二回長野灯明まつり「長野から世界へ～平和の灯りを届けよう～」

●実施組織
びんずる委員会

●実施日時
2025年02月07日（金）17：30～2025年02月11日（火）21：00

●実施場所・会場
善光寺周辺、城山公園、中央通り、長野駅周辺

●事業目的（対外）
多くの来場者が長野灯明まつりの灯りに触れることで、世界平和を願う人々が増えることを目的とします。

●事業目的（対内）
多くの来場者が集まる魅力的なまつりの構築と運営を目的とします。また「長野灯明まつり」を全体事業とする会員の当事者意識の醸成を目的とします。

●実施プログラム
・境内部会の運営

●成果
第二十二回長野灯明まつりは、長野青年会議所の２月公開例会という初めての形式で実施しました。また、事業実施前には決起集会の開催にも初挑戦し、これらを通じて多くの会員がこれまで以上に当事者意識を醸成した上で運営に携わることができ、長野灯明まつりという魅力的なまつりの構築と運営を実現することができました。また、ほぼすべての来場者に本事業の「灯り」を通じて平和への願いを感じていただき、世界平和を願う人々が増える一助とすることができました。

新入会員募集・勧誘活動

◆新入会員募集事業

●実施組織
会員拡大委員会

●実施日時
2025年03月01日（土）～2025年11月28日（金）

●実施場所・会場
長野市及びその周辺地域

●事業目的（対外）
多くの青年経済人を入会に導くことを目的とします。

●事業目的（対内）
会員一人ひとりが当事者意識をもち勧誘活動を推進することを目的とします。

●実施プログラム

●新入会員募集要項配布期間
02月初旬～11月28日（金）

●新入会員募集事業
2025年02月07日（金）～11月28日（金）
前期新入会員募集期間　2025年03月01日（土）～05月31日（土）
後期新入会員募集期間　2025年09月01日（月）～11月28日（金）

●会員拡大会議（前期）
第１回会員拡大会議　02月20日（木）　19時00分～20時00分
第２回会員拡大会議　03月18日（火）　18時00分～18時30分
第３回会員拡大会議　04月08日（火）　18時00分～18時30分
第４回会員拡大会議　04月23日（水）　18時00分～18時30分
第５回会員拡大会議　05月08日（木）　18時00分～18時30分
第６回会員拡大会議　05月21日（水）　19時00分～19時30分

●会員拡大会議（後期）
第７回　09月02日（火）　18時00分～18時30分
第８回　10月07日（火）　18時00分～18時30分
第９回　11月11日（火）　18時00分～18時30分

●長野青年会議所説明会（前期）
１回目　2025年04月18日（金）　19時00分～20時00分
２回目　2025年05月10日（土）　14時00分～15時00分

●長野青年会議所説明会（後期）
第３回　10月04日（土）　19時00分～20時00分
第４回　11月14日（金）　19時00分～20時00分

●長野青年会議所シニアクラブ会員へのアプローチ
02月25日（火）～05月31日（土）

●長野JC交流会（後期）
第１回　09月03日（水）19：30～21：30
第２回　09月19日（金）19：30～21：30
第３回　10月01日（水）19：30～21：30
第４回　10月17日（金）19：30～21：30
第５回　11月05日（水）19：30～21：30
第６回　11月21日（金）19：30～21：30

●成果
「全員拡大」をスローガンに、多くの会員が2名以上の対象者を紹介するなど、当事者意識をもち会員拡大事業を推進した結果、前期入会17名、後期入会８名計25名の未来を担う優秀な新入会員を入会に導くことができました。特に、本年度は本会の課題とされてきた「女性入会者の低迷」という課題に対して、計５名の女性を入会に導くことができ、大きな成果を挙げることができました。また、後期募集期間において実施した「長野JC交流会」では多くの機会でコンスタントに勧誘対象者を入会に導くことができました。

褒賞申請の検討・実施

◆AWARDS JAPAN 2025へのエントリー

●実施組織
未来黎明委員会

●実施日時
エントリーシート作成期間：2025年６月～７月
エントリー実施：2025年７月31日（木）

●実施場所・会場
第74回全国大会佐賀大会

●事業目的（対外）
無

●事業目的（対内）
本会が推進する運動の方向性を確かなものとし、さらなる運動の推進力とすることを目的とします。

●実施プログラム
１）エントリーシートの作成
２）AWARDS JAPAN 2025へのエントリー

●成果
このまちと組織の未来のために実施された各事業を客観的に振り返ることができたことで、本会が推進する運動の方向性を確認することができたとともに、さらなる運動の推進力を得ることができました。

第二十三回長野灯明まつりの構築

◆第二十三回長野灯明まつり　祈り～世界に届け、平和への願い～

●実施組織
灯明委員会

●実施日時
・第二十三回長野灯明まつり開催・運営計画・予算の構築開始
2025年６月～
・第９回定例理事会（協議）
2025年８月28日（木）19：00～21：00

●実施場所・会場
・第二十三回長野灯明まつり開催・運営計画・予算
長野灯明まつり事務局
・第９回定例理事会
ホテル国際21　弥生の間

●事業目的（対外）
【第二十三回長野灯明まつりの事業目的（対外)】長野灯明まつりを広く周知し、より多くの人々に平和の願いを感じてもらうことを目的とします。

●事業目的（対内）
【第二十三回長野灯明まつりの事業目的（対内)】会員がまつりの持続可能性を見出し､運営者としての参画意識の醸成を目的とします。

●実施プログラム
１）第二十三回長野灯明まつり開催・運営計画・予算の構築
２）第９回定例理事会にて協議

●成果
第二十二回長野灯明まつりを実施、検証した委員会が引き続き第二十三回のまつりを構築したことで、本年度の成果を次年度へと確かな形で引き継ぐことができました。

第55回長野びんずる実行委員会事務局支援

◆第55回長野びんずる「彩～忘れ得ぬ夏～」

●実施組織
灯明委員会

●実施日時
2025年08月02日（土）

●実施場所・会場
中央通り及びその周辺地域

●事業目的（対外）
何気なく過ごしている日常に彩と活力を与え、老若男女を問わず記憶に残る祭りとすることを目的とします。

●事業目的（対内）
新しい時代にふさわしい、真の市民総和楽・総参加を体現した祭りを創り上げることを目的とします。

●実施プログラム
ボランティア部会の運営

●成果
第55回長野びんずるは長野を代表する祭りであり、市民総和楽・総参加という普遍的なテーマの元、第54回からの引き継いだ各種イベントの継続、EXILE　MAKIDAI氏やFANTASTICS　澤本夏輝氏に参加していただくことで、コロナ禍以降、最高の来場者数を記録しました。また、踊りの参加人数も前回より500人増加し、スローガンに込めた「何気なく過ごしている日常に彩と活力を与え老若男女を問わず記憶に残るような祭り」を実現することができ、このまちを鮮やかに彩り、びんずるに関わったすべての人の忘れ得ぬ夏を創出することができました。

善光寺の世界遺産登録をすすめる会事務局への参画・運営支援

◆善光寺の世界遺産登録をすすめる会事務局への参画・運営支援

●実施組織
びんずる委員会

●実施日時
2025年10月18日（土）

●実施場所・会場
ホテル国際21　３階「千歳の間」

●事業目的（対外）
なし

●事業目的（対内）
善光寺の世界遺産登録をすすめる会事務局運営支援を通じ、門前まち長野の歴史や他地域との比較研究などの議論に参加し、世界遺産登録に向けた市民意識の向上に取り組むことで、地域の特性を学び、今後のまちづくりに繋げることを目的とします

●実施プログラム
１）事務局会議（幹事会）
２）長野市長表敬訪問
３）善光寺世界遺産推進月間
４）善光寺世界遺産登録推進シンポジウム
「善光寺さんを世界遺産に　－登録に向けて「善光寺と門前町」が持つ文化遺産としての価値－」

●成果
長野市が進める世界遺産登録に向けて、善光寺の「世界遺産登録を進める会」として積極的な支援を行い、関係各所と円滑な連携を図ることができました。

10月公開例会の補助

◆10月公開例会「未来づくりラボ～知ろう、語ろう、自分たちのまち～」

●実施組織
灯明委員会

●実施日時
2025年10月25日（土）10：00～16：00

●実施場所・会場
【粉もん総選挙】
ながの表参道セントラルスクゥエア　長野県長野市南長野西後町1580

●事業目的（対外）
長野市民の主権者意識及び主体的に政治参加をする意欲の向上を目的とします。

●事業目的（対内）
高めた主権者意識を確固たるものとし、まちの未来を担う自覚と責任を会員一人ひとりがより強くもつことを目的とします。

●実施プログラム
１）設営、準備
２）屋外プログラム「粉もん総選挙」の運営
３）清掃、撤収

●成果
10月公開例会のうち、屋外プログラムのメインコンテンツ「粉もん総選挙」の運営を担当しました。長野市選挙管理委員会からお借りした実物の投票箱と記載台を設置し、まだ選挙権を有しない子どもも含めて若者から高齢者まで広く長野市民に対して模擬投票と、自らが応援・投票した店舗が当選するかどうか開票結果の発表を待つという投票行動の体験をしていただき、主権者意識の向上とまちの未来を担うことへの意欲の向上をもたらすことができました。

出向者支援

◆出向者激励会開催（12月例会内）

●実施組織
総務渉外委員会

●実施日時
2025年12月13日（土）　17：30～20：58

●実施場所・会場
ホテル国際21　千歳の間

●事業目的（対外）
無

●事業目的（対内）
一年間の出向という挑戦を終えた会員の功績を称え、その労をねぎらうことを目的とします

●実施プログラム
出向者激励会（12月例会内）の企画・運営

●成果
一年間出向に挑戦した会員の功績を称え、その労をねぎらう機会を設けたことで、出向者支援を確かな形でクロージングすることができたとともに、会員一人ひとりの今後の出向に挑戦する意欲を高めることができ、組織としても青年会議所運動をより力強く推進していく機運を高めることができました。

NAGANO JC PLAN80～Dream of Youthプロジェクト～ロゴマーク制作

◆NAGANO JC PLAN80～Dream of Youthプロジェクト～ロゴマーク制作

●実施組織
正副理事長会議

●実施日時
なし

●実施場所・会場
なし

●事業目的（対外）
視覚的かつ継続的に本会の青少年育成事業のブランディングを図ることを目的とします。

●事業目的（対内）
全会員に対して青少年育成事業に対する意識の統一と向上を図ることを目的とします。

●実施プログラム
NAGANO JC PLAN80～Dream of Youthプロジェクト～ロゴマーク（以下、「ロゴマーク」といいます。）の制作

●成果
本ロゴマークはNAGANO JC PLAN80～Dream of Youthプロジェクト～を本会の運動の新たな柱としてブランディングしていく上で、今後もシンボルとなるように制作をしました。制作したロゴマークは、本年度は青少年育成事業や９月公開例会において例会バナーに掲載やキーホルダーを制作など多くの機会で活用しました。ブランディングとして市民に認知してもらうようになるには期間がかかりますが、制作初年度しては多くの機会で周知することができました。

キャリアシンポジウム（職場体験学習、出張事業）

◆キャリアシンポジウム（職場体験学習・出張事業）

●実施組織
青少年共創委員会

●実施日時
なし

●実施場所・会場
なし

●事業目的（対外）
なし

●事業目的（対内）
キャリア教育によって子どもたちの将来への希望を創ることを目的とします。

●実施プログラム
なし

●成果
本年度は具体的な依頼がなく、実施に至りませんでした。

挑戦を未来の力に

～大志を抱き、誰かの為に挑み続ける～

出向者レポート





公益社団法人
日本青年会議所
国際グループ
JCI 関係委員会
委員 礒　　宏典

最後の出向

公益社団法人日本青年会議所のJCI関係委員会での活動を通じ、JCIという世界組織と日本JCをつなぐ役割の重要性を強く実感しました。国際的な方針や動きは、単に海外の話ではなく、日本JCの運動や価値観にも大きな影響を与えるものであり、それを正しく理解し、国内に伝えていく責任の重さを感じる一年でした。

また、表に出る機会は多くないものの、調整や情報整理、判断の一つひとつが日本JC全体の方向性に関わる委員会であり、細部への配慮と広い視野が常に求められました。JCIと日本JCの間に立つからこそ見える視点や気づきは多く、組織を俯瞰して捉える貴重な経験となりました。この委員会で得た国際的視野と調整力は、今後の人生においても必ず活きる大きな財産です。

最後になりますが、最後の出向を支えてくれました、村田理事長はじめといたします、正副理事長会議の皆様本当にありがとうございました。



公益社団法人
日本青年会議所
組織グループ
会員拡大委員会
副委員長 **若麻績憲義**

出向の醍醐味

日本青年会議所会員拡大委員会の副委員長をお預かりしました。今まで日本青年会議所に２度出向した経験はありますが、フォロワー出向だったのであまり責任感もなく、県外に行き出向メンバーで楽しくワイワイする気分で臨んでいました。自分もそのようなみんなを楽しませる副委員長に憧れてメンバーをたくさん巻き込みたい一心で副委員長出向に挑みました。また、日本の会員拡大を学ぶことは確実にLOMに様々な効果的手法を還元できると思い、委員会希望を出して志願しました。しかし、いざ出向が始まると、担いとして出向先の委員長やシニアの拡大講演のアテンド、さらにはいずれ副委員長たち自らの拡大講演がメインになるとの説明を受け、メンバーを巻き込むどころかそんなことが自分にできるのか、不安を掻き立てられました。私の担当エリアは北陸信越地区と東北地区で、１月～３月までは出向先の委員長やシニアに帯同し、議事録を取る程度の担いでしたが、様々なLOMとミーティングを重ねるうちに、先方の要望とマッチするのは現役で、委員長だけでは手一杯ということもあり私も講演に行かなくてはならなくなりました。いきなり１時間の講演を富山ブロック相手にすることとなり、緊張で吐きそうになりましたがなんとか講演を終えられ、その後の懇親会で「勉強になりました。」と声を掛けていただき、その瞬間にようやくホッとしたのを覚えています。講師を経験させていただき最も学びを得ることができたのは、やはりJCについて深く考えるきっかけができたことです。JCの基本を知り、様々なLOMを知り、やる気に満ち溢れたJayceeを知り、青年会議所を知らない人にどうやって青年会議所の魅力を伝えるのか。考えれば考えるほどわからなくもなる中で、確実に自分自身のJCへの愛が深まっていくのは感じることができました。そして、このような大変な出向に一生懸命ついてきてくれた、橋本小幹事、石井小幹事、努さん、剛さん、遠山さん、高瀬くん、本当にありがとうございました。自分ひとりでは到底乗り越えることができなかった壁でしたが、皆がいつもそばにいて支えてくれて楽しませてくれたお陰で一年半を終えることができました。これからは皆の活躍を自分事として楽しみに見守りたいと思います。最後に、出向に行かせていただいた長野JCありがとうございました。



公益社団法人
日本青年会議所
組織グループ
会員拡大委員会
委員 石井　拓弥

覚悟

2024年６月に長野青年会議所へ入会し、直後に日本青年会議所会員拡大委員会へ出向させていただいた石井拓弥です。

何も分からず飛び込んだ出向の世界は戸惑いの連続でした。しかしながら、全国の出向仲間の本気と覚悟に触れ、自分も腹をくくることができました。そこからは不安よりもやりがいが勝り、挑戦と成長の日々となりました。

出向の経験で得たのは、スキルだけでなく、一生の仲間と覚悟の大切さです。

迷っている方がいたら、ぜひ飛び込んでください。その先にしか見えない景色があります。

この機会をくださった全ての皆さまに、心より感謝申し上げます。



公益社団法人
日本青年会議所
組織グループ
会員拡大委員会
委員 清水　　努

出向をさせていただいて

今年度も出向の機会をいただき、ありがとうございました。そして、出向の機会をいただきました正副理事長の皆様、若麻績副委員長には大変感謝申し上げます。

今回の出向では、委員長と同行させていただく機会にも恵まれ、私自身にとっては大変実りのある時間となりました。日本ＪＣには４回目の委員出向となりましたが、懇親会だけでなく日々の活動で委員長と近い距離で活動できたことは大変良い刺激をいただきました。

そして、委員長の叱咤激励を心に刻み、社業の体制を整え準備した上で今後の活動に邁進し、更なる飛躍を目指していきます。そして、福島や福井ブロックに活動で赴くことができ、人との出会いから多くの気づきをいただく機会にも恵まれました。会員拡大委員会に出向でき、本当に良かったです。最後に、一緒に出向した長野メンバーの皆様ありがとうございました。



公益社団法人
日本青年会議所
組織グループ
会員拡大委員会
委員 **高瀬　成博**

出向を終えて

私は2024年に長野青年会議所へ入会し25歳というまだまだ未熟な立場ではありますが、拡大委員会へ出向させて頂きました。出向当初は、右も左も分からず緊張するばかりでしたが、委員会メンバーの皆さまが温かく迎えてくださり一歩踏み出す勇気を持つことができました。拡大委員会では、「仲間を増やす」という一見シンプルな目的の裏に、JCの未来をつくる大きな使命があることを学びました。声をかける勇気、相手の思いを聞く姿勢、自分たちの活動を誇りをもってつたえること。その積み重ねが、まちを良くする力へと繋がっていくとかんじます。まだ経験は浅いですが、若手だからこそできる挑戦や行動力はあまりないですが、この出向で得た学びを活かし、これからも仲間を増やしていけるよう全力で頑張ってまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



公益社団法人
日本青年会議所
組織グループ
会員拡大委員会
委員 **遠山　裕太**

出向で見えた新たな景色

出向ってなんですか？正直、最初はその意味さえよく分かりませんでした。何をするのか、なぜ自分が行くのか、不安と期待の中でのスタートでした。しかし全国の青年会議所メンバーと出会い、共に事業を創り上げる中で、その答えが少しずつ見えてきました。そこには地域や立場を超え、全力で理想を追いかける仲間たちの姿がありました。正会員１年目の私にとって、その情熱に触れられたことは何よりの財産です。特に会員拡大委員会での活動を通じ、どれだけ熱い想いで動けるかが成果を左右し、LOMメンバー一人ひとりの姿勢が会員拡大の原動力になることを学びました。

結びに、こうした機会を与えてくださった村田理事長をはじめ、メンバーの皆様、そして若麻績副委員長を中心とする出向メンバーの皆様に、心より感謝申し上げます。



公益社団法人
日本青年会議所
組織グループ
会員拡大委員会
委員 橋本　諭

JC出向経験の共有と活用

若麻績副委員長率いる日本青年会議所組織グループの会員拡大委員会に、小幹事として出向させていただきました。入会して間もない私を、まだJCのこともよくわかっていない中で、このような貴重な機会に導いてくださったことに心から感謝しています。

出向先では、全国から集まった本当にすごい仲間たちと出会い、共に全国を飛び回りながら会員拡大の支援に取り組みました。その経験の中で、拡大のノウハウはもちろん、段取りの大切さや礼節、そして人を思いやる気持ちなど、数えきれない学びを得ることができました。また、他JCの方々との出会いを通じて多くの仲間ができ、一緒に笑い、一緒に苦労を分かち合った出向仲間とは、本音で語り合える一生の絆が生まれたと思っています。

外の世界に触れたからこそ、長野青年会議所の良さを改めて実感しています。ぜひ皆さんにも出向の魅力を感じ、挑戦してみて欲しいと思います。



公益社団法人
日本青年会議所
総務グループ
規則審査会議
副議長 宮澤　拓也

出向報告

本年、日本青年会議所総務グループ規則審査会議に副議長として出向する機会をいただきました。

規則審査会議の主たる活動は、毎月の理事会に先立ち、理事会に上程される全議案（平均して約80本程度）について５つの小委員会で分担してコンプライアンスの観点からチェックを行うというものになります。地味ながら重要な役割であり、全国組織として求められるコンプライアンスチェック体制の最先端に触れながら、適否の判断が難しいケースについて議長や他の副議長と意見を交わすことを通してことができ大変大きな学びがありました。

また、これと併せて、いち副議長として、公益社団法人から一般社団法人への法人格移行に関する新制度の創設に関する規程整備の議案作成を担当し、無事、本会理事会にて審議可決を受けることができました。この法人格移行に関する新制度は、長野青年会議所においても採用の余地があるものであり、今後、採用に関する議論を行う場合には、私が持つ知見をすべて還元したいと思います。

１年間を振り返ると、ときには、大きなプレッシャーやストレスがかかる場面もありましたが、議長、副議長、幹事陣、その他出向メンバー、そして長野青年会議所からともに出向に臨んでくれた６名のメンバーに支えられ、活動を完遂することができました。この1年間で得られた仲間たちとの絆は一生モノの財産になると確信しています。

最後になりますが、1年間、このような貴重な機会に挑戦させていただいた正副理事長、理事の皆様、活動を支援していただいた総務渉外委員会の皆様に心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。



公益社団法人
日本青年会議所
総務グループ
規則審査会議
委員 岡藤　旭

「ここ、訂正してください」から見えた景色

2025年、日本青年会議所総務グループ規則審査会議に出向させていただきました。正会員になって間もない私は、青年会議所の役割すらあやふやなまま出向が始まりました。忙しい中で書かれたであろう議案を見るたびに「本当は後押ししたい…でも指摘しなきゃ…いや、でも邪魔したくない…いや、でも…」という謎の綱引きが発生していました。しかも指摘のやり取りは全てテキスト。対面で言うより気楽かと思いきや、文字だと温度感が難しく、「ここ、訂正してください。」と書込むたび、語尾の丸が強くないか？冷たくないか？と何度も書き直していました。一方で、議案を読み込むほどに青年会議所の運動の広さと意義が少しずつ理解でき、会員歴の浅い私でも輪郭がつかめてきた事を素直に嬉しく思います。活動に迷っているメンバーこそ、是非出向してください。

最後に、お声がけくださった宮澤副議長、応援してくださった長野青年会議所の皆様、そして温かく迎えてくださった規則審査会議の皆様に心より感謝申し上げます。一年間、本当にありがとうございました。



公益社団法人
日本青年会議所
総務グループ
規則審査会議
委員 内田　涼

出向を終えて

本年度、日本青年会議所規則審査会議に出向させていただきました。初めは電話ではなくLINEのメッセージにて出向というものを確認し、そして何をやるかもあまり分からないまま承諾をしました。

いざ作業が始まってびっくり。数時間座ってパソコンひとつあればできる簡単な作業を月に一回やることがメインだということ。そんなに大変ではないと思ったのが第一印象でした。

出向をして面白いと思ったのは、色んな業種の人に出会えるということ。長野だったらまず関わることのない人たちと、一緒に会議をしたり飲みながら話したりする中で、自分にはない考え方や価値観にたくさん触れることが出来たことです。

私にとって出向は「出会い」をおこなうことができる場でした。刺激を受けたり思い出がたくさんできました。

そんな貴重な機会をいただきありがとうございました。



公益社団法人
日本青年会議所
総務グループ
規則審査会議
委員 北島　謙治

「初の出向」

先ずは、日本青年会議所規則審査会議に出向させていただきましたことを、この場をお借りして感謝申し上げます。学びの機会を与えてくださいました正副理事長会議の皆さま、お誘いくださいました宮澤拓也副議長、ありがとうございました。

初の出向となりましたが、声をかけてくれたのが宮澤副議長でした。出向って毎月県外に出てすごく大変そうなイメージでしたが、規則審査の性質上PC（議案）に向かい合うことが多く実際に県外に赴く機会は少なかったですが、日本へ出向している会員がどの様な事業をどの様な想いを持って推進しようとしているのか、それを知るいい経験をさせていただきました。中には事業名を「●●●●～●●●●～(*^^)v」の様な顔文字議案を上程してくるファンキーな方もいましたが（笑）

議長をはじめとしますスタッフの皆さまも本当に個性豊かで情熱があり、優しい方々ばかりでした。是非皆さまにも出向でしか味わえない「学び」と「出会い」を体験していただき、かけがえのない財産にしていただければ幸いです。一年間ありがとうございました。



公益社団法人
日本青年会議所
総務グループ
規則審査会議
委員 櫻井　幸仁

見識を広げ、人に磨かれる

「出向すると見識が広がる。機会があれば必ず行きなさい。」

この言葉は、私が準会員の頃に尊敬する先輩から頂いた大切な教えの一つです。その言葉を胸に、宮澤副議長よりお声掛けをいただき、2025年度規則審査会議に出向する運びとなりました。出向を通じて得た経験は多岐にわたりますが、特に印象に残るのは二点です。

第一に、所属LOMを外から俯瞰できるようになったことです。長野JCの“当たり前”が他LOMにおいて必ずしも“当たり前”ではないことを知り、議案精度の高さや出向者数の多さがいかに恵まれた環境であるかを実感いたしました。

第二に、全国各地で志を同じくする仲間と出会えたことです。人は人によってしか磨かれないという言葉の通り、異なる背景を持つ仲間と共に事業に臨むことは、かけがえのない学びとなりました。

出向は必ず視野を広げ、成長の契機となります。ぜひその一歩を踏み出してみてください。



公益社団法人
日本青年会議所
総務グループ
規則審査会議
委員 **鈴木　賢一**

出向で経験出来た事

日本青年会議所規則審査会議に出向し、年間を通じて色々な事を学び、経験できました。議案のコンプライアンスチェックを担当しました。各、議案に目を通して、誤りがあれば意見出しをする担当をしていました。最初は何をしたら良いのかもわからず、不安だらけでしたが、3回目くらいから理解していき任された以上は責任をもちやりとげました。今後、私が議案を作成する機会があればと思いものすごく参考にもなりました。年間行事でも全国のLOMの方と交流ができ、仲良くさせていただき、出向していないと出会えない方や話す機会ない方もいたりする中で本当に大変貴重な経験もできました。県外行事はあまり参加できませんでしたが、今後は可能な限り参加していきたいと思いました。今後のJC活動でもこの出向を通して学んだことや経験したことを活かしていきたいです。良い経験になりました。１年間ありがとうございました。



公益社団法人
日本青年会議所
総務グループ
規則審査会議
委員 **鶴見　真慧**

出向報告

１年間ありがとうございました。



公益社団法人
日本青年会議所
総務グループ
新JCビル建設準備委員会
委員 窪　　智敬

長野の窪、日帰りのKUBO

公益社団法人日本青年会議所総務グループ新JC建設準備委員会へ出向させていただいた窪です。

出向先に知り合いもいない中で志願した理由、それは担当である西尾委員長の出身地が私の母方の実家がある地域にて縁を広げ、繋がりをつくりたい下心でした。

そんな打算を隠しつつ、長野から変わったヤツが来たぞ！と参加が始まりました。委員会活動は、会館の引越しは鬼大変でしたし、歴代会頭でもある土屋先輩にも御臨席いただいた「青年会議所会館建替記念式典」の運営、その後は会館解体まで見届けることができました。

温かく迎え入れられ順応した結果、出席率80%以上を達成できた体感ですが、無理はせずに委員会と事業へは日帰り参加で顔を売るスタイルを確立しました。８月末に長野全体会議を設える等で楽しく活動でき、思い出も重ねました。大工原委員長、全面サポートありがとう‼

各種大会での募金支援と各LOMナイトでの労い、そして関わっていただいた全ての皆様に心より感謝を申し上げます。何より今年しかできない出向の機会であり、ありがとうございました。



公益社団法人
日本青年会議所
総務グループ
渉外委員会
委員 伊藤　拓宗

最後の出向

本年度、日本青年会議所渉外委員会に出向させていただきました。渉外委員会は、日本青年会議所役員が円滑に会議や業務にあたれるよう支援することを主な担いとする委員会です。私はこれまで7度出向の機会をいただいてきましたが、渉外委員会の業務は他の委員会とは大きく異なる印象を受けました。全国から集まる若手メンバーが多く、役員の動きを間近で見ながらコミュニケーションを取れる点は、大きな成長の機会だと感じます。役員帯同には高いフットワークと緻密な対応が求められ、「できて当たり前」という総務系特有の空気の中で担いを果たす姿から、事業系とは異なる学びを得ました。将来の日本青年会議所や各地LOMを担う優秀な若手との交流や、役員の姿を間近で拝見できたことは、私にとって貴重な経験となりました。

結びに、このような出向の機会を与えてくださった村田理事長をはじめLOMメンバーの皆様、ならびに総務渉外委員会の皆様に心より感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。



北陸信越地区協議会
レジリエンス強化委員会
運営幹事
宵野間宏秋

「レジリエンス強化委員会」に挑戦してみて…

2024年度に長野ブロック協議会へ出向し、1年間投げ出さずに役割を果たすことができたと思っていた時、自分の委員会の委員として活躍してくれた諏訪圏青年会議所の方が、次年度に地区協議会の委員長を担うので、私に幹事をお願いしたいという打診を受けたことが切欠で、今年度の地区協議会の「レジリエンス強化委員会」への出向が始まりました。

この委員会は、2024年１月に能登半島で起こった震災から被災地の復旧、及び復興活動を担当すると聞き、顧みれば今まで何も能登の被災地への支援のために動いたことがないと気付き、今まで可能な限り、この委員会活動へコミットをさせていただきました。

北陸信越地区フォーラムでは被災地で現在も、農作物や、伝統工芸品を製造されている店舗の方々をお招きし、商品を販売し来場者の方々にアピールしてもらうことを目的とした被災地支援ブースの運営補助をさせていただきました。

また、実際に珠洲市、輪島市といった被災地に赴き、荒れてしまった畑、半壊してしまった住宅を復旧させるボランティア作業への参加、現地の方々の想いをお聞きする被災地支援ボランティア事業にも参加させていただきました。現地の方々は、単純なボランティアではなく、気軽な観光を目的とした旅行にこそ多くの方々に能登半島を選んでいただきたい。それこそが何よりもありがたいというお話をお聞きし、それまで私は全く、旅行に行くことが支援になるという発想がなかったので、良い気付きを得られたことを覚えております。こういった与える側、貰う側という単純な関係ではなくボランティアとして参加する青年会議所会員が現地の方々から役立てる知恵や発想をいただき、所属LOMへ共有する機会を得られる場が出向であり、その一つである被災からの復興するノウハウに関する知識を得られたのが「レジリエンス強化委員会」だと私は感じております。

また、今年度の長野青年会議所の地区協議会への出向は、当初私一人だけで挑戦すると思っていましたが途中より倉島盛朗君や、有吉隆君も参加する運びとなり出向がより魅力的であると同時に、単独出向に比べ、多人数での出向が如何に多くの選択肢を選ぶことが可能であるかを痛感しました。この現象は、何も我々３人だけに起こった話ではなく、他のLOMも次々と追加出向の申請があり、当初は10名だった当委員会も最終的に19名の大所帯となりました。この19名が所属するLOMの役職や、JC歴に関係なく対等な立場で気兼ねなくコミュニケーションを取れることも出向の醍醐味です。

今後もより多くの長野青年会議所メンバーに組織、団体を問わず出向に挑戦してもらうことでメンバー個人、長野青年会議所、出向先の団体、その事業対象者の全てが利益と恩恵を得られると私は信じます。是非、この文をお読みになっている会員の皆様、自分のため、LOMのため、地域のために出向に挑戦してください。



北陸信越地区協議会
レジリエンス強化委員会
委員 有吉　　隆

出向所感

今年は出向から距離を置こうと思ってスタートした2025年でしたが、事件は２月中旬に行われたブロックの全体会議での出来事でした。諏訪圏から地区に委員長出向を出すのですが、メンバーが足りないので長野JCからメンバーを輩出してくれないかと当該委員長から打診があった。もちろん協力してあげたい気持ちもあったがもう２月、さすがに厳しいかなと思っていた所、隣にいたのは酔っぱらった倉島盛朗。ありちゃん、俺たちが行けばいいでしょ。決まったのは一瞬でした。酔っぱらった彼の暴走を止めることは無理なのは皆さま周知の通り。すぐに村田理事長に連絡を取り次月の理事会で承認をいただきました。

出向先は地区のレジリエンスで防災系、宵野間君もVCとして頑張っていましたが、実際に能登の被災現場にも赴き、復興について考えさせられると同時に初の地区協議会の出向について考えされることの沢山ある１年でした。何かあれば聞いてください（笑）ありがとうございました。



北陸信越地区協議会
レジリエンス強化委員会
委員 倉島　盛朗

レジリエンス委員会での学びと復興支援

今年度、北陸信越地区協議会レジリエンス委員会に出向させていただきました。今年２月、ブロック大会全体会議に出席した際、酒に酔った勢いで出向を決めたのが始まりでした。翌日シラフに戻ると、有吉直前から電話があり「昨日のこと覚えていますか？」と聞かれ、会話を重ねるうちに少しずつ記憶が戻ってきました。その瞬間､私は気持ちを切り替え｢ただの北陸信越地区旅行のつもりでやってみるか」と前向きに受け止めました。こうして始まった有吉直前との濃厚な二人旅は、まさに学びと経験の連続でした。

最後の事業では、石川県での復興支援に参加し、真夏の中で汗を流しながら土砂の撤去作業を行いました。現地へ向かう道は険しく、助手席で眠る余裕もないほどでした。石川の復興支援はまだ道半ばですが、現地で感じた人の温かさと前へ進む力を胸に、今後もこの経験を生かしていきたいと思います。



長野ブロック協議会
監査担当役員
加藤　昇平

長野ブロック協議会への出向

2015年に入会し、卒業という大きな節目を迎える本年、私は長野ブロック協議会において監査担当役員という役割を担わせていただきました。まずはじめに、貴重な出向の機会をくださいました村田理事長をはじめとする正副理事長会議の皆様、そして各地で多大なるサポートをいただきました大工原委員長をはじめとする総務渉外委員会の皆様に、心より感謝申し上げます。皆様の支えがあったからこそ、長野青年会議所の代表として迷いなく職務に邁進することができました。

出向というものに対して、皆様はどのようなイメージをお持ちでしょうか。各地を訪れる楽しそうな様子がSNS等で発信されることも多いため、華やかな交流の場のように見えるかもしれません。しかし、実際に身を置いて感じたのは、その華やかさは一瞬であり、裏にあるのは泥臭く精神的にも体力的にも「辛い」と感じる場面の方が圧倒的に多いという現実です。それでも、私たちが外の世界で逃げずに役割を果たそうと努めるのは、それが巡り巡って長野青年会議所という組織への「信用」に繋がるからです。他LOMの皆様が私たちに敬意を払ってくださる時、それは個人の役職に対してではなく、これまでの歴史の中で先輩方や現役メンバーが厳しい局面から逃げずに積み重ねてきた真摯な活動そのものに対してであると感じています。その信用を次代へ繋ぐことこそが、出向者の誇りであり矜持なのです。

この１年､外の世界から私たちの組織を見つめ直して強く感じたことがあります。ここで勘違いしてほしくないのは、長野青年会議所という組織があなたを成長させてくれるのではない、ということです。今の長野青年会議所を見ていると、どこか組織に成長させてもらおうとする意識が強すぎるのではないかと危惧しています。組織はあくまで自己研鑽のためのプラットフォームに過ぎません。本来、一人ひとりの成長こそが、長野青年会議所をより魅力的な組織へと進化させる力になるはずです。自分を磨き、その結果として組織を発展させるのは、他でもない私たち自身なのだという強い気概を持っていただきたいのです。長野青年会議所を発展させるのは我々であるという自覚を、今一度呼び起こしてください。

最後になりますが、JCという活動を通じて、皆様にはぜひ「自分の周りにいる人を幸せにできるリーダー」になっていただきたいと思います。家族、仕事、およびJC。どの場においてもあなたがリーダーであり、あなたの周りに集まる人々が、あなたが少しでも幸せにできるように行動し、また来年も一緒に活動したいと思ってもらえるような関係を築いていってください。監査担当役員として、外の世界で長野青年会議所ここにありという矜持を示してきた自負が私にはあります。これが私の最後の置き土産です。皆様が自らの足で歩み、創り上げる新しい時代を心から楽しみにしています。本当にありがとうございました。



長野ブロック協議会
事務局次長
中野　大輔

やるorやらないなら『やる』を選択

初めまして、長野青年会議所にお世話になっております中野大輔と申します

さて皆さん、出向したことはありますか？私は今年度、出向へ送りださせていただきました。村田理事長をはじめといたします正副理事長会議の皆さんには感謝しかありません。本当にありがとうございます。

ここからは私の出向先での思い出を伝えたいと思います。

一言でいうと、本当に楽しかった！！LOMの仲間たちとは毎日のように、交流がありますが、出向先では県内、そして日本の仲間たちが待っているんですから、そりゃあ楽しいに決まってる。

私は今年度、北陸信越地区長野ブロック協議会、事務局次長を仰せつかりました。ブロック出向は県内各地の仲間たちが集結します。LOMを越えたその景色は、何とも言えないかけがえのない世界だった。小野事務局長をはじめといたします事務局メンバー、最高だった。ありがとうございました。

ブロック、事務局、何をしているの？気になります？気になりますよね。

LOMでいう総務渉外という感じでした。月に一度の会員会議所会議では、県内各地にて会議の設営を行います。そして準備がおわると受付を担当したりします。長野ブロックでは17LOMの理事長達が一堂に集結。これがまた、楽しいんです。なんでかって？各地でLOMを統率している方々の朝一番の顔を拝見し、その後の会員会議所会議では闊達なる意見交換が繰り広げられるんです。本当に貴重な体験です。信州のこと、地元のこと、今がありそして未来のことを真剣に考えている仲間たちの姿には感銘を受けました。

そして私たちの大一番でもある、ブロック大会。今年度は須坂市で開催されました。事務局は前日から準備やリハーサルを行い、あれよあれよと時間は過ぎていき、前夜祭。９月の事業ですから、大変だけれどなんだかさみしい気持ちにもなりました。そして当日。すがすがしい朝でした。

第56回長野ブロック大会in須坂～未来へ向けたより良き変化の切掛け～と題し須坂市文化会館メセナホールにて開催され、須坂青年会議所さんの記念事業として実業家でもある、井口　智明　氏　をお招きし、テーマは、子どもたちが地域に未来を描き、大人たちが子供たちの未来を創るでした。

残念ながら私は参加できませんでしたが、井口さんはきっと良いお話をされたはず。なぜなら普段から令和の虎というYouTubeにて、井口さんのことは存じあげており、いつも世の中のことをより良い方向へと考えていらっしゃいますから。そして何より講演が終わった後、外でお会いすることができ大変嬉しかったです。ありがとうございました。

その後も、マグロ解体ショーや、青少年、国際事業のフォーラムなど様々な行事がおこなわれました。そんなこんなで始まってしまえばあっという間に、一日は過ぎていきました。その後の大懇親会の出来事は、またの機会に、、、。

文章の文字数に限りがございますので、この辺で失礼いたしますが、私のことをブロック出向に送り出していただいた長野青年会議所メンバーの皆さまには改めて感謝申し上げます。が、もう一点だけお伝えしたいことがあります。

出向を経験された方々はお分かりだと思いますが、出向先での事業の際に、LOMの仲間たちが応援に駆けつけてくれた時、この時が出向者は一番嬉しいんです。この思いは出向をご自身で経験しなければわかりません。

『やるorやらない』なら『やる』を選択しよう。

ありがとうございました。感謝。　ｂｙ　ｄ。



長野ブロック協議会
信州のまごころ育成委員会
運営幹事 町田　功志

出向報告

本年度、公益社団法人日本青年会議所北陸信越地区長野ブロック協議会信州のまごころ育成委員会に運営幹事として出向させていただきました。出向による成長の機会をご提供いただき、村田理事長をはじめとする正副理事長会議の皆様、また、快く出向に送り出していただいた、高野委員長をはじめ市民力向上委員会メンバーの皆様、ありがとうございました。正会員1年目で初めての出向で運営幹事という役職をいただき、不安しかありませんでした。活動のなかで白土専務理事、高野委員長には色々と相談に乗っていただき、ありがとうございました。長野ブロック協議会のこと、出向のことも何もわからないなか一緒に出向していただいた倉島理事には手厚いサポートをしていただき、なんとかやり抜くことができました。倉島理事とはLOM内、出向先ともに同じ委員会ということで、1年間行動を共にすることも多く、何かとお世話になり、ありがとうございました。

本年度、信州のまごころ育成委員会では、JCプログラムのJCI AchiveとJCI Impactの開催をし、プログラム受講者を増やす活動と、須坂で行われたブロック大会の運営が活動内容でした。長野LOMからは多くの方に参加していただき、ありがとうございました。私は活動の中で委員会、懇親会の会場等の手配や動員、事業への動員、メンバーへのフォローを主に各LOMの専務理事との連絡、調整などを行ってきました。

さて、私が長野ブロック協議会に出向させていただき、思い感じたことは、それぞれの意識の違いでした。長野ブロック協議会では本年度【ONE NAGANO! JAYCEEの結束力が希望あふれる信州を実現する】がスローガンでしたので、1人でも多くのメンバーと活動していきたいと思っていました。

いざ活動が始まると委員会や事業になかなか参加できない方もいて、運営幹事として私の力不足を感じることもありました。そんな中スタッフやメンバーの話を聞き、各LOMでの課題や問題点が違い、出向メンバーのなかでも参加意識が全く違う事がわかりました。長野青年会議所とブロック協議会では全く違うとは聞いていましたが、ここまで意識が違うとは思いませんでした。そのような状況のなかスタッフで話し合い、参加率を少しずつ上げていけたのは良い経験でした。また、ブロック大会のキャラバンでは県内のLOMほとんどを回り、直接見たことによって各LOMの学ぶべき点や課題を知れ、大きな学びになりました。ブロック大会では、人員も不足している状況でLOMに頼らせていただき、オブザーブとして運営を助けていただき、ありがとうございました。

今回の活動を通し、各LOMからの出向者での意識の違い、事業に対する思いや準備進行の考え方が違うなか、事業を行うことの難しさを知り、その中でも1年間活動をし、事業をやりきり多くの学びを得ることができました。出向に行き今までにない経験ができて、本当に出向に行って良かったと思いを持ち活動を終えることができました。



長野ブロック協議会
信州のまごころ育成委員会
委員 倉島　盛朗

ブロック出向経験と町田君の成長

本年度、長野ブロック協議会の信州のまごころ育成委員会に出向させていただきました。この委員会は、９月に須坂で開催されたブロック大会の運営を主とした委員会でした。今年度は、町田君が運営幹事として出向し、私はその基出向として関わらせていただきました。町田君には当初、何かあったら言ってねと声を掛けていましたが、いつの間にか自ら考え、行動し、委員会スタッフやメンバーと密に連携を取りながら運営を回しており、その成長と姿勢がとても印象的でした。

私は日本、地区、ブロックと行けるところは全て経験しましたが、出向に少し壁を感じている方には、まずブロック出向をお勧めします。県内での活動が中心であり、各地の仲間と出会える貴重な機会です。ぜひ一歩を踏み出して、ブロックの現場を体感してみてください。ありがとうございました。



長野ブロック協議会
信州の未来を担う
人財育成委員会
委員 北村　亮

出向報告

１年間ありがとうございました。



長野ブロック協議会
活気あふれる信州人
育成委員会
副委員長 小林　巧

LOMの垣根を超えた出会い

2025年日本青年会議所 北陸信越地区 長野ブロック協議会 活気あふれる信州人育成委員会の副委員長に出向させていただいた、小林巧です。2025年はLOMの副委員長の依頼があったのですが、諸事情により辞退させていただきました。しかし、せっかく青年会議所に入会しているのだから常に成長の機会を求めていたわたしに出向のチャンスを与えてくださった村田理事長はじめとする正副理事長会議の皆様。そしてチャンスの後押しをしてくださった、大工原委員長はじめとする総務渉外委員会メンバーの皆様には大変感謝しています。依頼があった当初は、なにをやるのかも正式に決まっていない、名前も無い委員会の副委員長をお願いされた私は、一緒に一年間駆け抜けるメンバー募集の際にどんな事をやるのか伝えきれず苦労をした記憶があります。しかし、「お前がやるなら、一緒に出向するよ!」の一言で決めてくれた鈴木剛君には本当に感謝しています。鈴木君は最初の顔合わせから担当副会長、委員長を長野の地、権堂にてお酒でもてなし、それから委員会があるたびに県内各地に行き参加しては、各地LOMのメンバーを笑顔にして委員会の雰囲気を和ませてくれました。一年苦楽を共にした最高なメンバーです。

さて、実際活気あふれる信州人育成委員会ってどんな事をしていたかと言いますと、JCカップU-15少年少女サッカー大会の運営と少数LOMに出向し事業支援をする逆出向支援、ブロック大会のフォーラムの企画・運営が主な事業でした。特にわたしが記憶に残っているのは、初めて議案書に触れたJCカップです。青年会議所に入会すると切っても切れないのが議案書というもの…いつかはやらないといけないときが来るのだと思っていたので、それであればさっさと覚えてやる!と気持ちが沸々と湧き上がってきました。昨年度までの議案を参考にしたり、資料を添付したりすべてが初めてで脳みそが溶けるのではないかと思いました。でもそんな時、担当副会長や委員長そして委員会メンバーが一緒に寄り添ってくれました。無事にその議案が審議通過し行われた初めての事業は特に問題もなく無事に終了しました。至らない点は来年度以降にしっかりと引継ぎし報告議案まで完了しました。

今回の出向を通して、はじめは正直ブロック出向なんて…と思っていましたが、自分のステップアップには必要なステージでしたし、何よりも県内LOMのメンバーに沢山助けられました。「ありがとう」しか出てきません。どんなところにも参加して多くのメンバーとコミュニケーションをとることによって、悩みや自分の弱点を打ち明けられる関係になり、生涯、最高の仲間に変わっていくのだなと思いました。最後に加藤昇平君から「どんなところにも参加することが正義だ」と言っていただけたこと、自分の行動は間違えではなかったと確信した1年でした。成長の機会を与えてくれた全メンバーに感謝します。ありがとう。



長野ブロック協議会
活気あふれる信州人
育成委員会
委員 鈴木　剛

新たな出会いはここにあり

今回、長野ブロックの活気あふれる信州人育成委員会に出向させていただきました。ブロック出向とは言え、長野県内で色々な方と出会えて、仲良くなれたことが自分にとっては最大の成果です。

委員会の事業としては少年少女サッカー大会の運営に携わりました。子どもたちががんばってサッカーに取り組んでいる姿を見て、JCに入って青少年の育成に関わり、協力できたことがよかったと感じます。

その他、月に１回ほどは委員会でお酒を飲む機会がありました。県内各地、普段はなかなか行くことがない場所で仲間とお酒を飲むことができ、非常に楽しかったです。これも出向の良さだと思います。

まだ出向を経験していないメンバーの皆様は、是非一度は出向してみてください。とてもいい経験ができると思います。

挑戦を未来の力に

～大志を抱き、誰かの為に挑み続ける～

資　料



出席点数報告

■2025年度　公益社団法人長野青年会議所　点数集計表（1月～12月）12月31日現在

監事・理事長・顧問・直前理事長 副理事長・専務理事・事務局長		集計点数
監事/出向	礒　宏典	163
監事	福島　勇太	123
理事長	村田　雄介	331
顧問/出向	伊藤　拓宗	100
顧問/出向	加藤　昇平	129
直前理事長/出向	有吉　隆	129
総括副理事長	唐木沢正晃	232
副理事長	宮尾　龍介	183
副理事長	山崎　義明	189
副理事長	若林　裕士	207
副理事長	小林　徹哉	183
専務理事	白土巴瑠香	230
事務局長	池田　竜一	193

未来黎明委員会		集計点数
委員長	西澤　準	103
副委員長	清水　亮	77
副委員長	千川　龍馬	68
副委員長	室賀　直	107
委員	金丸　望美	3
委員	小林久美子	48
委員/出向	櫻井　幸仁	103
理事	塚田　翠	80
委員/出向	鶴見　真慧	43
委員	吉池　悠太	0
準会員	塚田壮太郎	45
準会員	宮下　晴幸	45

灯明委員会		集計点数
委員長	峯村　侑弥	86
副委員長	武野　成哉	49
副委員長	長澤　瑞樹	21
副委員長	林部　祐也	59
委員	飯塚　大	0
理事/出向	窪　智敬	128
委員	鈴木　一平	49
委員	田牧　勇気	40
委員	中島　輝人	46
委員	柳澤　龍志	11
委員	柳島　我智	9
準会員	作田香織莉	17
準会員	宮﨑　由衣	12

総務渉外委員会		集計点数
委員長	大工原遼太	74
副委員長	小澤　太郎	41
副委員長/出向	宮澤　拓也	87
副委員長/出向	宵野間宏秋	92
委員/出向	内田　涼	44
委員	太田　和希	0
委員	太田　裕三	40
委員/出向	小林　巧	98
理事	小森　穂高	63
委員	三村　拓人	35
委員	渡辺　大輔	0
準会員	黒田　泰斗	6
準会員	水島　彩花	13

青少年共創委員会		集計点数
委員長	原山　大樹	61
副委員長	小渕　哲	34
副委員長	佐藤　太一	24
副委員長	多田　了	57
理事	大島　裕太	45
委員	荻原　和	4
委員	荻原　功吉	28
委員	小山　美喜	0
委員	島津　恵子	1
委員/出向	高瀬　成博	31
委員/出向	遠山　裕太	62
委員	豊田　航	35
理事	福岡　正芳	61
準会員	有馬　拓也	26
準会員	三村　拓馬	8

会員拡大委員会		集計点数
委員長	宮沢　洋平	85
副委員長	徳竹恵里香	45
副委員長/出向	中野　大輔	63
副委員長	松本　拓城	55
委員	岩井　勇樹	0
委員	長田　竜樹	16
委員	金城　将太	53
委員	北村　亮	0
委員	小林妃世希	3
委員	小林　圭	16
委員	轟　敬輔	37
委員	西川　豪	2
理事/出向	若麻績憲義	154

広報例会委員会		集計点数
委員長	黒岩　龍	98
副委員長	小泉　渓	60
副委員長	佐藤　廉	57
副委員長	堀内　清文	63
委員	海野　良瑛	6
委員	関原　司	45
委員	戸谷　保明	22
委員	杉本　陽	23
理事	町田　信也	60
委員	丸山　真一	0
準会員	青木　孝裕	17
準会員	両角　享	19

市民力向上委員会		集計点数
委員長	高野　裕也	67
副委員長	鈴木　晴海	73
副委員長	永戸　貴大	59
副委員長	和田　凌弥	51
委員	飯田　達也	15
理事/出向	倉島　盛朗	81
委員	佐藤真利郎	37
委員	徳武　郁人	69
委員	長堀　世輝	72
委員	納富　允	42
委員	堀内　諒	36
委員/出向	町田　功志	73
準会員	岡田　奈々	27
準会員	和田さおり	28

びんずる委員会		集計点数
委員長	伊藤　陵輔	111
副委員長	落合　拓	73
副委員長	片平　大地	89
副委員長	峯村　直樹	97
委員	石坂　智毅	92
委員	大垣　俊樹	97
委員/出向	鈴木　賢一	119
理事/出向	北島　謙治	141
委員	竹内　進	0
委員/出向	橋本　諭	182
委員	原　竜太	88
委員	横田　将	60

国際交流委員会		集計点数
委員長	楢本　大介	87
副委員長	武内　祐磨	55
副委員長	西宮　大士	67
副委員長	横川　歩	58
委員/出向	石井　拓弥	89
委員/出向	岡藤　旭	61
委員	河原崎　瞬	42
委員/出向	清水　努	23
委員/出向	鈴木　剛	43
委員	滝沢　洋介	12
理事	宮澤　遥	45

正会員数	116
準会員数	12
会員総数	128

出向者	20

年間事業ダイアリー

1月 January

日/曜日	会議/事業名
1 水	事務局閉鎖・第１回臨時理事会
2 木	事務局閉鎖
3 金	事務局閉鎖
4 土	
5 日	
6 月	第８回財コ
7 火	第26回正副理事長会議
8 水	
9 木	第１回定例理事会
10 金	
11 土	賀詞交換会　１月例会
12 日	
13 月	
14 火	第27回正副理事長会議・北陸信越地区協議会役員会議
15 水	長野市スポーツ協会新年会
16 木	高崎青年会議所賀詞交歓会
17 金	門前まち１月総会
18 土	
19 日	
20 月	第９回財コ
21 火	第28回正副理事長会議・中野青年会議所総会
22 水	
23 木	みゆきの青年会議所総会
24 金	京都会議・日本青年会議所理事会・地区会員会議所会議
25 土	京都会議・日本青年会議所総会
26 日	京都会議
27 月	
28 火	第29回正副理事長会議
29 水	第１回長野ブロック会員会議所会議
30 木	南長野青年会議所総会
31 金	

2月 February

日/曜日	会議/事業名
1 土	第１回定時総会・灯明決起集会
2 日	
3 月	第10回財コ
4 火	第30回正副理事長会議
5 水	
6 木	シニアクラブ総会・第２回定例理事会
7 金	２月公開例会　第二十二回長野灯明まつり・北陸信越地区協議会役員会議
8 土	２月公開例会　第二十二回長野灯明まつり・北信５地区会議所会議
9 日	２月公開例会　第二十二回長野灯明まつり
10 月	２月公開例会　第二十二回長野灯明まつり
11 火	２月公開例会　第二十二回長野灯明まつり
12 水	灯り絵撤収作業・第31回正副理事長会議
13 木	Family Day
14 金	
15 土	日本青年会議所理事会
16 日	長野ブロック会員会議所全体会議
17 月	第11回財コ
18 火	第32回正副理事長会議　ロータリー卓話
19 水	キャリア教育懇談会
20 木	
21 金	
22 土	
23 日	
24 月	
25 火	長野マラソン・長野車いすマラソン長野市支援実行委員会総会・第33回正副理事長会議
26 水	
27 木	コンソーシアム会議
28 金	北陸信越地区協議会役員会議

3月 March

日/曜日	会議/事業名
1 土	
2 日	
3 月	NAGANO働く女性大会議・第12回財コ
4 火	第34回正副理事長会議
5 水	
6 木	第３回定例理事会
7 金	日本青年会議所理事会
8 土	
9 日	
10 月	須坂青年会議所総会
11 火	第35回正副理事長会議
12 水	
13 木	Family Day
14 金	
15 土	
16 日	
17 月	第13回財コ
18 火	第36回正副理事長会議
19 水	３月例会
20 木	
21 金	
22 土	日本青年会議所総会・地域フォーラム
23 日	
24 月	
25 火	第37回正副理事長会議
26 水	
27 木	長野ブロック会員会議所会議
28 金	
29 土	
30 日	
31 月	長野青松会懇談会・第14回財コ

4月 April

日/曜日	会議/事業名
1 火	第38回正副理事長会議
2 水	
3 木	第４回定例理事会
4 金	北陸信越地区協議会役員会議
5 土	
6 日	
7 月	
8 火	第39回正副理事長会議
9 水	
10 木	
11 金	
12 土	地区会員会議所会議・４月公開例会・ソウル江北受け入れ
13 日	ソウル江北受け入れ
14 月	第15回財コ・ソウル江北受け入れ・全国大会主管会議所対話集会
15 火	第40回正副理事長会議
16 水	
17 木	居酒屋の青春
18 金	長野青年会議所説明会
19 土	日本青年会議所理事会・Family Day
20 日	
21 月	灯明まつり決算総会
22 火	長野ブロック会頭公式訪問
23 水	第41回正副理事長会議
24 木	FMぜんこうじ審議会
25 金	第16回財コ・長野ブロック会員会議所会議
26 土	
27 日	
28 月	第42回正副理事長会議
29 火	諏訪圏青年会議所25周年記念式典・祝賀会
30 水	長野びんずる総会

5月 May

日/曜日	会議/事業名
1 木	第５回定例理事会
2 金	
3 土	
4 日	
5 月	
6 火	
7 水	長野びんずる事務局開き
8 木	
9 金	北陸信越地区協議会役員会議・第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会長野市準備委員会　第2回総会
10 土	長野青年会議所説明会
11 日	Family Day
12 月	
13 火	第43回正副理事長会議
14 水	
15 木	５月例会
16 金	台中訪問
17 土	日本青年会議所理事会・台中訪問
18 日	台中訪問
19 月	第17回財コ
20 火	第44回正副理事長会議
21 水	ながのボランティア・市民活動支援ネットワーク総会
22 木	NAGANO検定総会・アップグレードセミナー・会員拡大会議
23 金	
24 土	
25 日	
26 月	長野ブロック会員会議所会議
27 火	第45回正副理事長会議
28 水	
29 木	善光寺イルミネーション総会
30 金	
31 土	

6月 June

日/曜日	会議/事業名
1 日	
2 月	第18回財コ
3 火	第46回正副理事長会議
4 水	
5 木	第６回定例理事会
6 金	
7 土	新入会員セミナー
8 日	新入会員セミナー
9 月	北信５地区会議所会議 in 須坂
10 火	第47回正副理事長会議
11 水	
12 木	ASPACウランバートル大会
13 金	ASPACウランバートル大会
14 土	ASPACウランバートル大会
15 日	ASPACウランバートル大会
16 月	第19回財コ
17 火	第48回正副理事長会議
18 水	次年度理事長監事選考委員会
19 木	ＦＭぜんこうじ審議会
20 金	
21 土	日本青年会議所理事会・６月例会
22 日	
23 月	
24 火	第49回正副理事長会議・日本青年会議所会員拡大委員会全体委員会激励
25 水	第５回長野ブロック会員会議所会議
26 木	第27回参議院選挙公開討論会
27 金	北陸信越地区協議会役員会議・地区会員会議所会議
28 土	地区フォーラム
29 日	地区野球大会
30 月	善光寺世界遺産をすすめる総会・第20回財コ

7月 July

日/曜日	会議/事業名
1 火	第50回正副理事長会議
2 水	青宝会20周年記念茶会
3 木	第７回定例理事会
4 金	
5 土	ブロックアカデミー閉校式
6 日	青少年事業
7 月	
8 火	第51正副理事長会議
9 水	
10 木	北信５地区会議所会議in中野
11 金	
12 土	JCIアカデミー閉校式
13 日	祇園祭
14 月	第21回財コ・AC長野パルセイロ正副会議
15 火	第52回正副理事長会議
16 水	長野びんずる連説明会・シニアクラブ納涼会
17 木	７月例会
18 金	全体委員会激励・日本青年会議所理事会
19 土	サマーコンファレンス・全茶連総会
20 日	サマーコンファレンス
21 月	
22 火	第53回正副理事長会議
23 水	
24 木	会員会議所会議
25 金	Family Day・びんずる採火式リハーサル
26 土	青少年事業・門前まち総会
27 日	飯田青年会議所65周年式典・祝賀会
28 月	第22回財コ
29 火	第54回正副理事長会議
30 水	
31 木	第８回定例理事会

8月 August

日/曜日	会議/事業名
1 金	
2 土	第55回長野びんずる
3 日	
4 月	
5 火	第55回正副理事長会議・長野市こども政策課会議
6 水	
7 木	
8 金	第23回財コ
9 土	
10 日	アイドゥルミッション説明会
11 月	Family Day・長野ブロック臨時会員会議所会議
12 火	第56回正副理事長会議
13 水	
14 木	アイドゥルミッション
15 金	アイドゥルミッション
16 土	アイドゥルミッション
17 日	
18 月	
19 火	第57回正副理事長会議・中野青年会議所総会
20 水	須坂青年会議所総会
21 木	FMぜんこうじ審議会
22 金	南長野青年会議所総会
23 土	第２回定時総会・８月例会
24 日	
25 月	第25回財コ
26 火	第58回正副理事長会議
27 水	
28 木	第９回定例理事会
29 金	会員会議所会議
30 土	青少年事業③・新JCビル建設準備委員会全体委員会
31 日	新JCビル建設準備委員会全体委員会

9月 September

日/曜日	会議/事業名
1 月	
2 火	第59回正副理事長会議
3 水	
4 木	９月公開例会全体会議
5 金	北陸信越地区協議会役員会議
6 土	
7 日	
8 月	第25回財コ
9 火	第60回正副理事長会議
10 水	
11 木	
12 金	
13 土	市民力向上委員会街中アンケート
14 日	
15 月	
16 火	第61回正副理事長会議
17 水	
18 木	第26回財コ
19 金	みゆきの青年会議所総会
20 土	日本青年会議所理事会
21 日	ブロック大会（須坂）
22 月	第62回正副理事長会議
23 火	Family Day
24 水	
25 木	第10回定例理事会
26 金	
27 土	
28 日	９月公開例会
29 月	長野びんずる意見交換会
30 火	第63回正副理事長会議

10月 October

日/曜日	会議/事業名
1 水	
2 木	10月公開例会全体会議
3 金	
4 土	北陸信越地区協議会役員会議・長野青年会議所説明会
5 日	
6 月	第27回財コ
7 火	第64回正副理事長会議
8 水	
9 木	全国大会（佐賀）・日本青年会議所理事会
10 金	全国大会（佐賀）・日本青年会議所総会
11 土	全国大会（佐賀）
12 日	全国大会（佐賀）
13 月	
14 火	
15 水	
16 木	FMぜんこうじ審議会
17 金	公開討論会
18 土	Family Day・善光寺世界遺産フォーラム
19 日	
20 月	
21 火	第65回正副理事長会議
22 水	
23 木	
24 金	
25 土	10月公開例会
26 日	
27 月	第28回財コ・長野ブロック会員会議所会議
28 火	第66回正副理事長会議
29 水	
30 木	第11回定例理事会
31 金	

11月 November

日/曜日	会議/事業名
1 土	
2 日	世界会議（チュニス）
3 月	世界会議（チュニス）
4 火	世界会議（チュニス）
5 水	世界会議（チュニス）
6 木	世界会議（チュニス）
7 金	世界会議（チュニス）
8 土	世界会議（チュニス）
9 日	世界会議（チュニス）
10 月	
11 火	第67回正副理事長会議
12 水	Family Day
13 木	
14 金	北陸信越地区協議会役員会議・長野青年会議所説明会
15 土	日本青年会議所規則審査会議激励
16 日	
17 月	第29回財コ
18 火	第68回正副理事長会議
19 水	
20 木	11月例会
21 金	
22 土	日本青年会議所理事会
23 日	長野ブロック会員会議所会議（新旧合同）
24 月	
25 火	第69回正副理事長会議
26 水	
27 木	
28 金	
29 土	北陸信越地区協議会役員会議・地区会員会議所会議・ソウル江北青年会議所公式訪問
30 日	ソウル江北青年会議所公式訪問記念式典

12月 December

日/曜日	会議/事業名
1 月	第30回財コ・ソウル江北青年会議所公式訪問
2 火	第70回正副理事長会議
3 水	
4 木	
5 金	第12回定例理事会・北陸信越地区協議会役員会議
6 土	
7 日	
8 月	
9 火	第71回正副理事長会議
10 水	
11 木	第31回財コ
12 金	
13 土	第３回定時総会・12月例会・日本青年会議所理事会
14 日	
15 月	おんだし
16 火	
17 水	第72回正副理事長会議
18 木	FMぜんこうじ審議会
19 金	第73回正副理事長会議
20 土	
21 日	
22 月	第32回財コ
23 火	第74回正副理事長会議
24 水	
25 木	Family Day
26 金	
27 土	
28 日	事務局閉鎖
29 月	事務局閉鎖
30 火	事務局閉鎖
31 水	事務局閉鎖

監事意見書

公益社団法人長野青年会議所定款 59 条 1 項 1 号 2 号の規定により

2025 年度事業報告について閲覧し

23 回の会議、5 室 9 委員会の運営、47 項目の事業

年間運動実績に関し事業計画と照合し監査したところ

内容について適正であると判断いたしました。

2026 年　1 月 14 日

公益社団法人長野青年会議所

監事　[signature]

監事　[signature]

事業史チャート

年　度	1953 ／ 昭和28年	1954 ／ 昭和29年	1955 ／ 昭和30年	1956 ／ 昭和31年	1957 ／ 昭和32年	1958 ／ 昭和33年
期　間	1953年7月22日～1954年6月30日	1954年7月1日～1955年6月30日	1955年7月1日～1956年6月30日	1956年7月1日～1957年6月30日	1957年7月1日～1958年6月30日	1958年7月1日～1958年12月31日
理事長	加藤邦太郎	中沢　敬	山本　昌平	滝沢　治助	柳沢　一郎	井田　義幸
スローガン						
組織・運営	設立総会・定款制定（7月22日） 日本JC入会認承（9月4日） 第48号　スポンサー　高崎JC	日本JC加入一時休止願提出			創立5周年 日本JC入会認承（9月12日） 日本JC認承通達（9月19日） 認承証伝達式（翌年7月6日） 第131号　スポンサー　富山JC	定款一部改正（翌年1月1日改正） 運営規定制定（不明） 事務局開設　商工会議所内 （11月25日・緑町）
事　業		写真コンクール 講演会（文化） 時局講演会（国政） 講演会（市政）	文化講演会	写真コンクール 歳末助け合い運動慈善音楽会 若槻療養所慰問、電蓄他寄贈 植樹祭	街頭録音 写真コンクール 歳末助け合い運動慈善音楽会 松代恵愛学園・三帰寮慰問 毛布・放送設備等寄贈 植樹祭	歳末助け合い運動慈善音楽会 若槻療養所・三帰寮慰問 学用品等寄贈 芋井、小田切、浅川地区児童に図書寄贈 福祉・受育施設児童ｻｰｶｽ招待 伊豆台風見舞い 長野夏まつり協賛
	聴講会参加、研究会 講義「商店経営について」	講演会（経営）	講演会4回、座談会2回 研究会2回	研究会1回		講演会2回
	日比親善児童画募集				国際児童画展	
	月例協議会で講義4回、座談会1回 工場見学（明治乳業）	月例協議会で会員意見交換 視察旅行（東京方面） 時局講演会宣伝隊	講演会1回、座談会1回、研究会1回 視察旅行（名古屋方面） 見学会1回、工場見学1回	講演会2回、座談会1回 視察旅行・工場見学（北陸地方） 会員家族大会等	講演会2回、座談会等2回 視察旅行（南紀方面） 見学2回 家族大会等	JCセミナー 視察旅行（東北地方） 家族大会等 長野青年会議所ニュース創刊
褒　賞					北陸信越地区会員大会初参加 第1回北陸信越地区会員大会（富山） 関東地区会員大会出席 第2回北陸信越地区会員大会主管	
各種大会主管、主要出向者支援	全国会員大会初参加 第1回全国会員大会（名古屋）					

1959 ／ 昭和34年	1960 ／ 昭和35年	1961 ／ 昭和36年	1962 ／ 昭和37年	1963 ／ 昭和38年	1964 ／ 昭和39年
1959年1月1日～12月31日	1960年1月1日～12月31日	1961年1月1日～12月31日	1962年1月1日～12月31日	1963年1月1日～12月31日	1964年1月1日～12月31日
井田　義幸	徳永　勝	中村　義平	塚田　和男	木村　恕	小笠原武一
					新時代築く若さと指導力 （日本JCスローガン）
	定款全面改正（4月8日承認）		創立10周年	上田JC認証伝達式（スポンサー）	定款一部改正（11月12日承認）
	会員資格規定・慶弔旅費規程制定		定款一部改正（1月21日承認）	運営規定改正（7月3日承認）	
	事務局移転　商工会議所新庁舎		飯田JC認承証伝達式(スポンサー)	会員資格規定改正（7月3日承認）	
	（11月15日・緑町1403番地）				
	松本JC認承証伝達式(スポンサー)				
	懸賞論文				
	社会の谷間写真展				
			文化講演会		文化講演会
歳末助け合い運動慈善カクテルパーティー	慈善カクテルパーティー	慈善ビールパーティー	10周年記念	交通安全基金獲得慈善パーティー	
遊園地を市へ寄贈	盲学校へラジオ贈呈	長野県養護学校（若槻）映写機贈呈	育英基金慈善カクテルパーティー	身体障害者映画招待会	
	児童遊園地開園式（下宇木）				
記念植樹祭（皇太子御成婚記念）	植樹祭				植樹祭
					都市美化器具贈呈
					市北部断水JC給水隊
		飯田JCへ水害見舞い缶詰発送			北海道地区冷害義捐金
					新潟地震救援隊派遣
長野夏まつり支援2年目	長野夏まつり支援3年目	長野夏まつり支援4年目	長野夏まつり支援5年目	長野夏まつり支援6年目	長野夏まつり支援7年目
広告祭（前夜祭）始まる	広告祭参加2年目	広告祭参加3年目	広告祭参加4年目	広告祭参加5年目	広告祭参加6年目
	新潟JCとの児童相互受け入れ				JC主催パレード
		愛の鐘世論調査	10周年記念奨学育英基金設立	記念奨学育英基金2年目	記念奨学育英基金3年目
		雲上殿愛の鐘寄贈・愛の鐘始鐘式			
	働く青少年の集い		集団受入式		集団受入式
				働く少年少女の集い	働く少年少女の集い
隠れた善行者の表彰					
		研修（ブレーンストーミング） 「効果的な話し方」		JCサロン“上手な話し方”	
			新入会員懇談会		
講演会1回、労働講座1回	講演会1回、研究会1回	講演会1回	講演会1回、労働問題講座1回		経営セミナー
			英会話講座		クリアウォーターJCより電報
クリアウォータJCに手紙	アメリカ生活体験団交歓会	時局講演会（国際情勢）	ミス・ライアン招聘		インドネシア芸術のタベ共催
西独JC会員来訪			創立10周年記念式典・祝賀パーティー		クリアウォーター 観光団歓迎夕食会
世界児童画展			創立10周年記念ゴルフ大会		
			創立10周年記念エクスカーション		
講演会2回、座談会1回	講演会1回、座談会等3回	座談会2回	講演会1回、座談会3回	講演会1回、座談会等	講演会1回、勉強会等
視察旅行（四国方面）	視察旅行（関東・伊豆方面）	視察旅行（東レ・大阪JC・東京JC）	視察旅行（東海地区）	視察旅行2回（沖縄・直江津等）	
		視察団（東南アジア）・視察（小田切小）			工場見学（トヨタ）
家族大会等	家族大会等		家族大会等	家族大会等	家族大会等
婦人スクール等	婦人スクール等	JC夫人工場見学	セミナー（テーブルマナー）等	夫人スクール等	夫人教室等
長野青年会議所ニュース2年目	長野青年会議所ニュース3年目	長野青年会議所ニュース4年目	長野青年会議所ニュース5年目	長野青年会議所ニュース6年目	長野青年会議所ニュース7年目
広報委員会設置	PR懇談会				報道関係者を囲む会
	NHK番組理事長訪問				
					地区最優秀ローカル委員会賞受賞
					JCIアジア会議最優秀LOM賞受賞
					（奨学育英基金、交通安全等）
					小野正孝JCI副会頭立候補途中辞退
日本JC地区担当理事		第5回北陸信越地区会員大会主管			北陸信越地区協議会会長
北陸信越地区協議会会長		関東地区会員大会及び			塚田和男
中村義平		甲府JC10周年視察			

年　度	1965 ／ 昭和40年	1966 ／ 昭和41年	1967 ／ 昭和42年	1968 ／ 昭和43年	1969 ／ 昭和44年	1970 ／ 昭和45年
期　間	1965年1月1日～12月31日	1966年1月1日～12月31日	1967年1月1日～12月31日	1968年1月1日～12月31日	1969年1月1日～12月31日	1970年1月1日～12月31日
理事長	山本真一郎	北野　幾造	小野　正孝	塚田　俊之	北野　吉造	松橋　昭生
スローガン	福祉国家 創るさきがけ果たせJaycee （日本JCスローガン）	Jayceeの若さで創ろう明るい未来 （日本JCスローガン）	Jayceeの勇気で築こう正しい社会 （日本JCスローガン）	日本の正しい行手 しめせJaycee （日本JCスローガン）	「全員参加」	豊かな心　厳しい自覚 貫け社会の正義 ／長野の住みよさを求めて
組織・運営	小諸JC認承証伝達式（スポンサー）	定款一部改正（11月24日承認）	定款一部変更（1月28日承認）	創立15周年	須坂JC認承証伝達式（スポンサー）	運営規定・会員資格規定
	定款一部改正（1月1日承認）	理事長選考委員会開始	佐久JC認承証伝達式（スポンサー）	社団法人設立総会（9月1日）	定款改正（翌年1月1日改正）	諸規定（旧慶弔旅費規定）
			会員カード作成開始	設立許可・定款制定（10月1日）	細則制定（翌年1月1日制定）	廃止（1月1日）
				社団法人設立基金設立		委員会・部会の縦横組織開始
				会員手帳発行		新入会員募集年1回から年2回に
事　業	社会開発計画着手 CD先進LOM視察（姫路、貝塚JC） CDを12分野に分類、個別計画着手 社会開発研修会・講演会 第1次長野市民総合アンケート 最緊急→長野電鉄線処理問題 最重要→コミュニティ意識高揚	CDを12分野毎の研究 社会開発講演会・懇談会・ 研究会 市・市議会へ要望決議文 にて陳情 準備調査費が市予算計上	地域社会開発講演会	CDアンケート懇談会 交通問題懇談会 交通問題アンケート調査	長野市都市計画課との懇談会 交通問題懇談会 知事・市長インタビュー 安保問題勉強会	昭和通り交差点交通公害調査 市長対話、市役所、地域との対話 -市民集会「教育に求めるもの」
	代議士を囲む会			代議士を囲む会	代議士を囲む会2回	善光寺日本忠霊殿落慶行事協力
	長野市との懇談会	県教育長を囲む会	県教育長を囲む会	県教育長を囲む会		
	市長・教育長・教育委員長訪問	地域開発セミナー				ゴミ処理問題着手（アンケート調査） →住民意識開発運動
	高田、直江津台風見舞金					
	長野夏まつり支援8年目	長野夏まつり支援9年目	長野夏まつり支援10年目	長野夏まつり支援11年目	長野夏まつり支援12年目	長野夏まつり支援13年目
	広告祭参加7年目	広告祭参加8年目	「火と水と音楽と若ものたち」始まる （前夜祭）	「火と水と音楽と若ものたち」2年目	「火と水と音楽と若ものたち」3年目	「火と水と音楽と若ものたち」4年目
	郡山JC交換教師					長野市市民祭の長期計画検討
	現場教師懇談会	青少年問題ターグング				長野青少年グループ連絡協議会発足
	記念奨学育英基金4年目	記念奨学育英基金5年目	奨学育英基金6年目	奨学育英基金7年目	奨学育英基金8年目	奨学育英基金9年目
	勤労青少年対策懇談会	育英生自発的に「路の会」結成	路の会2年目	路の会3年目	路の会4年目	路の会5年目
	集団受入式	集団受入式	集団受入式	集団受入式	長野少年サッカースクール創設	
	非行少年補導委員5名警察に協力	働く少年少女の集い	世界の教育海外取材報告		（青少年フューチャークラブ構想）	長野少年サッカースクール2年目
	中学校授業参観				水崎　亮　講師 長野高校サッカー部協力SBC後援	
		コミュニティ意識形成の基盤として ターグング（Tugging）推進 （クリスチャンアカデミー共済）	市民話し合いの会（ターグング継続）	ターグング継続が結実、 交通安全母の会市内各地に発足	交通安全のつどい 市内交通安全母の会に働きかけ	交通問題懇談会 交通安全母の会との協力
	JC研修会、茶道研修会（LT）	LT委員会	ロバート議事法スライド・	ロバート議事法の継続研究と徹底	LIA　リーダーシップ イン アクション 導入	実践指導力開発研修会
	JCスクール	ロバート議事法パンフレット作成	動議リスト作成（LTをLDに改称）		LDセミナー	LIAテキストによる研究
		新入会員セミナー	新入会員セミナー	新入会員セミナー	新入会員セミナー	新入会員セミナー
	地域経済開発セミナー		企業経営セミナー		経営セミナー	
		中小企業経営者懇談会	中小企業経営者懇談会		経済懇談会	
	英会話セミナー	英会話セミナー		英会話教室	台中JC経済考察団来訪	
	ソフィア・マクミラン招聘	ソフィアマクミラン2年目・褒章申請支援		エリザベスシールズ招聘	台中JCと友好JC調印	台中JC友好JC2年目
	市内中学英語教室へ派遣	国際親善使節団派遣	国際生活体験学生と	イギリス大学生受入	英会話教室	サマーディスカッションツアー
		（クリアウォーター・カンザスシティー）	インターナショナルナイト開催		ソ連通商団との経済懇談会	東南アジア留学生対話
		花柳万利助一行	モントリオール写真展		新入会員放談会	題名のない例会
	講師例会11回	社会開発分野毎の例会		婦人クラブ	新入会員放談会	
	研修旅行		研修旅行		先進地視察研修旅行	
	室内競技交流	囲碁将棋大会等		趣味の会結成・囲碁将棋大会		趣味の会
	家族旅行、パーティー等	家族パーティー等	家族パーティー等	家族大会等	家族大会等	家族慰安大会
	夫人スクール	JC夫人の会		JC夫人の集い	JC夫人の集い	
						長野JC内報13年目 長野青年会議所ニュースは広報紙に
	長野青年会議所ニュース8年目	長野青年会議所ニュース9年目 月刊定期化・CD特集通年	長野青年会議所ニュース10年目	長野青年会議所ニュース11年目	長野青年会議所ニュース12年目	「若いわれら」長野青年会議所ニュース 対外広報紙始まる
	新聞記者を囲む会					
	第一次総合アンケート報告記者会見			交通問題アンケート記者会見		
褒　賞	県協議会ローカルJC賞受賞	地区最優秀ローカルCD委員会賞受賞	地区優秀LD委員会賞受賞		地区特別賞（定款改正の方向性）	
		日本JC最優秀CD委員会賞受賞	日本JC最優秀LD委員会賞受賞			
		JCアジア会議最優秀CD賞受賞	JCI世界会議　LD賞第1位受賞			
		JCI世界会議　CD賞第1位受賞	JCI特別個人賞（北野幾造）			
各種大会主管、主要出向者支援	小野正孝　JCI副会頭当選	JCI副会頭（プログラム担当）	日本JC常任理事	第12回北陸信越地区会員大会主管	日本JC専務理事　小野正孝	日本JC副会頭　小野正孝
		小野正孝	北陸信越地区協議会会長	日本JC常任理事（指導力開発室）		
			北野幾造	小野正孝		

1971 ／ 昭和46年	1972 ／ 昭和47年	1973 ／ 昭和48年	1974 ／ 昭和49年	1975 ／ 昭和50年	1976 ／ 昭和51年
1971年1月1日～12月31日	1972年1月1日～12月31日	1973年1月1日～12月31日	1974年1月1日～12月31日	1975年1月1日～12月31日	1976年1月1日～12月31日
土屋　磯司	仁科　恵敏	鈴木宗太郎	青木恵太郎	塩沢　堅吉	鷲澤　正一
豊かな心　厳しい自覚 築こうアジアの連帯感 （日本JCスローガン）	考える、行動する 若い力が未来をひらく （日本JCスローガン）	新しい風かよう ＜まち＞とJCのために	「明るい健康な 私たちのまちづくりを……」 みんなで考え、 みんなでつくりまよう。	育てよう　じょうぶな体と 豊かな心の子供たちを	みんなで築こう 参加社会
総括副理事長設置	篠ノ井JC認承証伝達式(ｽﾎﾟﾝｻｰ)	創立20周年	定款一部改正（翌年1月1日改正）	細則一部改正（1月25日承認）	会員手帳（名簿）に写真付加
初女性会員入会（転籍）			細則一部改正（翌年1月1日改正）	預託金制度開始	
中野JC認証伝達式（スポンサー）			総括副理事長定款、細則に明記	飯山JC認承証伝達式（スポンサー）	
第2次長野市民総合アンケート	第2次長野市民総合アンケート分析	連続公開例会	報告レポート	講演会	「国鉄スト権を考える」公聴会
（訪問面接調査）	市民討論会	「五年後の長野市を考える」	長野都市圏の現状と将来展望	「岐路に立つ我国の現状と将来」	長野市再開発地域代表者への提言
	北陸新幹線により長野はどう変わるか	（交通・都市計画・商業・環境）		「自由主義社会に生きる	
	講師例会		広報特別講座	青年に望むこと」	長野市をきれいにする市民運動の会参画
			言論の自由をめぐる問題点		
				小坂徳三郎氏と特別朝食会	
				地域改善懇談会	地域改善懇談会2年目
	長野篠ノ井連絡協議会	歩行者天国（テスト実施）参加	歩行者天国2年目	歩行者天国3年目	歩行者天国4年目
	ふるさとハイク	長野大通り分離帯記念植樹	市民サイクリング・ハイク		
				陽気でゆかいな音楽会	
			ながの市民健康まつり1回目	ながの市民健康まつり2回目	ながの市民健康まつり3回目
					長野運動公園こけら落とし
長野びんずる創設	第2回長野びんずる	第3回長野びんずる	第4回長野びんずる	第5回長野びんずる	第6回長野びんずる
				講演会「子供のしつけについて」	高校総体前夜祭
		重度障害者生活圏拡大運動	JC・ブロック協・長野県	よりよき放送のためのシンポジウム	教育講座4回
青連協活動	青連協活動	（青連協共催）	青連協活動支援	青連協活動支援	青連協活動支援
奨学育英基金10年目	奨学育英基金11年目	記念奨学育英基金廃止	仮称「コミュニティ財団」設立方向研究	コミュニティ基金設立	コミュニティ基金2年目OBS推進
路の会6年目	路の会7年目	路の会8年目	路の会9年目	路の会10年目	路の会11年目
AOY基金設立	AOY基金2年目	AOY基金3年目	AOY基金4年目	AOY基金5年目	AOY基金6年目
長野少年サッカースクール3年目	長野少年サッカースクール4年目	長野少年サッカースクール5年目	長野少年サッカースクール6年目	長野少年サッカースクール7年目	長野少年サッカースクール8年目
	一般参加例会	働く若者交流事業	高校入試制度総合選抜制検討	OBSフィルムTV放映・OBS実施協力	幼児交通安全指導
	スポーツを通じた青少年育成	静岡JC・静岡体文協・青連協・長野JC		ミニOBSスキー・夏スクール実施	ミニOBS2年目スキー・夏スクール
				講演会「現代に生きる」	信州青年希望の船第3船支援
			信州青年希望の船支援	信州青年希望の船第2船支援	
	KJ法セミナー				新会員セミナー・早朝セミナー
新入会員セミナー	新入会員セミナー	新入会員セミナー	新入会員セミナー	新会員セミナー	模擬団交・賃金調査
	労務管理と其の将来像講師例会			講演会	経済ビジョン小冊子作成
				「私の歩んだ道と経営理念」	
					台中JC友好JC8年目
台中JC友好JC3年目	台中JC友好JC4年目	台中JC友好JC5年目	台中JC友好JC6年目	台中JC友好JC7年目	
		20周年記念式典・祝賀会			
スポーツ交流等		全国JC物故会員法要			
夫人の集り					長野JC内報19年目
長野JC内報14年目	長野JC内報15年目	長野JC内報16年目	長野JC内報17年目	長野JC内報18年目	
				(内報委員会設置、定期化)	
					青年会議所アワーTV放映
		プレスインタビュー	プレスインタビュー2年目	青年会議所アワーTV放映	コミュニティながの6年目
「コミュニティながの」創刊	コミュニティながの2年目	コミュニティながの3年目	コミュニティながの4年目	コミュニティながの5年目	
信濃毎日新聞折込			信濃毎日新聞全頁拡大	事業史チャート発表	
		定款細則改正研究報告書	定款細則改正報告書	社会開発に関する調査アンケート	
		中期5ヶ年計画		会計マニュアル作成	
日本JC　CD優秀賞受賞			日本JC		
日本JC　最優秀AOY賞受賞			広報活動推進賞優秀賞受賞		
JCI　AOY1位賞受賞					
日本JC監事　小野正孝	日本JC会頭　小野正孝	日本JC直前会頭　小野正孝	長野ブロック協議会会長	日本JC法制顧問　土屋磯司	日本JC監事　土屋磯司
長野ブロック協議会会長	日本JC会務担当常任理事	日本JC副会頭　土屋磯司	富士原信夫		
久保田甫（晴達）	（開発室）　土屋磯司	北陸信越地区協議会会長			
小野正孝　日本JC会頭選挙当選		久保田甫（晴達）			

年　度	1977 ／ 昭和52年	1978 ／ 昭和53年	1979 ／ 昭和54年	1980 ／ 昭和55年	1981 ／ 昭和56年	1982 ／ 昭和57年
期　間	1977年1月1日～12月31日	1978年1月1日～12月31日	1979年1月1日～12月31日	1980年1月1日～12月31日	1981年1月1日～12月31日	1982年1月1日～12月31日
理事長	石田治一郎	高波　謙二	丸山　永樹	久保田輝男	小林　邦雄	春日　英廣
スローガン	ともに学ぼう 明日（あした）のために	深めよう連帯 燃やそう情熱 創ろう　築こう　心豊かな ふるさと長野	きり拓こう　展望しよう 若い力で あすの社会を　あすの長野を	自覚した個人　認めあう社会 語ろう文化　探ろう未来 ふるさと長野	― Heart in Nagano ― 成熟の時代（とき） いま私たちは・・・	深めようJayceeの和 築こう郷土（ふるさと）の未来
組織・運営	基金運用規定制定	創立25周年			商工会議所ビル落成（12月23日）	事務局移転　商工会議所ヒビル
	預託金規定制定					（1月5日・七瀬中町276番地）
	（翌年1月1日制定）					
事　業	市民アンケート	市民は何を望んでいるか	経済問題シンポジウム	高齢者社会問題アンケート	第3次長野市民総合アンケート	教育問題分析
	みんなでつくろう1日広場	市民アンケート結果発表		生きがい問題調査	行政改革講演、勉強会	行政問題「長野市の健康診断」
		医療アンケート		文化シンポジウム	公開シンポジウム	テレビシンポジウム
		「長野市の医療体制を考える」市民集会		善光寺を中心とした長野の文化展	心のかよった郷土長野市の明日を求めて	21世紀の郷土づくり
				ふるさとの味　おふくろ料理の集い		
				郷土食文化アンケート	国際障害者年事業協力	
			マスタープラン（市街地再開発）参画	マスタープラン参画2年目	マスタープラン参画3年目	マスタープラン参画4年目
	地域改善懇談会3年目	地域改善懇談会4年目	地域改善懇談会5年目	地域改善懇談会6年目	地域改善懇談会7年目	地域改善懇談会8年目
	歩行者天国5年目	歩行者天国6年目	歩行者天国7年目	歩行者天国8年目	歩行者天国9年目	
					千曲川さけの会結成	千曲川さけの会協力2年目
			統一テーマによる朝食会	統一テーマによる朝食会2年目	空港問題を考える会結成	空港問題を考える会結成2年目
			「北陸新幹線建設促進」	「北陸新幹線・関越道上越線建設促進」	「北陸新幹線・関越道上越線建設促進」	「北陸新幹線・関越道上越線建設促進」
		宝塚歌劇団公演	「中央道長野線建設促進」	「中央道長野線建設促進」	「中央道長野線建設促進」	「中央道長野線建設促進」
			沿線青年会議所連盟	沿線青年会議所連盟2年目	沿線青年会議所連盟3年目	沿線青年会議所連盟4年目
					高速交通網早期実現に向け	
					更埴市長・市議会議長へ陳情	
						冬季オリンピック誘致を提言
	ながの市民健康まつり4回目	ながの市民健康まつり5回目 （やまびこ国体記念行事）	ながの市民健康まつり6回目	ながの市民健康まつり7回目	ながの市民健康まつり8回目	ながの市民健康まつり9回目
	第7回長野びんずる	第8回長野びんずる	第9回長野びんずる	第10回長野びんずる	第11回長野びんずる	第12回長野びんずる
		少年少女絵画スクール		江戸みこし参加		江戸みこし参加
		小天狗の森建設				
	青連協活動支援	青連協活動支援	青連協活動支援	青連協活動支援	青連協活動支援	青連協活動支援
	コミュニティ基金3年目	コミュニティ基金4年目	コミュニティ基金5年目	コミュニティ基金6年目	コミュニティ基金7年目	コミュニティ基金8年目
	路の会12年目	路の会13年目	路の会14年目	路の会15年目	路の会16年目	路の会17年目
	AOY基金7年目	AOY基金8年目	AOY基金9年	AOY基金10年目	AOY基金11年目	AOY基金12年目
	長野少年サッカースクール9年目	長野少年サッカースクール10年目	長野少年サッカースクール11年目	長野少年サッカースクール12年目	長野少年サッカースクール13年目	長野少年サッカースクール14年目
		サッカースクール10周年記念講演会		長野少年サッカー交歓会開催		
	ミニOBS3年目　冬・夏コース	ミニOBS4年目　スキー・夏スクール	ミニOBS5年目　冬・夏コース	ミニOBS6年目　冬・夏コース	ミニOBS7年目　夏コース	ミニOBS8年目　冬・夏コース
	信州青年希望の船第4船支援	信州青年希望の船第5船支援	信州青年希望の船第6船支援	信州青年希望の船第7船支援	信州青年希望の船第8船支援	信州青年希望の船第9船支援
	長野市民スクール開校	長野市民スクール2年目	長野市民スクール3年目	長野市民スクール4年目	エネルギーインターナショナル社研修	
	婦人講座・青壮年講座他	市民スクール公開講演会			LDアンケート	
		LD道場	国際感覚養成講演	クリエイティブOD研究実施	新入会員研修（ロバート議事法等）	会員開発セミナー
	新会員セミナー	入会セミナー・LDセミナー・CDセミナー	新会員セミナー・早朝セミナー	新入会員セミナー	新入会員セミナー	新会員セミナー・早朝セミナー
	倒産検証例会	経営開発講師例会	問題意識実態調査	経営問題セミナー	労働問題講演	
		「生き残るために」		経営懇談会		
		我々青年経済人は今、何をなすべきか				
	台中JC友好JC9年目	台中JC友好JC10年目	台中JC友好JC11年目	台中JC友好JC12年目	台中JC友好JC13年目	台中JC友好JC14年目
		10周年記念交流	創立20周年記念式典参加			
			韓国ソウル西江JC姉妹提携締結	ソウル西江JC姉妹JC2年目	ソウル西江JC姉妹JC3年目	ソウル西江JC姉妹JC4年目
					日本JC青年の船	
		25周年記念祝賀会				
		日本JC関係物故者慰霊大法要				
	歴代理事長訪問	創立25周年記念基金				
	長野JC内報20年目	長野JC内報21年目	内報「JC長野」22年目	内報「JCながの」23年目	内報「JCながの」24年目	内報「JCながの」25年目
					冊子化	
	青年会議所アワー他TV放映					
	コミュニティながの7年目	コミュニティながの8年目	コミュニティながの9年目	コミュニティながの10年目	コミュニティながの11年目	コミュニティながの12年目
		医療問題統一キャンペーン	経済問題統一キャンペーン			
		「長野市の医療体制を考える」	「長野市の経済問題を考える」			
	財政答申書					長期ビジョン提言
褒　賞	JCデー統一行事推進賞					
	エントリー					
各種大会主管、主要出向者支援		北陸信越地区協議会会長	長野ブロック協議会会長			
		鷲澤正一	高波謙二			

1983 ／ 昭和58年	1984 ／ 昭和59年	1985 ／ 昭和60年	1986 ／ 昭和61年	1987 ／ 昭和62年	1988 ／ 昭和63年
1983年1月1日～12月31日	1984年1月1日～12月31日	1985年1月1日～12月31日	1986年1月1日～12月31日	1987年1月1日～12月31日	1988年1月1日～12月31日
植木　修一	吉田總一郎	酒井　正晃	夏目　潔	黒崎　秀夫	柳澤　一夫
確立しよう 地域の自立と連帯	真の豊かさを求めて　― 見つめよう　地域の生きる力	創り出そう 心豊かなコミュニティ	愛する長野の街に思想を ー今こそ示せ若き情熱!	めざせ!個性豊かな 潤いのあるまちづくり	未来（あす）への飛躍をめざして 今、ふるさとに新風を!
創立30周年			定款一部改正		創立35周年
			預託金規定改正		基金運用規定改正
			（翌年1月1日改正）		（翌年1月1日改正）
ウォッチ・ザ・議会	地域の教育アンケート	さわやかフェスティバル	街づくりフォーラム	まちづくりフォーラム’87	まちづくりフォーラム’88
行革アンケート（対象市議会議員）	子供の教育アンケート	椋　鳩十青空教室	（1）快適性（2）豊かさ（3）独創性	町・まち・街・フェスティバル'87	「歴史・文化　長野の顔づくり」
母と子の童謡のタベ	「長野市の国際化を考える」	ふれ愛の市	から見た長野市を考える	ふれ愛広場	「中央道長野線　果す役割と課題」
ながの童謡のふるさと	シンポジウム	ふれ愛コンサート		まちづくりシンポジウム	「城下町の魅力松代界隈」
	牛尾治朗氏文化講演会	遊びとふれ愛の広場		ながのまちづくり’87写真展	CD指針・実践事業指針提案
	三世代交流ゲートボール	吉岡たすく講演会（母親スクール）	ウォーキング・ザ・ながの	体験コーナー	「新しい風構想」
マスタープラン参画5年目	世代をこえて語ろう座談会	母親スクール4回	大町JCとの懇談会	まちの国際化コーナー	記念講演会
地域改善懇談会9年目	地域改善懇談会10年目		(アルプス・スカイライン構想)	オリンピック招致PRコーナー	「21世紀の日本と地域づくり」
					アスペン・ミュージックフェスティバルin長野
					プレリュード　支援
千曲川さけの会協力3年目	千曲川さけの会協力4年目	千曲川さけの会5年目さけ4匹還る	千曲川さけの会協力6年目	千曲川さけの会協力7年目	千曲川さけの会協力8年目
空港問題を考える会結成3年目	空港問題を考える会結成4年目	空港問題を考える会結成5年目	空港問題を考える会結成6年目		
「北陸新幹線・関越道上越線建設促進」	「北陸新幹線・関越道上越線建設促進」	「北陸新幹線・関越道上越線建設促進」	「北陸新幹線・関越道上越線建設促進」	「北陸新幹線・関越道上越線建設促進」	
「中央道長野線建設促進」	「中央道長野線建設促進」	「中央道長野線建設促進」	「中央道長野線建設促進」	「中央道長野線建設促進」	
沿線青年会議所連盟5年目	沿線青年会議所連盟6年目	沿線青年会議所連盟7年目	沿線青年会議所連盟8年目	沿線青年会議所連盟9年目	
高速交通網早期実現に向け	市町村議会議員2000人に	北陸新幹線	北陸新幹線	北陸新幹線	
県議会議員にアンケート調査	アンケート調査	工事着工具体化	長野駅周辺環境整備事業起工	長野駅周辺環境整備事業起工	オリンピックふれ愛広場
		冬季オリンピック招致運動始まる	長野冬季オリンピック招致	長野冬季オリンピック招致	長野冬季オリンピック招致
			青年会議所連絡協議会発足	青年会議所連絡協議会	青年会議所連絡協議会
					冬季オリンピック
					国内候補地　長野に決定
ながの市民健康まつり10回目	ながの市民健康まつり11回目	ながの市民健康まつり12回目	ながの市民健康まつり13回目	ながの市民健康まつり14回目	ながの市民健康まつり15回目
第13回長野びんずる	第14回長野びんずる	第15回長野びんずる	第16回長野びんずる	第17回長野びんずる	第18回長野びんずる
江戸みこし・女みこし参加	名古屋女子大付属高校	地附山地滑り災害にて中止	御諏訪太鼓参加		
	マーチングバンド参加				児童未来絵画展
穂積隆信講演会					
コミュニティ基金9年目	コミュニティ基金10年目	コミュニティ基金11年目	コミュニティ基金12年目	コミュニティ基金13年目	コミュニティ基金14年目
ジュニア・アカデミー・スクール					
AOY基金13年目	AOY基金14年目	AOY基金15年目	AOY基金16年目	AOY基金17年目	AOY基金18年目
長野少年サッカースクール15年目	長野少年サッカースクール16年目	長野少年サッカースクール17年目	長野少年サッカースクール18年目	長野少年サッカースクール19年目	長野少年サッカースクール20年目
15周年記念釜本邦茂講演会		日朝親善サッカー	長野少年サッカー交歓会主管		20周年記念事業、指針提案
ミニOBS9年目　冬スクール	ミニOBS10年目　夏コース	ミニOBS11年目　夏スクール	ミニOBS12年目	ミニOBS13年目	ミニOBS14年目
植村直己講演会					
信州青年希望の船第10船支援	信州青年連帯の船（名変）第11船支援	信州青年連帯の船第12船支援	信州青年連帯の船第13船支援	信州青年連帯の船第14船支援	信州青年連帯の船第15船支援
NAGANO　JC　アカデミー	NAGANO　JC　アカデミー	LD道場	LD講演会・JQCセミナー		
新入会員セミナー・早朝セミナー	新入会員セミナー	新入会員セミナー・早朝セミナー	新入会員セミナー・早朝セミナー	新会員セミナー・準会員セミナー	新会員セミナー
経営問題セミナー	経営問題セミナー	経営セミナー	経営問題セミナー	JCスクール	JCスクール
経営懇談会	MIA勉強会			売上税セミナー	
	シンポジウム「科学と人間」			賃金問題セミナー	
台中JC友好JC15年目	台中JC友好JC16年目	台中JC友好JC17年目	台中JC友好JC18年目	台中JC友好JC19年目	台中JC友好JC20年目
	台中JC創立25周年　式典参加	相互公式訪問開始			
ソウル西江JC姉妹JC5年目	ソウル西江JC姉妹JC6年目	ソウル西江JC姉妹JC7年目	ソウル西江JC姉妹JC8年目	ソウル西江JC姉妹JC9年目	ソウル西江JC姉妹JC10年目
	ソウル西江JC締結5周年	相互公式訪問開始			
	世界合唱祭アジアカンタートイン長野				
30周年記念式典・祝賀会	GRIP運動	信条			35周年記念式典・祝賀会
日本JC物故者慰霊大法要	長野国際化協会設立		日本JC物故者慰霊大法要		全国JC関係物故者慰霊大法要
シニア訪問					創立35周年記念基金設立
内報「JCながの」26年目	内報「JCながの」27年目	内報「JCながの」28年目	内報「JCながの」29年目	内報「JCながの」30年目	内報「JCながの」31年目
コミュニティながの13年目	コミュニティながの14年目	コミュニティながの15年目	コミュニティながの16年目	コミュニティながの17年目	コミュニティながの18年目
		朝刊に掲載			
			単年度制問題研究提言		長期計画アンケート
地区最優秀青年会議所賞受賞	地区国際活動推進賞最優秀賞受賞				褒賞提供　自由部門
日本JC優秀青年会議所賞受賞	日本JC国際活動推進賞優秀賞受賞				「社会と人間の開発推進賞」
（創立30周年記念事業、継続事業	JCI市民運動計画賞　エントリー				優秀賞　防府JC
第3次総合アンケート及びシンポジウム）					
			第30回北陸信越地区会員大会主管	長野ブロック協議会会長　夏目潔	北陸信越地区協議会会長
					夏目潔

年　度	1989 ／ 平成元年	1990 ／ 平成2年	1991 ／ 平成3年	1992 ／ 平成4年	1993 ／ 平成5年	1994 ／ 平成6年
期　間	1989年1月1日～12月31日	1990年1月1日～12月31日	1991年1月1日～12月31日	1992年1月1日～12月31日	1993年1月1日～12月31日	1994年1月1日～12月31日
理事長	長澤　明廣	若麻績千冬	倉田　修	中川　信幸	塚田　芳樹	宇都宮健雄
スローガン	“まちづくり　ひとづくり 21世紀（あす）にはばたけ 世界のNAGANO”	“今、その瞬間（とき）・・・ おこせ新たな旋風（かぜ） とどけ世界へ 人、長野（まち）、心”	夢（オリンピック）が奏でる心と自然 創ろう調和都市（ハーモニアスシティ） NAGANO	「ひらこう21世紀の扉を かなえよう熱き思いを 愛と自然のこの街に」	とどけ　熱き思い 輝く未来のために	― Heart of JC ― 心（やさしさ）　ふれあい　再発見
組織・運営		定款一部改正（6月21日改正）			創立40周年	
		専務理事設置			預託金規定改正（12月11日改正）	
		「炎の法被」製作				
事　業	Forum　まちづくりひとづくり'89 -語ろう21世紀の我がまちを-	ながのまちづくり組織設立提唱	長野まちづくり会議準備会	長野まちづくり推進会議設立提案	まちづくり市民会議準備団体	ながの未来塾2年目
		LOVEオリンピック	「住んでみて・離れてみて」アンケート	みんな集れ！運動公園	ながの未来塾設立	「NAGANO」探検ウォークラリー
		―調和とFriendlyと夢と―	どうした教育県長野	創ろういい「長野」いい「地球人」	まちづくりアンケート	パネルディスカッション
	「公的規制」意識アンケート	オリンピック夢ステージ	憂うべき学力低下の実態	語ろう明日のまちづくり	公開セミナー	「ボランティアについて考えてみよう」
		絵画ｺﾝｸｰﾙ「10年後の私のまち」	オリンピックが奏でるLOVE&PEACE	女性対象アンケート調査	今なぜ「まちづくり市民会議」か	いま、この地球でみんな生きている
		地球人へのVision提言	Come on1998 NAGANO	女性100人の集い	みんなで語ろう長野のまちづくり	行政懇談会
		ホームステイ　他	Winter Olimpics	まちづくりデザイン会議活動	長野大通り開通10周年事業	
			平和大行進、ステージ、バザー、	セミナー4回開催	公開セミナー　すてきなゴミたち!	ゴミ体験学習
			私の愛するまち・ひと写真展		仲良く付き合ってみませんか	やさしさふれあいふるさとの森づくり
	ながの夏音楽祭　支援		ながのアスペンミュージックフェスティバル	南長野JC合同飯綱山幼苗植栽	飯綱山幼苗植栽	オリンピック記念植樹（真島五輪線）
	千曲川さけの会協力9年目	千曲川さけの会協力10年目	千曲川さけの会協力11年目	千曲川さけの会協力12年目	千曲川さけの会協力13年目	千曲川さけの会協力14年目
		高速道長野線外観変更陳情	長野JC・新潟JC・高崎JC	上信越トライネット推進協議会発会	上信越トライネット2年目	上信越トライネット3年目
			によるトライネット研究会発会	トライネット研究会発展的改組	TAP90推進	
		6LOM合同懇談会	6LOM合同懇談会			
		北信濃圏まちづくりサミット開催	北信濃圏まちづくりサミット2年目			
			南長野JCとの合同例会			
	ワールドカップ協力		「考えよう明日の長野を」			
	長野冬季オリンピック招致	長野冬季オリンピック招致	長野冬季オリンピック招致	長野冬季オリンピック招致	長野冬季オリンピック招致	長野冬季オリンピック招致
	青年会議所連絡協議会	青年会議所連絡協議会	青年会議所連絡協議会	青年会議所連絡協議会	青年会議所連絡協議会	青年会議所連絡協議会
	長野冬季オリンピック海外にPR	長野冬季オリンピック	City of Nagano	聖火台デザインコンペ	長野冬季オリンピック	リレハンメル視察者報告会
	県ECｳｨｰｸ若手ビジネスマン交歓会	招致の集い主催	1998冬季オリンピック		ボランティア予備登録全員登録	軽井沢JC加入
	ながの市民健康まつり16回目		開催都市長野に決定		1500日前イベント　他	長野冬季オリンピック
						ボランティア本登録全員登録　他
	第19回長野びんずる	第20回長野びんずる	第21回長野びんずる	第22回長野びんずる	第23回長野びんずる	第24回長野びんずる
	小中高生によるマーチングバンド	二十（はたち）連炎の法被	連を5ブロックに分ける	花束そえて大合唱		はばたけ!未来へ
	戸隠親子教室　おとうさんといっしょ	五色の大玉送り	びんずるウェーブ			'94未来人（こども）会議
	「大きな自然・あたたかい命」					
	コミュニティ基金15年目	コミュニティ基金16年目	コミュニティ基金17年目	コミュニティ基金18年目	コミュニティ基金19年目	コミュニティ基金20年目
	AOY基金19年目	AOY基金20年目	AOY基金21年目	AOY基金22年目	AOY基金23年目	AOY基金24年目
	長野少年サッカースクール21年目	長野少年サッカースクール22年目	長野少年サッカースクール23年目	長野少年サッカースクール24年目	長野少年サッカースクール25年目	長野少年サッカースクール26年目
	「私の名前」作文募集					
	ミニOBS15年目	青少年開発プログラム	英語で遊ぼう勉強しよう	Let's Play in English	'93LEPIE	'94LEPIE
	ミニOBS公開講演会	英語で遊ぼう、勉強しよう開校	スポーツ編開始	LEPIEスクール開校	JCタートルズ結成　他	JCタートルズ　他
	信州青年連帯の船第16船支援	信州青年連帯の船第17船支援	信州青年連帯の船第18船支援	信州青年連帯の船第19船支援	信州青年連帯の船第20船支援	信州青年連帯の船第21船支援
	中国情勢悪化により中止	会員研修セミナー				
		ミニOBS実践研修		会員研修会	会員研修プログラム	
		夜通しセミナー	JCアカデミー		指導力開発セミナー	
	新入会員セミナー・早朝セミナー	新会員セミナー・早朝セミナー	新会員セミナー	新入会員セミナー・早朝セミナー	新会員セミナー・早朝セミナー	新入会員セミナー・準会員セミナー
	JCスクール	ロバート議事法セミナー		会員セミナー	歴代理事長座談会	経営指導力セミナー2回
	経営開発講座	経営開発セミナー	経営セミナー	戦略マネージメントゲーム	公開ｾﾐﾅｰ「企業と環境」	経営指導力公開委員会
		相続税・バランスシート			経営問題セミナー	
	台中JC友好JC21年目	台中JC友好JC22年目	台中JC友好JC23年目	台中JC友好JC24年目	台中JC友好JC25年目	台中JC友好JC26年目
						台中JC35周年記念式典
	ソウル西江JC姉妹JC11年目	ソウル西江JC姉妹JC12年目	ソウル西江JC姉妹JC13年目	ソウル西江JC姉妹JC14年目	ソウル西江JC姉妹JC15年目	ソウル西江JC姉妹JC16年目
	クリアウォーター英語教師懇談会	アイドゥルミッション開始訪韓	アイドゥルミッション受入	アイドゥルミッション訪韓	アイドゥルミッション受入	アイドゥルミッション訪韓
	国際交流セミナー					
		JC像街頭アンケート			40周年記念式典・祝賀会	
					日本JC物故者慰霊大法要	
	創立35周年記念基金2年目	創立35周年記念基金3年目	創立35周年記念基金4年目	創立35周年記念基金5年目	創立35周年記念基金廃止	
	内報「JC　NAGANO」32年目	内報「JC　NAGANO」33年目	内報「JC　NAGANO」34年目	内報「JC　NAGANO」35年目	内報「JC　NAGANO」36年目	内報「JC　NAGANO」37年目
				会員募集パンフレット作成		
	コミュニティながの19年目	コミュニティながの20年目	コミュニティながの21年目	コミュニティながの22年目	コミュニティながの23年目	コミュニティながの24年目
					創立40周年特集号	プレスリリースの検討
	定款・細則見直し	定款・細則最終答申書				まちづくり機関誌あもえにたす発刊
		長期ビジョン全国会員大会立候補提言			長期計画報告書	
褒　賞	褒賞提供　自由部門	褒賞提供　自由部門	褒賞提供　自由部門	褒賞提供　自由部門	褒賞提供　自由部門	JCI-ASPAC青少年活動賞エントリー
	「社会と人間の開発推進賞」	「社会と人間の開発推進賞」	「社会と人間の開発推進賞」	「社会と人間の開発推進賞」	「社会と人間の開発推進賞」	地区ひとづくり推進賞受賞
	優秀賞　徳島JC	優秀賞　石巻JC	優秀賞　清水JC	優秀賞　西脇JC	優秀賞　奈良JC	日本JCひとづくり推進賞エントリー
各種大会 主管、主要 出向者支援		全国会員大会主管立候補　準備	1994全国会員大会主管LOM立候補	1995全国会員大会主管LOM立候補	岡田会頭第一声"色はブルー"	全国大会準備実行委員会
			（盛岡JC決定）	堺JC決定	1996年全国会員大会長野に決定	
		日本JC副会頭　夏目潔	日本JC監事　夏目潔		東京会議	

1995 ／ 平成7年	1996 ／ 平成8年	1997 ／ 平成9年	1998 ／ 平成10年	1999 ／ 平成11年	2000 ／ 平成12年
1995年1月1日～12月31日	1996年1月1日～12月31日	1997年1月1日～12月31日	1998年1月1日～12月31日	1999年1月1日～12月31日	2000年1月1日～12月31日
田中　精一	小笠原康博	小山　光作	土屋龍一郎	鷲澤　幸一	竹内　隆文
一人ひとりの自己改革が 新しい時代を創る CHENGE　CHALLENGE　CREATION	昂（たかぶ）る心に 明日への礎（いしずえ）。 いま、新たなる高みへ。	新たなるステージへ 今飛翔（はば）たけ 青年らしく溌剌（はつらつ）と	夢の先へ NAGANOを拓く源流とならん	NAGANO as we believe 変革への意志と実践	Mission for The New Millennium ―踏み出そう　未来へ 伝えよう　夢を―
細則一部改正（8月17日改正）		定款一部改正（9月24日改正）	創立45周年		理事会資料HTML化
			細則一部改正（5月20日改正）		
ながの未来塾3年目	ながの未来塾4年目	ながの未来塾5年目	第4次長野市民総合アンケート	NAGANO活性化シンポジウム	まちづくりシンポジウム
「個性ある長野のまちづくりのために」		事務局運営移管	NAGANOまちづくりシンポジウム	ーオリンピック資産CSを考えるー	（1）中心市街地活性化基本計画
提唱	特別奏納演奏会「ザ・善光寺ガラ」	広域まちづくりセミナー	「夢の先へNAGANOを拓く源流とならん」	中心市街地空洞化問題	（2）中心市街地活性化先進事例
公開講座「シリーズながの再発見」5回		「地域主権確立を目指して」	提言「NAGANOその先の夢を求めて」	21世紀政策公開シンポジウム	（3）講演「中心市街地のあり方」
「マルクトプラッツ表参道'95」	「マルクトプラッツ表参道'96」	「ながの歳事記」に	（1）スポーツを通したまちづくり	「地球を継ぐ子供たちのために」	（4）パネルディスカッション（5）アンケート
中央通りフリーマーケット	「ながの歳時記」誕生	マルクトプラッツ表参道を包含	（2）CSを核としたまちづくり	NPOの基礎知識学習	日本JC　NPO推進委員会合同シンポジウム
阪神淡路大震災人的支援等		公開セミナー	（3）地域ｺﾐｭﾆﾃｨーを活かした	NPO法人格申請調査	NPO法人取得調査
20kmウォーク・ア・ソン		「ポストオリンピックの広域観光」	青少年育成	県内NPO団体調査	NPO・行政・JC懇話会
リフレッシュキャンプ"受入	ペーパーレス特別セミナー	ハンディキャップ体験	報告書を市長へ手渡す	福祉実践プログラム5回	生きがい創造シンポジウム
環境セミナー3回	オリンピック記念植樹	特別養護老人ホームボランティア	老人保健施設で介護体験	福祉セミナー2回	福祉公開セミナー
千曲川さけの会15年目事務局運営	千曲川さけの会協力16年目	千曲川さけの会協力17年目	千曲川さけの会協力18年目	環境に優しい心の育成実践プログラム	福祉ネットワーク研究会3回
上信越トライネット4年目	上信越トライネット5年目	上信越トライネット6年目（事務局）	上信越トライネット7年目	上信越トライネット8年目	上信越トライネット9年目
国土庁調査費計上	RINX4結成	RINX4　2年目	RINX4　3年目（事務局）	RINX4　4年目	RINX4　5年目規約制定
長野上越シンポジウム	上信越地域連帯シンポジウム		シンポジウム	信越連携シンポジウム	信越連携シンポジウム
上越JCとの月例交流会		日本海重油災害復旧活動支援	"つたえよう心のふるさと"開催	地域連携に関する調査報告	南長野JCとの合同
		募金活動、重油回収ボランティア	パラリンピック支援	台湾大地震、台中JC支援	まちづくり例会
		「百万本のバラ」コンサート	アートパラリンピック協力	メモリュージョン・ナガノ'99	メモリュージョン・ナガノ2000
長野冬季オリンピック招致	長野冬季オリンピック招致	長野冬季オリンピック招致	長野冬季オリンピック招致	長野冬季オリンピック招致	記念ピンバッチ
青年会議所連絡協議会	青年会議所連絡協議会	青年会議所連絡協議会	青年会議所連絡協議会	青年会議所連絡協議会　解散	
1000日前イベント	500日前イベント	長野冬季オリンピック支援	長野冬季オリンピック支援	長野オリンピック1周年	長野オリンピック2周年
NAOCボランティア課長講演	スノーレッツクラブ全員登録　他	準備実行委員会	実行委員会	記念イベント実行委員会	記念イベント実行委員会
1000日前イベント活動内容提言		記念タイル事業PR	オリンピック記念事業実行委員会	長野オリンピック1周年	
ボランティア研修　他	セントラルスクゥエア完成式典	ワールドカップ開、閉会式ボランティア	長野冬季オリンピック開催運営参画	記念イベント長野JC実行委員会	
第25回長野びんずる	第26回長野びんずる	第27回長野びんずる	第28回長野びんずる	第29回長野びんずる	第30回長野びんずる
市民ボランティア公募	セントラルスクゥエア解放	長期ビジョン提言	商人体験1日店長	市民ボランティア企画参加	魅せる祭り　演舞場・観覧席
踊りコンテスト、踊り場拡大	踊りコンテスト	演舞場・踊ロード	スタンプラリー	「踊るゴミ大作戦」ゴミ箱廃止	街頭アンケート実施
				事務局をセントラルスクゥエア移動	フリーマーケット、パフォーマンスステージ
コミュニティ基金21年目	コミュニティ基金22年目	コミュニティ基金23年目	コミュニティ基金24年目	コミュニティ基金25年目	コミュニティ基金26年目
			岡崎中学校訪問受入		
AOY基金25年目	AOY基金26年目	AOY基金27年目	AOY基金廃止		
長野少年サッカースクール27年目	長野少年サッカースクール28年目	長野少年サッカースクール29年目	長野少年サッカースクール30年目	長野少年サッカースクール運営会議支援	長野少年サッカースクール運営会議支援
	新地球物語体験塾支援		長野少年サッカースクール運営会議設立		OHP会議7回
LEPIEスクール	「KICIO（キッキオ）	Welcome to KICIO Square	子供たちの国際体験塾	ハイスクールボイスinJCフォーラム	
JCタートルズ　他	子供達のオリンピック」	Kids Fun Factory		ハイスクールボイス全体会議	蕎麦づくりプログラム5回
信州青年連帯の船第22船支援	信州青年連帯の船第23船支援	信州青年連帯の船第24船支援	信州青年連帯の船第25船支援	信州青年洋上セミナー（名変）第26船支援	信州青年洋上セミナー第27船支援
				準会員、1・2年目正会員セミナー	
			ヤングブルー道場3回	LD実践アカデミー3回	リーダーシップ レベルアップ セミナー
JCスクール		長野JCアカデミー		準会員対象LDセミナー2回	リーダーシップ勉強会4回
準会員セミナー・準会員早朝セミナー	新入会員セミナー	新入会員セミナー	新入会員セミナー	新入会員研修山編・街編	新入会員セミナー山編・街編
	新入会員研修	準会員による事業		ビジネスアカデミー3回	ビジネス研修セミナー
		経営開発プログラム	企業訪問	ビジネス交流ネットワーク「Biz-net」開設	「Biz-net」2年目、検証研究
		CTプログラム・BTプログラム	ビジネスチャンス調査報告	環境マネジメントシステム研究報告	ビジネス研修2000勉強会4回
台中JC友好JC27年目	台中JC友好JC28年目	台中JC友好JC29年目	台中JC友好JC30年目	台中JC友好JC31年目	台中JC友好JC32年目
	全国会員大会出席、11月公式訪問			台中JC創立40周年式典	
ソウル西江JC姉妹JC17年目	ソウル西江JC姉妹JC18年目	ソウル西江JC姉妹JC19年目	ソウル江北JC姉妹JC20年目	ソウル江北JC姉妹JC21年目	ソウル江北JC姉妹JC22年目
アイドゥルミッション受入	アイドゥルミッション訪韓	アイドゥルミッション受入	アイドゥルミッション訪韓	アイドゥルミッション受入	アイドゥルミッション訪韓
	全国会員大会出席、11月公式訪問			ソウル姉妹締結20周年式典	
				姉妹・友好交流に関する答申	
	日本JC物故者慰霊大法要	出向者全体会議2回		クリアウォーター親善ミッション	
	善光寺本堂大献花・野点・生け花			「心の国際化」推進プログラム	
	ファイヤーネット（f-net）開始	ファイヤーネット（f-net）2年目	ファイヤーネット（f-net）3年目	ファイヤーネット（f-net）4年目	ファイヤーネット（f-net）5年目
内報「JC　NAGANO」38年目	内報「JC　NAGANO」39年目	内報「JC　NAGANO」40年目	内報「JC　NAGANO」41年目	内報「JC　NAGANO」42年目	内報「JC　NAGANO」43年目
		クラブ制発足		定例郵送のEメール化・FAX転送	
				info-jzスタート	info-jzをnaganojc に改称2年目
				クラブ制・例会答申	
コミュニティながの25年目	コミュニティながの26年目	コミュニティながの27年目	コミュニティながの200号	まちづくり電子会議「ながのCOMNET」	「ながのCOMNET」2年目
FMぜんこうじ「JCフォーラム」開始	「JCフォーラム」2年目	「JCフォーラム」3年目	「JCフォーラム」4年目	「JCフォーラム」5年目	「JCフォーラム」6年目
まちづくり機関誌あもえにたす発刊	長野JC　WEBサイト開設	WEBサイト2年目	WEBサイト3年目	WEBサイト4年目	WEBサイト5年目
		長期計画ヒヤリングJCの根っこ探求		プレスリリースマニュアル作成	定款・細則・諸規則検討報告書
					未来ビジョン戦略JCIコンベンション検討
日本JC褒賞委員会提言により		JCI世界会議		日本JC（地区）褒賞エントリー	
自由部門廃止		最重点テーマ賞／サブテーマ賞		JCI世界会議子供たちの未来賞エントリー	
		第1位受賞			
全国大会準備実行委員会	第45回全国会員大会		JCI　APDC財政顧問　鷲澤幸一	日本JC会務担当常任理事	JCI　APDC評議員　鷲澤幸一
大会式典にてPR、大会の鍵伝授	長野大会主管、副主管75LOM			（グローバルネットワーク室）	日本JC副会頭　土屋龍一郎
長野ブロック協議会会長	大会スローガン「君の心と語りたい」			土屋龍一郎	鷲澤幸一JCI副会頭当選
宇都宮健雄				ASPAC・JCI世界会議ブース出展	ASPAC・JCI世界会議ブース出展

年　度	2001 ／ 平成13年	2002 ／ 平成14年	2003 ／ 平成15年	2004 ／ 平成16年	2005 ／ 平成17年	2006 ／ 平成18年
期　間	2001年1月1日～12月31日	2002年1月1日～12月31日	2003年1月1日～12月31日	2004年1月1日～12月31日	2005年1月1日～12月31日	2006年1月1日～12月31日
理事長	若麻績享則	飯島　泰臣	若林　健太	倉石　和明	千野　貴文	倉田　　浩
スローガン	邂逅創起 ～共に歩もう新世紀の旅路～	そう、それが「たしかなかたち」 高い風を起こそう、 愛しいこのまちに	今、この瞬間!新NAGANO創生 ーその先の半世紀へ、 いざ、扉を拓かんー	動かせ!長野 示せ!存在の証 ～創始への共感と創造への決意～	個性を結う 個人と公共性が織りなす 瑞々しい社会を目指して	「思い」の構築 ～出会い語ろう、 たくさんの気づきを求めて～
組織・運営	定款・細則・基金運用規定	会員デジタルデータ管理・作成	創立50周年	シンボルマーク作成	基金運用規程・預託金規程ー部改正	預託金規定改正
	預託金規定全面改正				（8月18日施行）	（8月18日施行）
	（翌年1月1日改正）					
事　業	地方分権に関するアンケート	「構造改革」学習議論	地域主権考察	まつしろ遊食プロジェクト	「（仮称）夢ある未来都市計画」の提言	「新長野構築プログラム」の
	ふるさとシンポジウム	「構造改革」Jayceeの主張	（道州制・政令指定都市・	地方分権シンポジウムin松代	「長野市民の日創設実現に向けて」	制作・実施・報告書作成
	「21世紀のながののかたちを探る」	「構造改革」パネルディスカッション	市町村合併の基礎知識学習）	第3回スペシャルオリンピックス	の意見収集及び意見書提出	
	（須坂・南長野・科野JC合同）	たしかなかたちプロジェクト	市町村合併アンケート	日本冬季ナショナルゲーム・長野運営支援	スペシャルオリンピックス冬季世界大会の支援	スペシャルオリンピックス冬季世界大会メモリアル事業の支援
	地域共育シンポジウム	賑わいの核となるテナント設置	地域共育活動事例報告	共育プログラム調査・研究・実践	NPO法人まつしろ遊食プロジェクトへの支援	NPO法人まつしろ遊食プロジェクトへの支援
	「地域で共に育もう、子どもたちの未来」	長野TMO連動、起業家精神醸成	地域共育パネルディスカッション			
	長野市長選公開討論会	飲食店“鯖神楽”オープン	長野JC50周年未来ビジョン	「あなたが創る未来の事業」募集		「人間力開発支援プログラム」の調査・研究
	NPO協働に挑戦	出店ノウハウ集積公開	政策ビジョン・LOMビジョン	長野青年会議所「行動指針」		「コミュニケーション能力」の研究・開発
	青年ボランティア世界会議プレ大会	対談「福祉を考える」	50周年記念式典にて市長へ	「公約」作成及び発表		「リーダーシップ能力」の研究・開発
	in NAGANO長野地区運営主管	スペシャルオリンピックス	手渡す			人間力開発セミナー
	福祉ネットワーク支援	ドキュメント映画「エイブル」上映				「インターミディアリのあり方」作成
	上信越トライネット10年目	上信越トライネット11年目	上信越トライネット12年目	上信越トライネット13年目	上信越トライネット14年目　現役離脱	
	RINX4　6年目	RINX4　7年目（事務局）	RINX4　8年目	RINX4　9年目	RINX4　10年目　10周年を契機に	RINX4　11年目事務局信越地方連携
	ITS疑似体験ラリー開催	観光ITS体験事業開催（門前町）			今後の広域交流のあり方を検討	災害シンポジウムの開催及び報告書作成
	善光寺の世界遺産登録をすすめる会	善光寺の世界遺産登録をすすめる会	善光寺の世界遺産登録をすすめる会	善光寺の世界遺産登録をすすめる会	善光寺の世界遺産登録をすすめる会	善光寺の世界遺産登録をすすめる会
	事務局参加	事務局運営	事務局運営	事務局運営	事務局運営	事務局運営
	メモリュージョン・ナガノ2001	善光寺常夜灯	信州冬絵巻善光寺ゆめ常夜灯	第一回長野灯明まつり常夜灯、	第二回長野灯明まつり	第三回長野灯明まつり
	善光寺常夜灯設置		5色のライトアップ、ゆめ演奏会・屋台	ゆめ演奏会、ゆめ灯り絵展		
		オリンピックピース・ウォーク				
	長野オリンピック3周年	長野オリンピック4周年	長野オリンピック5周年	長野灯明まつり実行委員会	長野灯明まつり実行委員会	長野灯明まつり実行委員会
	記念イベント実行委員会	記念イベント実行委員会	記念イベント実行委員会			
	エコマネー研究	フードオリンピック				
	学ぼうTMOを	フードサミット				
	第31回長野びんずる	第32回長野びんずる	第33回長野びんずる	第34回長野びんずる	第35回長野びんずる	第36回長野びんずる
	観客席（ひな壇・平台・障害者）	オープンカフェ・観客席	観客席	観客席	長野大通り開放	全員で正調びんずるタイム
	Binzuru dance revolution 2001	Binzuru dance revolution 2002	Binzuru dance revolution 2003	Binzuru dance revolution 2004		
	“JC連”初参加	“JC連”2年目				
	コミュニティ基金27年目	コミュニティ基金28年目	コミュニティ基金29年目	コミュニティ基金30年目	コミュニティー基金31年目	コミュニティー基金32年目
	長野少年サッカースクール運営会議支援	長野少年サッカースクール運営会議支援	長野少年サッカースクール運営会議支援	長野サッカースクール運営会議支援	長野少年サッカースクール運営会議支援	長野少年サッカースクール運営会議支援
	「地域共育ネット」開設		城山共育ネットワーク会議7回		JCメンバーが身近な責任ある大人	JCメンバーが身近な責任ある大人
	共育プログラム　いっしょに創ろう		学校・家庭・地域が一緒に取り組む	体感しよう!ふるさと長野	として総合学習枠の中で先生を担当	として総合学習枠のなかで先生を担当
	「ぼくらの花火」「みんなの祭り」		ネットデイ（城山小学校）	共育プログラム	出張先生	出張先生
	信州青年洋上セミナー第28船支援	信州青年洋上セミナー中止、沖縄研修			信濃の国英語版CD作成	
	9月セミナー（HD）	9月セミナー（HD）		松代創志塾		
	新入会員ステップアップセミナー	新入会員ステップアップセミナー	新入会員ステップアップセミナー	新入会員ステップアップセミナー	新入会員セミナー	新入会員セミナー
	新入会員研修セミナー	新入会員研修セミナー	新入会員セミナー	新入会員セミナー	ビジネスセミナー・経営品質セミナー	「経営品質向上プログラム」の調査・研究
	ビジネス研修5月セミナー	地域デジタルコンテンツ上映事業	ビジネスセミナー2回	ビジネスセミナー3回	経営品質勉強会(2回)	公開委員会4回ベンチマーキング3回
	「Biz-net」3年目メーリングリスト化	「Biz-net」4年目	「Biz-net」5年目	「Biz-net」6年目	「Biz一net」7年目　廃止	
	長野経済に関する報告書					
	台中JC友好JC33年目	台中JC友好JC34年目	台中JC友好JC35年目	台中JC友好JC36年目	台中JC友好JC37年目	台中JC友好JC38年目
	PIBUNSミーティング		国際アカデミーNAGANOプログラム			
	ソウル江北JC姉妹JC23年目	ソウル江北JC姉妹JC24年目	ソウル江北JC姉妹JC25年目	ソウル江北JC姉妹JC26年目	ソウル江北JC姉妹JC27年目	ソウル江北JC姉妹JC28年目
	アイドゥルミッション受入	アイドゥルミッション訪韓	アイドゥルミッション受入	アイドゥルミッション訪韓	アイドゥルミッション受入	アイドゥルミッション訪韓
			50周年記念式典・祝賀会			
	会員交流「家族deいちご一会」		日本JC物故者慰霊大法要			
			OB訪問「情熱の軌跡を訪ねて」			OB訪問
	ファイヤーネット（f-net）6年目	ファイヤーネット（f-net）7年目	ファイヤーネット（f-net）8年目	ファイヤーネット（f-net）9年目	ファイヤーネット（f-net）10年目	ファイヤーネット（f-net）11年目
	内報「JC　NAGANO」44年目	内報「NJCまぐまぐ」45年目	内報「絆」46年目	内報「NJC News」47年目	内報「NAHOO!NAGANO」48年目	内報『「思いの」構築』49年目
	PDF形式ダウンロード	HTML配信	HTML配信	HTML配信	HTML配信	（ダウンロード方式）
	naganojc3年目	naganojc4年目	naganojc5年目	naganojc6年目	naganojc7年目	naganojc8年目
	g-station開始	g-station2年目	g-station3年目	g-station4年目	g-station5年目	g-station6年目
	「ながのCOMNET」3年目	「ながのCOMNET」4年目	「ながのCOMNET」5年目	「ながのCOMNET」6年目	「ながのCOMNET」7年目　廃止	
	「JCフォーラム」7年目	「JCフォーラム」8年目	「JCフォーラム」9年目	「JCフォーラム」10年目	「JCフォーラム」11年目	「JCフォーラム」12年目
	WEBサイト6年目	WEBサイト7年目	WEBサイト8年目	WEBサイト9年目	WEBサイト10年目	WEBサイト11年目
	定款・細則改定準備及び策定				調査検証システム実施	
	50周年事業調査研究					
褒　賞	日本JC人間力大賞TOYP			2004年度	JCI ASPACマカオ大会褒賞4部門申請	
	エントリー（宮部行範氏）			国際青年会議所（JCI）褒賞申請	JCI 世界会議ウィーン大会褒賞5部門申請	
					日本JC褒賞7部門申請	
					第54回全国会員大会 姫路大会 広報部門　優秀賞	
各種大会主管、主要出向者支援	JCI副会頭　鷲澤幸一	JCI会頭特別補佐　鷲澤幸一	JCI財政顧問　鷲澤幸一	JCI長期戦略委員会 議長 鷲澤幸一	JCI常任副会頭　鷲澤幸一	日本JC監事　倉石和明
	日本JC会頭　土屋龍一郎	日本JC直前会頭　土屋龍一郎	第16回国際アカデミー主管	長野ブロック協議会 会長 若林健太	日本JCグローバルモラリティ推進会議議長　倉石和明	日本JC近隣諸国友好関係構築委員会委員長 高澤曜宏
			第52回全国会員大会　福井大会副主管			ASPAC・JCI世界会議ブース出展
	ASPAC・JCI世界会議ブース出展	ASPAC・JCI世界会議ブース出展	ASPAC・JCI世界会議ブース出展	ASPAC・JCI世界会議ブース出展	ASPAC・JCI世界会議ブース出展	ASPAC誘致実行委員会発足 2009年ASPAC国内BID権獲得

2007 ／ 平成19年	2008 ／ 平成20年	2009 ／ 平成21年	2010 ／ 平成22年	2011 ／ 平成23年	2012 ／ 平成24年
2007年1月1日～12月31日	2008年1月1日～12月31日	2009年1月1日～12月31日	2010年1月1日～12月31日	2011年1月1日～12月31日	2012年1月1日～12月31日
鈴木　隆治	高澤　曜宏	五明　久昇	山本　　修	加藤　恵美子	植木　宏一
It's my Opportunity! 機会を貪欲に求めよう そして真摯に取り組もう	利他一心 思いやりの心を結集し 壮大な夢を実現しよう	Take The Lead! おもいやりと魅力・活力 溢れる未来を目指して	自他敬愛 ～まち・人・自分を愛し大切にする 社会の実現に向けて～	Pride & Heart ～自ら率先して行動し、 笑顔と活気溢れる長野にしよう！～	長野魂伝承 ～我ら未来への懸け橋となられん～
	創立55周年	2009JCI-ASPAC長野大会実行委員会	BBBながのプロジェクト 実行委員会	災害対策本部	2012年12月25日 公益社団法人へ移行
	2009JCI-ASPAC長野大会実行委員会設立	ASPAC開催記念基金設立			
	ASPAC準備に伴う「社団法人設立記念基金」取崩し	社団法人長野青年会議所基金運用規定改正			
	会費未納者対応に伴う定款及び細則改正				
長野市における 「都市内分権」調査 道州制について研修	公益法人制度セミナー	衆議院選挙・長野市長選挙 公開討論会	たしかなかたちプロジェクト・ 2ndステージ ながのB級グルメコンテスト	長野市民討議会 長野しぐさ たから市・たからマップ 公益社団法人移行セミナー 公益社団法人制度対応セミナー	長野市民討議会 市民パートナーシップ交流会（CPS） 長野国際フェスタ 市民連携フォーラム
	思いやりフォーラム開催	環境セミナー		環境セミナー	長野市との災害協定締結
			中山間地の休耕田を利用した 農業体験プログラム「信州里山塾」	信州里山塾　第2期	信州里山塾　第3期
リーダーシップ研修プログラム 研修会（創志塾）開催	人間力開発セミナー	リーダーシップセミナーⅠ、Ⅱ	とっておきのアイディアを語ろう! 2010オープン会議		
	55周年記念誌「刻（とき）」発行	「ディベート」セミナー			
		The ワークショップ「みんなで考えよう 協働のイロハ」			
RINX-4　12年目	RINX-4　13年目	RINX-4　14年目 広域連携フォーラム	RINX-4　15年目 15周年記念式典	RINX-4　16年目 広域交流フォーラム	RINX-4　17年目
善光寺の世界遺産登録をすすめる会 事務局運営	善光寺の世界遺産登録をすすめる会 事務局運営	善光寺の世界遺産登録を進める 会事務局運営	善光寺の世界遺産登録をすすめ る会事務局運営	善光寺の世界遺産登録を すすめる会　事務局運営	善光寺の世界遺産登録をすすめる会 事務局運営
第4回長野灯明まつり	長野オリンピック10周年記念　第5回長野灯明まつり	第6回 長野灯明まつり	第7回長野灯明まつり	第8回長野灯明まつり	第9回長野灯明まつり
長野灯明まつり実行委員会	長野灯明まつり実行委員会	長野灯明まつり実行委員会	長野灯明まつり実行委員会	長野灯明まつり実行委員会	長野灯明まつり実行委員会 ながの祇園祭　御祭礼屋台巡行実行委員会支援
第37回長野びんずる 全員で正調びんずるタイム びんずる総踊り 受賞連演舞披露	第38回長野びんずる 少人数参加連の受け入れ 全員で正調びんずるタイム びんずる総踊り	第39回長野びんずる ゆるキャラ「れん君」登場 全員で正調びんずるタイム びんずる総踊り	第40回長野びんずる 国道406号線の通行止め 連の進行を一方通行に変更 GPSによる連の進行管理	第41回長野びんずる	第42回長野びんずる 常設スピーカーの刷新
コミュニティー基金33年目	コミュニティー基金34年目	コミュニティー基金35年目	コミュニティー基金36年目	コミュニティー基金廃止	
長野少年サッカースクール運営会議支援	長野少年サッカースクール運営会議支援	長野少年サッカースクール運営会議支援 設立40周年記念事業の支援	長野少年サッカースクール 運営会議支援	長野少年サッカースクール 運営会議支援	長野少年サッカースクール 運営会議支援
JCメンバーが身近な責任ある大人として総合学習枠の中で先生を担当 出張先生通常版（国内） 出張先生特別版（海外）	JCメンバーが身近な責任ある大人として総合学習枠の中で先生を担当 出張先生（通常版） 地域の大人を講師として迎え、思いやりの心を考える 出張先生～みんなの思いやり～ 11月公開例会「町ぐるみ共育～一人ひとりが出来ること～」	JCメンバーが身近な責任ある大人として総合学習枠の中で先生を担当 出張先生通常版 共育シンポジウム	JCメンバーが身近な責任ある大人として 総合学習枠の中で先生を担当 出張先生通常版	JCメンバーが身近な責任ある大人として 総合学習枠の中で先生を担当 出張先生	出張先生 防災先生
Jayceeオリエンテーションプログラム 新入会員セミナー ビジネスセミナー ビジネスネットワーク構築 経営品質プログラム	Jayceeオリエンテーションプログラム 新入会員セミナー ステップアップセミナー フォローアップセミナー	Jayceeオリエンテーションプログラム 新入会員セミナー フォローアップミーティング ステップアップセミナー 起業家マインドセミナー CSR公開セミナー	新入会員セミナー ステップアップセミナー フォローアップセミナー スキルアップセミナー	新入会員セミナー ステップアップセミナー フォローアップセミナー 経営道場　ビジ活。	新入会員セミナー ステップアップセミナー フォローアップセミナー
台中JC友好39年目	台中JC友好40年目	台中JC友好41年目	台中JC友好42年目	台中JC友好43年目	台中JC友好44年目
ソウル江北JC姉妹JC29年目 アイドゥルミッション受入	ソウル江北JC姉妹JC30年目 アイドゥルミッション訪韓	ソウル江北JC姉妹JC31年目 アイドゥルミッション受入	ソウル江北JC姉妹JC32年目 アイドゥルミッション訪韓	ソウル江北JC姉妹JC33年目	ソウル江北JC姉妹JC34年目 アイドゥルミッション訪韓
ASPACジャパンナイトステージアトラクション セネターゴルフ設営協力 ASPACVIPランチョン運営 地区69LOMへASPAC　PR活動	ASPACジャパンナイトステージアトラクション セネターゴルフ設営協力 ASPAC VIPランチョン運営 地区69LOMへASPAC PR活動 10地区協議会へASPAC　PR活動	セネターゴルフ運営協力 ASPAC記念事業運営	セネターゴルフ運営協力 ASPAC長野大会 記念植樹式		
ファイヤーネット（f-net）12年目	ファイヤーネット（f-net）13年目	ファイヤーネット（f-net）14年目	ファイヤーネット（f-net）15年目	ファイヤーネット（f-net）16年目	ファイヤーネット（f-net）17年目
「事業速報」開始 （HTML方式）	「事業速報」2年目	「事業速報」3年目	「事業速報」4年目	「事業速報」5年目	「事業速報」6年目
NJC9年目	NJC10年目	NJC11年目	naganojc12年目	naganojc13年目	naganojc14年目
g-station7年目	g-station8年目	g-station9年目	g-station10年目	g-station11年目	g-station12年目
事業検証システム構築	事業検証システム2年目	事業検証システム3年目	事業検証システム4年目	事業検証システム5年目	事業検証システム6年目
WEBサイト12年目	WEBサイト13年目	WEBサイト14年目	WEBサイト15年目	WEBサイト16年目	WEBサイト17年目 Facebook運用開始
		噂の! JCマガジン放送		基金運用規定改正 公益法人格移行に伴う定款・規程案策定	公益社団法人移行に伴う細則廃止 及び各種規程作成
JCI ASPACチェンリー大会グループ3最優秀地域開発プログラム賞受賞	2008JCI-ASPAC釜山大会褒賞3部門申請・最優秀LOM賞受賞	日本JC人間力大賞申請	ASPACシンガポール大会アワード2部門申請	ASPACマニラ大会　アワード3部門申請 日本JC全国会員大会名古屋大会　褒賞9部門申請 JCI　世界会議ブリュッセル大会　褒賞2部門申請	ASPAC香港大会褒賞　3部門褒章申請 日本JC全国会員大会北九州大会　4部門褒章申請 JCI　世界会議台北大会 2部門褒章申請
人間力大賞準グランプリ受賞	日本JC全国会員大会浜松大会褒賞3部門申請		長野ブロック 佐久大会アワード2部門申請 まちづくり部門　最優秀賞		
日本JC褒賞3部門申請／教育・青少年関係推進部門優秀賞受賞	JCI世界会議ニューデリー大会褒賞1部門申請		全国大会箱根・小田原大会2部門申請 会員開発開拓部門　優秀賞		
JCI世界会議アンタリヤ大会褒賞4部門申請			JCI世界会議大阪大会褒章2部門申請		
日本JCOMOIYARI運動推進会議議長　五明久昇	JCI　APDCカウンシラー　五明久昇	2009JCI-ASPAC長野大会主管	JCIグローバルパートナーシップサミット議長 五明久昇 JCI APDCカウンシラー 土屋陽平 日本JC 監事 五明久昇 日本JC OMOIYARI運動確立会議議長 増田裕一郎	JCI　APDCカウンシラー　土屋陽平 日本JCグローバルファシリテーション委員会委員長　大日方哲也	JCI会頭特別補佐スポンサーシップ担当 大日方哲也
JCI　APDCカウンシラー　宮内隆太		大会スローガン 「和～Making Smiles, Cherishing Harmony～」			
ASPAC、サマコン、全国会員大会ブース出展 ASPAC誘致準備実行委員会に改称 2009年ASPAC国際BID権獲得	ASPAC釜山大会、サマコン、北陸信越地区フォーラム、JCI世界会議ブース出展	サマコン、北陸信越地区フォーラム、ブロック会員大会、JCI世界会議ブース出展	ASPAC、JCI世界会議ブース出展	ASPAC、北陸信越地区フォーラム、JCI世界会議ブース出展	ASPAC、全国大会、ブロック会員大会、JCI世界会議ブース出展

年　度	2013 ／ 平成25年	2014 ／ 平成26年	2015 ／ 平成27年	2016 ／ 平成28年	2017 ／ 平成29年	2018 ／ 平成30年
期　間	2013年1月1日～12月31日	2014年1月1日～12月31日	2015年1月1日～12月31日	2016年1月1日～12月31日	2017年1月1日～12月31日	2018年1月1日～12月31日
理事長	土屋　陽平	宮岡　謙介	和田　貴幸	中島　政宏	野村　和正	中沢　　匠
スローガン	創 地域の未来を子どもたちのために	「ONE　Direction ～ともに踏み出そう 未来に向けた新たな一歩～」	熱き青への挑戦	「磨く」 自らがまちの希望となれ	「夢」無限大 ～希望あふれる未来へ向けて～	結 ～未来への懸け橋となれ～
組織・運営	創立60周年					創立65周年
事　業	市民パートナーシップ交流会（CPS） 長野市との災害協定締結	ながのJCフェスタ	・移職住フェア	長野市 移職住フェア IN TOKYO ～Nターンのすすめ～ Take action! ～市民が創る地方創生～	NAGANO EXPO 2017	NAGANO EXPO 2018
	信州里山塾　第4期	中山間地域活性化事業 ヤングブルー村	中山間地域活性化事業 ヤングブルー村2年目	中山間地域活性化事業 ヤングブルー村3年目	中山間地域活性化事業 ヤングブルー村4年目	中山間地域活性化事業 ヤングブルー村5年目
		郷土醸成プロジェクト ながのまちシェルジュ	「御開帳参画事業」 ・「もんぜん」フェスタ ・信州三大市民祭り	「御開帳参画事業」 ・「もんぜん」フェスタ ・移職住フェア ・信州三大市民祭り 若者まちづくりカフェ ～長野の未来が今動き出す～	ビジネス討論会	移住・定住討論会 ビジネス討論会
	RINX-4　18年目	RINX-4　19年目	RINX-4　20年目	RINX-4　21年目	RINX-4　22年目	RINX-4　23年目
	善光寺の世界遺産登録をすすめる会 事務局運営	善光寺の世界遺産登録をすすめる会 事務局運営	善光寺の世界遺産登録をすすめる会 事務局運営	善光寺の世界遺産登録をすすめる会 事務局運営	善光寺の世界遺産登録をすすめる会 事務局運営	善光寺の世界遺産登録をすすめる会 事務局運営
	第10回長野灯明まつり	第11回長野灯明まつり	第12回長野灯明まつり	第13回長野灯明まつり	第14回長野灯明まつり	第15回長野灯明まつり
			長野国際フェスタ	長野国際フェスタ	国際関係諸団体との連携事業	
	長野灯明まつり実行委員会 ながの祇園祭　御祭礼屋台巡行実行委員会支援	ながの祇園祭 御祭礼屋台巡行実行委員会支援	ながの祇園祭 御祭礼屋台巡行実行委員会支援	ながの祇園祭 御祭礼屋台巡行実行委員会支援	ながの祇園祭 御祭礼屋台巡行実行委員会支援	ながの祇園祭 御祭礼屋台巡行実行委員会支援
				子育てセミナー「生きる力」		
	第43回長野びんずる	第44回長野びんずる	第45回長野びんずる	第46回長野びんずる 常設スピーカーの刷新 紙媒体を利用した広報の社会実験 「J-Times」発行	第47回長野びんずる	第48回長野びんずる
	長野少年・少女サッカースクール 運営会議支援	長野少年・少女サッカースクール 運営会議支援	長野少年・少女サッカースクール 運営会議支援	長野少年・少女サッカースクール 運営会議支援	長野少年・少女サッカースクール 運営会議支援	長野少年・少女サッカースクール 運営会議支援
	出張先生	ながの未来力育成塾 出張先生	出張先生 あるあるドリル	出張先生 あるあるドリル	親に対する子育てセミナー 青少年育成事業体験プログラム	未来リーダーズサミット
				親子の学舎～本気でチャレンジ～		
	新入会員セミナー ステップアップセミナー フォローアップセミナー	新入会員セミナー 準会員セミナー 会員開発セミナー	新入会員セミナー ステップアップセミナー フォローアップセミナー	新入会員セミナー ステップアップセミナー フォローアップセミナー	新入会員セミナー ステップアップセミナー フォローアップセミナー	新入会員セミナー ステップアップセミナー フォローアップセミナー
				会員資質向上・リーダー育成セミナー	副委員長セミナー	副委員長セミナー
	台中JC友好45年目	台中JC友好46年目	台中JC友好47年目	台中JC友好48年目	台中JC友好49年目	台中JC友好50年目
				JCI JAPAN 2016少年少女国連大使		
	ソウル江北JC姉妹JC35年目 アイドゥルミッション受入	ソウル江北JC姉妹JC36年目 アイドゥルミッション訪韓	ソウル江北JC姉妹JC37年目 アイドゥルミッション受入	ソウル江北JC姉妹JC38年目 アイドゥルミッション訪韓	ソウル江北JC姉妹JC39年目 アイドゥルミッション受入	ソウル江北JC姉妹JC40年目 アイドゥルミッション受入
	ファイヤーネット（f-net）18年目	ファイヤーネット（f-net）19年目	ファイヤーネット（f-net）20年目	ファイヤーネット（f-net）21年目	ファイヤーネット（f-net）22年目	ファイヤーネット（f-net）23年目
	「事業速報」7年目	「事業速報」8年目	「事業速報」9年目	「事業速報」10年目	「事業速報」11年目	「事業速報」12年目
	naganojc 15年目	naganojc 16年目	naganojc 17年目	naganojc 18年目	naganojc 19年目	naganojc 20年目
	g-station 13年目	g-station 14年目	g-station 15年目	g-station 16年目	g-station 17年目	g-station 18年目
	事業検証システム7年目	事業検証システム8年目	事業検証システム9年目	事業検証システム10年目	事業検証システム11年目	事業検証システム12年目
	WEBサイト18年目 Facebook運用2年目	WEBサイト19年目 Facebook運用3年目	WEBサイト20年目 Facebook運用4年目	WEBサイト21年目 Facebook運用5年目	WEBサイト22年目 Facebook運用6年目	WEBサイト23年目 Facebook運用7年目
褒　賞	ASPAC広州大会　　2件申請 全国大会　奈良大会　5件申請 リオデジャネイロ世界会議　2件申請	ASPAC山形　　2件 全国大会松山大会　2件	ASPACコタキナバル大会　2件 全国大会八戸大会　　2件 世界会議金沢大会　　4件	ASPAC高雄大会　2件 全国大会広島大会　4件 ケベック世界会議　2件	ASPACウランバートル大会　2件 全国大会埼玉中央大会　2件 （企業賞受賞） アムステルダム世界会議　2件	ASPAC鹿児島大会　2件 全国大会宮崎大会　2件 ゴア世界大会　　2件
各種大会 主管、主要 出向者支援	APDC財政顧問　井上 博登	APDC財政顧問　井上 博登	JCI世界会議金沢大会（副主幹）、 JCI-ASPACコタキナバル大会、 全国大会東北八戸大会ブース出展	ASPAC高雄大会、 ケベック世界会議　ブース出展	ASPACウランバートル大会 全国大会埼玉中央大会　ブース出展	ゴア世界会議 ASPAC鹿児島大会、 全国大会宮崎大会　ブース出展 RINX-4　ブース出展
	ASPAC、全国大会、ブロック会員大会、JCI世界会議ブース出展	ASPAC山形　全国大会松山大会、 ブロック会員大会 JCI世界会議ブース出展				

2019 ／ 平成31年・令和元年	2020 ／ 令和 2 年	2021 ／ 令和 3 年	2022 ／ 令和 4 年	2023 ／ 令和 5 年	2024 ／ 令和 6 年	2025 ／ 令和 7 年
2019年 1 月 1 日～12月31日	2020年 1 月 1 日～12月31日	2021年 1 月 1 日～12月31日	2022年 1 月 1 日～12月31日	2023年 1 月 1 日～12月31日	2024年 1 月 1 日～12月31日	2025年 1 月 1 日～12月31日
――	伊藤　拓宗	百瀬　衛	中川　大三	加藤　昇平	有吉　隆	村田　雄介
躍動 一人ひとりが主役となり 新たな時代を切り拓く先駆けとなれ	革新 矜持を胸に 志高き開拓者となれ	挑越 能動者よ、 今ふたたび未来への起点となれ	PAY IT FORWARD 動け、 すべては未来のために	青瞬 ～想いを繋ぎ、未来を仕掛ける～	不易流行 ～誰かの為に、 新たな一歩を共に歩もう～	挑戦を未来の力に ～大志を抱き、 誰が為に挑み続ける～
オープン会議 「第72回全国大会主管立候補検討会」	オープン会議 「規程・規則変更及び遊休資産活用に関するオープン会議」	オープン会議 「灯明まつり存続に関するオープン会議」		創立70周年 「炎の法被」新デザイン制作		オープン会議 「長野市の政策提言に関するオープン会議」 定款一部改正（2026年1月1日施行） 会費額及び会費規程改正（2026年1月1日施行） 役員選出規程改正（12月13日施行）
「NAGANO CONFERENCE2019」 ～あなたの行動が持続可能な長野市をつくる～	「ONE NAGANO フェスタ 2020」 ～活気あふれる長野市SAIKOU！～	「NAGANO　EXPO2021」 ～長野ってすごい!～	長野みらい環境フェス～チャレンジ・ゼロカーボン!長野の四季を守ろう～	創立70周年記念式典及び祝賀会	まち・ひと・しごと共創プロジェクト	長野市長選挙　公開討論会 灯り絵を長野の文化にする事業 「あかりのまち　ながの灯り絵出張工房」
NAGANOデザイン会議			未来まちづくり事業「プロジェクトN」	ながのハロウィンフェスティバル		NAGANOこどもEXPO2025『未来をつくるキミへ～発見・挑戦・広がる世界～』
若者に対する政治啓発運動		政治啓発事業	アントレプレナーシップ育成事業「アントレプレナーシップで環境課題を解決しよう!」			「prologue」～長野びんずる、踊るしない!?～ 「未来づくりラボ～知ろう、語ろう、自分たちのまち～」 主権者教育・地域連携事業「NAGANO未来づくりプロジェクト」
RINX- 4　24年目	RINX- 4　25年目	RINX- 4　26年目	RINX- 4　27年目	RINX- 4　28年目		
善光寺の世界遺産登録をすすめる会事務局運営	善光寺の世界遺産登録をすすめる会事務局運営	善光寺の世界遺産登録をすすめる会事務局運営	善光寺の世界遺産登録をすすめる会事務局運営	善光寺の世界遺産登録をすすめる会事務局運営	善光寺の世界遺産登録をすすめる会事務局運営	善光寺の世界遺産登録をすすめる会事務局運営
第16回長野灯明まつり 長野市民平和の日のつどい オープン委員会「長野灯明まつりの未来について」	第17回長野灯明まつり	第18回長野灯明まつり	第19回長野灯明まつり　中止	第20回長野灯明まつり	第21回長野灯明まつり	第22回　長野灯明まつり 「TOUCH THE KOREA 2025」
ながの祇園祭 御祭礼屋台巡行実行委員会支援		ながの祇園祭 御祭礼屋台巡行実行委員会支援 中止	ながの祇園祭 御祭礼屋台巡行実行委員会支援 国際化活性事業「飲食店多言語化推進事業」	ながの祇園祭 御祭礼屋台巡行実行委員会支援 国際化活性事業「飲食店多言語化推進事業」	グローバルピース推進事業 「GP（グローバルピース）セミナー」	
第49回長野びんずる	第50回長野びんずる　中止	第51回長野びんずる　中止	第52回長野びんずる	第53回長野びんずる	第54回長野びんずる	第55回長野びんずる
長野少年・少女サッカースクール運営会議支援	長野少年・少女サッカースクール運営会議支援　中止	長野少年・少女サッカースクール運営会議支援　中止	長野少年・少女サッカースクール運営会議支援	長野少年・少女サッカースクール運営会議支援	長野少年・少女サッカースクール運営会議支援	長野少年・少女サッカースクール運営会議支援
共生事業 スポーツのちから～同じ土壌で～ 共生社会の実現を目指した勉強会 出張先生～政治啓発編～ 絆学習事業 おやこのためのおはなし会	乗り越えて行こう! JCI長野 ～苦楽を共にする仲間のために～ 献血協力による医療支援実施 子ども食堂支援 えきまえコロナ感染拡大予防プロジェクト まちなかコロナ感染拡大予防プロジェクト	青少年育成事業「ながのみらいラボ」 献血協力による医療支援実施 シトラスリボンプロジェクト 出張先生	社会人基礎力育成事業「魅力発見！シャキソ・クエストin長野」 献血協力による医療支援実施	子どもの居場所づくり応援プロジェクト～地域で広げる想いでつなぐ～	JCINAGANO PLAN80 ～Dream of Youthプロジェクト～	NAGANO JC PLAN 80～Dream of youth project～「NAGANO QUEST」 ～キミが発見する長野の魅力～
会員拡大会議 新入会員セミナー ステップアップセミナー フォローアップセミナー	副委員長セミナー 新JC宣言文セミナー 新入会員セミナー アップグレードセミナー	副委員長セミナー 会員資質向上セミナー 新入会員セミナー ステップアップセミナー アップグレードセミナー	会員資質向上セミナー 新入会員セミナー ステップアップセミナー アップグレードセミナー	新入会員セミナー	新入会員セミナー アップグレードセミナー	副委員長セミナー 新入会員セミナー アップグレードセミナー
広報勉強会 SDGsセミナー 知的サロン ～激論、全国大会～ 共生社会の実現を目指した勉強会	居酒屋の青春　語ろう!全国大会 おうちで青春!　全国大会招致に向けて	居酒屋の青春 LGBTQ交流会 法人格セミナー 長野の隠れた魅力発掘・発信事業	広報勉強会 居酒屋の青春	広報勉強会 居酒屋の青春	広報勉強会 居酒屋の青春	広報勉強会 居酒屋の青春
台中JC友好51年目	台中JC友好52年目	台中JC友好53年目	台中JC友好54年目	台中JC友好55年目	台中JC友好56年目	台中JC友好57年目
ソウル江北JC姉妹JC41年目 アイドゥルミッション受入	ソウル江北JC姉妹JC42年目	ソウル江北JC姉妹JC43年目	ソウル江北JC姉妹JC44年目	ソウル江北JC姉妹JC45年目 アイドゥルミッション訪韓	ソウル江北姉妹JC46年目 アイドゥルミッション	ソウル江北JC姉妹JC47年目 アイドゥルミッション訪韓
ファイヤーネット(f-net)24年目 廃止						
「事業速報」13年目 「BOX」の運用開始 1 年目 記者会見開催 広報誌「躍動」配布	「事業速報」14年目 「BOX」の運用開始 2 年目	「事業速報」15年目 「BOX」の運用開始 3 年目	「事業速報」16年目 「BOX」の運用開始 4 年目	「事業速報」17年目 「BOX」の運用開始 5 年目	「事業速報」18年目 「BOX」の運用開始 6 年目	「事業速報」19年目 「BOX」の運用開始 7 年目
naganojc 21年目	naganojc 22年目	naganojc 23年目	naganojc 24年目	naganojc 25年目	naganojc 26年目	
g-station 19年目	g-station 20年目	g-station 21年目	g-station 22年目	g-station 23年目	g-station 24年目	g-station 25年目
事業検証システム13年目	事業検証システム14年目	事業検証システム15年目	事業検証システム16年目	事業検証システム17年目	事業検証システム18年目	事業検証システム19年目
WEBサイト24年目 Facebook運用 8 年目	WEBサイト25年目 Facebook運用 9 年目	WEBサイト26年目 Facebook運用10年目	WEBサイト27年目 Facebook運用11年目	WEBサイト28年目 Facebook運用12年目	WEBサイト29年目 Facebook運用13年目	WEBサイト30年目　Facebook運用14年目
		Instagram運用 1 年目	Instagram運用 2 年目、Twitter運用再開	Instagram運用 3 年目、Twitter運用再開 2 年目	Instagram運用4年目、X（旧Twitter）運用再開3年目、TikTok運用開始1年目	Instagram運用5年目、X運用再開4年目
JCI　ASPAC韓国済州大会 JCI　世界会議エストニアタリン大会 「最優秀LOM　個人能力開発プログラム」エントリー 「最優秀LOM　長期型地域社会開発プログラム」エントリー AWARDS　JAPAN2019 「優秀LOM長期型地域社会開発プログラム」優秀賞	JCI　ASPAC　カンボジア大会 世界会議と同様に 3 部門申請 JCI　世界会議横浜大会 「最優秀LOM持続可能な開発目標プロジェクト」エントリー 「最優秀LOM経済開発プログラム」エントリー 「最優秀LOM地域社会向上プログラム」最優秀賞 「最優秀LOM事業」最優秀賞 AWARDS　JAPAN2020 「みんなのNIPPON共生社会プロジェクト褒賞」受賞	JCI　ASPAC台中大会 JCI　世界会議ヨハネスブルグ大会 エントリーなし AWARDS　JAPAN2021 「最優秀LOM個人能力開発プロジェクト」優秀賞 「最優秀新型コロナウイルス対応実践プロジェクト」エントリー 「最優秀LOM地域社会向上プロジェクト」エントリー	JCI　ASPAC堺高石大会 JCI　世界会議香港大会 「最優秀LOM個人開発プロジェクト」エントリー 「最優秀LOM地域社会向上プロジェクト」エントリー AWARDS　JAPAN2022 「最優秀LOM起業家精神プログラム」エントリー 「最優秀LOM地域社会向上プロジェクト」エントリー	JCI　ASPACジャカルタ大会 JCI　世界会議チューリッヒ大会 「最優秀LOM地域社会向上プログラム」エントリー 「最優秀LOM起業家精神プログラム」エントリー AWARDS　JAPAN2023 「最優秀LOM地域社会向上プログラム」エントリー	JCI　ASPACアンコールカンボジア大会 JCI　世界会議台湾桃園大会 「最優秀LOM地域社会向上プログラム」エントリー AWARDS JAPAN 2024 「最優秀LOM個人能力開発プログラム賞」エントリー 「BEST アドベンチャーツーリズム賞」エントリー 「最優秀LOM地域社会向上プログラム賞」エントリー	JCI　ASPACウランバートル大会 JCI　世界会議チュニス大会 エントリーなし AWARDS　JAPAN2025 「最優秀 LOM 拡大開発プログラム賞」エントリー 「最優秀 LOM 国際協力プログラム賞」エントリー 「最優秀組織改革プロジェクト賞」エントリー
ASPAC済州大会、 全国大会富山大会　ブース出展		ASPAC台中大会　ブース出展	世界会議香港大会　ブース出展	JCI　ASPACジャカルタ大会 ブース出展 JCI　世界会議チューリッヒ大会 ブース出展	JCI　ASPACカンボジア大会 ブース出展	JCI　ASPACウランバートル大会 ブース出展 JCI　世界会議チュニス大会 ブース出展

年	1953（初代）	1954（2代）	1955（3代）	1956（4代）	1957（5代）
理事長	加藤邦太郎	中沢　敬	山本　昌平	滝沢　治助	柳沢　一郎
副理事長	副理事長／鷲澤　平六 副理事長／塚田　和男	副理事長／笠原　隆一 副理事長／井田　義幸	副理事長／中村　義平 副理事長／徳永　勝	副理事長／柳沢　一郎 副理事長／宮島　正豊	副理事長／中野　善孝 副理事長／小笠原武一
監事	監　事／宮島　正豊 監　事／中沢　敬	監　事／山田　国衛 監　事／滝沢　治助	監　事／佐藤　次朗	監　事／鷲沢　勇蔵 監　事／藤井　裕	監　事／滝沢善五郎 監　事／仁科　道人
組織名および役職者名	常　理／山本　昌平 常　理／井田　義幸 常　理／西沢　達雄 常　理／笠原　隆一 常　理／小笠原武一 理　事／山田　国衛 理　事／中野　善孝 理　事／長沢　勝 理　事／柳沢　一郎 理　事／宇都宮　元	企画委員会／笠原　隆一 運営委員会／井田　義幸 理　事／塚田　和男 理　事／山本　昌平 理　事／長沢　勝 理　事／徳永　真一 理　事／渡辺宗四郎 理　事／西沢　達雄 理　事／柳沢　一郎 理　事／中村　義平 理　事／塚田　俊之 理　事／池田　竜雄	第一部会（工業）／井田　義幸 第二部会（商業）／伊東　広文 第三部会／理事　全員 理　事／丸田　安栄 理　事／小林　栄一 理　事／藤井　基成 理　事／古平　可肖 理　事／小林　俊明 理　事／品川　正志 理　事／宮島　正豊 理　事／清水　保雄 理　事／菅原　保治 理　事／中沢　孝治	工業部会／山下　喜三 商業部会／佐藤　次朗 ＰＲ部会／山田吉之助 文化部会／丸田　安栄 理　事／佐藤　次朗 理　事／山本　喜三 理　事／山田吉之助 理　事／丸田　安栄 理　事／中島　良夫 理　事／中野　善行 理　事／星野　堯 理　事／山本真一郎 理　事／高橋　寛 理　事／伊東　広文	トレーニング委員会／山本　喜三 サービス委員会／木村　恕 親睦委員会／丸田　安栄 工業委員会／藤井　裕 商業委員会／西沢　達雄 理　事／西沢　達雄 理　事／丸田　安栄 理　事／山本　喜三 理　事／木村　恕 理　事／笠井　幾造 理　事／竹内　茂雄 理　事／伊東　広文 理　事／池田　竜雄 理　事／藤井　裕 理　事／太田　久夫

年	1958（6代）1月～6月	1959（6代）7月～12月	1960（7代）	1961（8代）	1962（9代）
理事長	井田　義幸	井田　義幸	徳永　勝	中村義平	塚田　和男
副理事長	副理事長／山本真一郎 副理事長／藤井　裕	副理事長／山本真一郎 副理事長／藤井　裕	副理事長／丸田　嘉雄 副理事長／中島　嘉雄 副理事長／近山與士郎	副理事長／山本　喜三 副理事長／木村　恕 副理事長／竹内　茂雄	副理事長／依田佳主朗 副理事長／北野　吉造 副理事長／小野　正孝
監事	監　事／小野　常三 監　事／山崎　登	監　事／小野　常三 監　事／山崎　登	監　事／袖山　清 監　事／丸山　久夫	監　事／太田　久夫 監　事／近山與四郎	監　事／藤沢　良一 監　事／河原　悠二
組織名および役職者名	トレーニング委員会／滝沢善五郎 サービス委員会／竹内　茂雄 フレンドシップ委員会／木村　恕 広報委員会／山本真一郎 理　事／木村　恕 理　事／山崎　登 理　事／竹内　茂雄 理　事／丸田　嘉雄 理　事／滝沢善五郎 理　事／仁科　道人 理　事／小笠原武一 理　事／中島　良夫 理　事／塚田　武司 理　事／近山與士郎 理　事／中沢　孝治 理　事／井合　貞雄	トレーニング委員会／滝沢善五郎 サービス委員会／竹内　茂雄 フレンドシップ委員会／木村　恕 広報委員会／山本真一郎 理　事／木村　恕 理　事／山崎　登 理　事／竹内　茂雄 理　事／丸田　嘉雄 理　事／滝沢善五郎 理　事／仁科　道人 理　事／小笠原武一 理　事／中島　良夫 理　事／塚田　武司 理　事／近山與士郎 理　事／中沢　孝治 理　事／井合　貞雄	広報委員会／依田　和雄 総務委員会／菅原　保治 社会福祉委員会／長谷川秀治 青少年問題委員会／神津　昭平 特設委員会／松橋　昭生 婦人スクール委員会／笠井　邦夫 フレンドシップ委員会／加藤竹治郎 財務委員会／袖山　清 経済活動委員会／北村　修一 文化活動委員会／牧野亮太郎	広報委員会／池田　竜雄 サービス委員会／中野　善孝 フレンドシップ委員会／山崎　登 トレーニング委員会／山本真一郎 会計監査／太田　久夫 理　事／小野　正孝 理　事／中野　善孝 理　事／北野　吉造 理　事／中島　靖夫 理　事／鈴木　忠雄 理　事／山本真一郎 理　事／小笠原武一 理　事／塩沢　荘吉 理　事／山崎　登 理　事／井田　雅雄 理　事／袖山　清 理　事／池田　竜雄 理　事／依田佳主朗 理　事／内山與四郎 理　事／太田　久夫	広報委員会／松橋　昭生 会員委員会／中島　靖夫 奉仕委員会／井合　貞雄 修練委員会／笠井　邦夫 理　事／笠井　邦夫 理　事／田中　保 理　事／菅原　保治 理　事／中島　靖夫 理　事／長谷川秀治 理　事／塚田　佐 理　事／井合　貞雄 理　事／鹿熊　肇 理　事／久保田　甫 理　事／鈴木　俊貞 理　事／松橋　昭生 理　事／袖山　清 理　事／池田　謙造

年	1963（10代）	1964（11代）	1965（12代）	1966（13代）	1967（14代）
理事長	木村　恕	小笠原武一	山本真一郎	北野　幾造	小野　正孝
副理事長	副理事長／山崎　登 副理事長／松橋　昭生 副理事長／中島　靖夫	副理事長／袖山　清 副理事長／宇都宮　元 副理事長／池田　謙造	副理事長／北野　幾造 副理事長／塚田　俊之 副理事長／塚田　佐	副理事長／太田　久夫 副理事長／西沢　彰敏 副理事長／塩沢　荘吉	副理事長／池田　竜雄 副理事長／久保田晴達 副理事長／北村　修一
監事	監　事／小笠原武一 監　事／依田佳主朗	監　事／北野　吉造 監　事／井合　貞雄	監　事／伊東　広文 監　事／菅原　保治	監　事／小野　亨 監　事／中島　良夫	監　事／神津　昭平 監　事／加藤竹治郎
組織名および役職者名	広報委員会／塩沢　荘吉 会員委員会／塚田　佐 奉仕委員会／池田　謙造 修練委員会／山田吉之助 理　事／小野　正孝 理　事／西沢　彰敏 理　事／宮本　肇 理　事／井田　雅雄 理　事／山田　忠男 理　事／笠井　邦夫 理　事／宇都宮　保 理　事／鹿熊　肇 理　事／水内　盛雄 理　事／小出　博治	広報委員会／塚田　武司 会員委員会／久保田　甫 奉仕委員会／鹿熊　肇 修練委員会／塚田　俊之 理　事／塚田　俊之 理　事／塩沢　荘吉 理　事／西沢　影敏 理　事／久保田晴達 理　事／井田　雅雄 理　事／宇都宮　登 理　事／鹿熊　肇 理　事／伊東　広文 理　事／山田　忠雄 理　事／塚田　武司	広報委員会／木下　浩一 総務委員会／加藤竹治郎 社会福祉委員会／塩沢　荘吉 教育青少年委員会／井田　雅夫 会員委員会／井合　卓雄 LT委員会／西沢　彰敏 経済活動委員会／土屋　磯司 国際関係委員会／小出　博治 理　事／小野　由隆 理　事／塩沢　荘吉 理　事／酒本　文隆 理　事／井田　雅夫 理　事／水内　盛雄	広報委員会／岩崎　和夫 総務委員会／鈴木宗太郎 社会福祉委員会／木下　慎一 教育青少年委員会／林部　鷹司 会員委員会／北村　修一 LT委員会／宇都宮　保 経済活動委員会／小野　由隆 国際関係委員会／土屋　磯司	広報委員会／井出　敏 総務委員会／河原　悠二 社会開発委員会／仁科　恵敏 教育青少年委員会／若麻績好美 会員委員会／橋本　浩 LD委員会／矢島　一 企画室／藤井　裕 経済活動委員会／宮本　肇 国際交流委員会／荻原　弘也 企画担当理事／近山與士郎 企画担当理事／土屋　良平 企画担当理事／鹿熊　肇 企画担当理事／塚田　喜幸 企画担当理事／鈴木宗太郎 企画担当理事／塚田　佐 企画担当理事／鷲沢　正一

年	1968（15代）	1969（16代）	1970（17代）	1971（18代）	1972（19代）
理事長	塚田　俊之	北野　吉造	松橋　昭生	土屋　磯司	仁科　恵敏
副理事長	副理事長／仁科　恵敏 副理事長／宮本　肇 副理事長／土屋　磯司	副理事長／鈴木宗太郎 副理事長／木下　雅博 副理事長／矢島　一 事務局長／富士原信夫	副理事長／橋本　浩 副理事長／富士原信夫 副理事長／鹿熊　肇 副理事長／塚田　喜幸 副理事長／小林　俊雄 副理事長／河原　悠二	副理事長／山口　文男 副理事長／藤沢　博 副理事長／鷲澤　正一 副理事長／酒本　文隆 副理事長／塩沢　堅吉	副理事長／青木恵太郎 副理事長／高木　勇 副理事長／石黒　正夫 副理事長／岩崎　和夫 副理事長／原　庸生 副理事長／藤井　一章
監事	監　事／北村　修一 監　事／塩沢　荘吉	監　事／宮本　肇 監　事／久保田晴達	監　事／鈴木宗太郎 監　事／仁科　恵敏	監　事／塚田　喜幸 監　事／木下　雅博	監　事／藤沢　博 監　事／鹿熊　肇
組織名および役職者名	広報委員会／山崎　行夫 総務委員会／堀　邦彦 社会開発委員会／鷲澤　正一 教育青少年委員会／松本　昭夫 会員委員会／宇都宮　保 指導力開発委員会／工藤　憲一 企画室／小野　正孝 経済活動委員会／酒本　文隆 国際交流委員会／太田　秀夫 国際関係委員会担当／河原　悠二 経済活動委員会担当／鈴木宗太郎 指導力開発委員会担当／久保田晴達 教育青少年委員会担当／橋本　浩 社会開発委員会担当／池田　竜雄 会員委員会担当／鹿熊　肇 広報委員会担当／矢島　一 中野飯山地区拡大委員会／近山與士郎 須坂地区拡大委員会／北野　吉造 篠ノ井地区拡大委員会／藤井　裕	広報委員会／林部　鷹司 総務委員会社会／鷲澤　正一 社会開発委員会／藤沢　博 教育青少年委員会／近山與士郎 会員開発委員会／山崎　行夫 指導力開発委員会／塚田　喜幸 企画室／鹿熊　肇 経済活動委員会／石黒　正夫 国際交流委員会／高橋　寛 中野飯山地区拡大委員会／近山與士郎 須坂地区拡大委員会／北野　吉造 篠ノ井地区拡大委員会／北村　修一 篠ノ井地区拡大委員会／千葉　潤雄	広報部会／三井袈裟治 社会開発部会／長坂　剛 青少年問題委員会／鈴木　健二 国家問題特別部会／土屋　良平 会員開発部会／北村　修一 会員サービス部会／水品　錦和 市民祭企画委員会／塩沢　堅吉 指導力開発部会／稲田　泰章 企画部会／若麻績好美 経営者開発部会／西澤　彰敏 交通問題委員会／宮沢　浄 都市計画委員会／青木恵太郎 国際交流委員会／山口　和彦 市民意識委員会／加藤　久雄 少年育成委員会／中島　庸介 環境整備委員会／諏訪部正二 市民の健康委員会／増田　博隆 観光開発委員会／山口　信行 流通問題委員会／荻原　弘也 労働問題委員会／堀　邦彦	広報委員会／滝沢　功 総務委員会／山田　誠 青少年開発委員会／深沢　博 会員開発委員会／井出　敏 会員サービス委員会／井田　雅夫 市民祭企画委員会／青木恵太郎 指導力開発委員会／笠井　孝英 企画室／池田　謙造 財務委員会／植木　修一 経営者開発委員会／鈴木　健二 交通問題委員会／高木　勇 国際交流委員会／宮川　礼二 第1部会／柄沢　重登 第2部会／高波　謙二 第3部会／原　雅邦 第4部会／小出　雅志 第5部会／松下　利雄 第6部会／宮崎　一治 第7部会／原　信広 第8部会／小林　武 第9部会／滝沢　信久 第10部会／仁科　恵敏 第11部会／竜野　晃一	広報委員会／星野　達夫 総務委員会／高波　謙二 社会開発委員会／笠井　孝英 青少年交流委員会／中島　庸介 会員開発委員会／加藤　久雄 会員サービス委員会／中島　康俊 市民祭企画委員会／竜野　晃一 指導力開発委員会／山崎　行夫 企画室／木下　雅博 財務委員会／深沢　慶一 経営開発委員会／塚田　悦也 都市計画委員会／笠井　孝英 第1部会／塚田　喜幸 第2部会／石田　修一 第3部会／水品　錦和 第4部会／石橋　正雄 第5部会／若林　栄一 第6部会／滝沢　芳一 第7部会／松沢　一男 第8部会／宮澤　浄 第9部会／千野　潤雄 第10部会／石田治一郎

年	1973（20代）	1974（21代）	1975（22代）	1976（23代）	1977（24代）
理事長	鈴木宗太郎	青木恵太郎	塩沢　堅吉	鷲澤　正一	石田治一郎
副理事長	副理事長／宇都宮　保 副理事長／井出　敏 副理事長／山崎　行夫 副理事長／諏訪部正二 副理事長／山口　和彦 副理事長／松本　昭夫	副理事長／鷲澤　正一 副理事長／高波　謙二 副理事長／深沢　博 副理事長／岡宮　照行 副理事長／小林　貞 副理事長／若麻績侑孝	副理事長／石田治一郎 副理事長／花岡　照夫 副理事長／山ノ井大治 副理事長／宮崎　一治 副理事長／丸山　永樹 副理事長／久保田輝男	副理事長／米山　一之 副理事長／中越　紀雄 副理事長／山口　信行 副理事長／小林　邦雄 副理事長／中嶋やすとし	副理事長／柄澤　重登 副理事長／西条　毅 副理事長／荒井　豊 副理事長／加藤　久雄 副理事長／渡辺　晃一 副理事長／倉石　邦男
監　事	監　事／岩崎　和夫 監　事／塩沢　堅吉	監　事／松本　昭夫 監　事／石黒　正夫	監　事／深沢　博 監　事／井出　敏	監　事／石田治一郎 監　事／若麻績侑孝	監　事／山ノ井大治 監　事／米山　一之
組織名および役職者名	広報委員会／木下　雅博 総務委員会／小林　貞 社会開発委員会／浅野　勝男 青少年開発委員会／青木　誠 サッカースクール委員会／中島　庸介 会員開発委員会／高池　忠克 市民祭企画委員会／小出　雅志 指導力開発委員会／宮沢　建治 企画委員会／岡宮　照行 財務委員会／宮野尾　敏 経営開発委員会／丸山　永樹 第1部会／山口　富雄 第2部会／長坂　剛 第3部会／小林　信吾 第4部会／柄沢　醍一 第5部会／杉浦　暢保 第6部会／倉石　邦男 第7部会／塚田　佐 第8部会／堀　邦彦 第9部会／水島　英明 第10部会／町田伍一郎	広報委員会／瀬戸　長義 総務委員会／滝沢　功 社会開発委員会／山口　信行 教育青少年委員会／山口　富雄 サッカースクール委員会／高木　勇 会員開発委員会／町田伍一郎 市民祭企画委員会／中島　康俊 指導力開発委員会／久保田輝男 企画室／深堀　久男 財務委員会／田中　隆 経営開発委員会／村山　忠義 地域対策委員会／土屋　磯司 商業近代化部会／渡辺　英夫 公共施設部会／守谷　紘一 長野ビジョン部会／宮崎　一治 リクェション部会／力　芳明 環境部会／花岡　照夫 コミュニティ部会／山ノ井大治 スポーツ部会／中越　紀雄 福祉部会／野本　勉 ふるさと部会／福沢　亘洋 交通部会／小林　邦雄 教育部会／千野　義英	広報委員会／羽生田宇多子 総務委員会／塚田　義利 社会開発委員会／宮沢　建治 青少年開発委員会／荒井　豊 サッカースクール委員会／宮川　礼二 会員開発委員会／倉石　公雄 コミュニケーション委員会／岡宮　秀明 市民祭企画委員会／石田治一郎 指導力開発委員会／米山　一之 企画室／原　庸生 財務委員会／柄澤　重登 経営開発委員会／石橋　正雄 経済問題委員会／瀬戸　長義 地域対策委員会／加藤　久雄 交通問題委員会／西沢　幸一 内報委員会／倉田　剛 政治問題委員会／鈴木　健二 第1部会／堀　邦彦 第2部会／小林　武 第3部会／青木　誠 第4部会／酒本　文隆 第5部会／町田伍一郎 第6部会／中越　紀雄 第7部会／柄沢　醍一	広報委員会／小林昌助 総務委員会／瀬戸長義 青少年開発委員会／樋口泰一 サッカースクール委員会／春日英廣 会員開発委員会／倉石邦男 コミュニケーション委員会／角田勝繁 市民祭企画委員会／高波　謙二 指導力開発委員会／吉田總一郎 総合企画委員会／清水武雄 財務委員会／藤井紀昭 経営開発委員会／長坂　剛 経済問題委員会／小林　紘 地域対策委員会／藤縄　裕 交通問題委員会／松林　毅 内報委員会／宮野尾敏 地域活動第一委員会／塩沢英一 地域活動第二委員会／小林　武 地域活動第三委員会／渡辺晃一 地方自治問題委員会／南沢友雄 都市開発委員会／倉島　譲 教育問題委員会／飯田弘巳 統一デー委員会／山口和彦	広報委員会／北山　文敏 総務委員会／藤井　紀昭 社会開発委員会／笠井　孝英 青少年開発委員会／中島　道生 サッカースクール委員会／中沢　勝 会員開発委員会／小林　忠雄 コミュニケーション委員会／松本　克幸 市民祭企画委員会／滝沢　芳一 指導力開発委員会／高橋　英司 企画委員会／青木　誠 財務委員会／小林　一義 経営開発委員会／一由　邦保 地域対策委員会／深堀　久男 交通問題委員会／大井　正信 内報委員会／渡辺　茂光 地方自治問題委員会／河合　博良 教育問題委員会／水島　英明 例会委員会／滝沢　功 OBS研究委員会／小林　邦雄 25周年企画委員会／高木　勇 出向者委員会／山崎　行夫 市民スクール事務局／山口　和彦 談話室／深沢　博

年	1978（25代）	1979（26代）	1980（27代）	1981（28代）	1982（29代）
理事長	高波　謙二	丸山　永樹	久保田輝男	小林　邦雄	春日　英廣
副理事長	副理事長／瀬戸　長義 副理事長／藤井　紀昭 副理事長／塩沢　英一 副理事長／春日　英廣 副理事長／倉島　護 副理事長／吉田總一郎	副理事長／滝沢　信広 副理事長／鈴木　健二 副理事長／倉田　剛 副理事長／真岸　武史 副理事長／守谷　紘一 副理事長／滝沢　芳一	副理事長／小林　一義 副理事長／宮澤　建治 副理事長／植木　修一 副理事長／松沢　一男 副理事長／深堀　久男 副理事長／中島　道生	副理事長／山口　富雄 副理事長／小林　紘 副理事長／塚田　義利 副理事長／中沢　勝 副理事長／酒井　正晃 副理事長／丸山　繁夫	副理事長／滝沢　功 副理事長／青木　元吉 副理事長／中島嘉一郎 副理事長／柳沢　一夫 副理事長／渡辺　敬六 副理事長／小山　健英
監　事	監　事／西条　毅 監　事／中越　紀雄	監　事／藤井　紀昭 監　事／渡辺　晃一	監　事／鈴木　健二 監　事／塩沢　英一	監　事／倉田　剛 監　事／植木　修一	監　事／山口　富男 監　事／松沢　一男
組織名および役職者名	広報委員会／長沢　朋廣 総務委員会社会／宮野尾　敏 開発委員会／松本　克幸 青少年開発委員会／内山　貞三 サッカースクール委員会／植木　修一 会員開発委員会／松山　功業 コミュニケーション委員会／渡辺　敬六 市民祭企画委員会／山口　信行 指導力開発委員会／鷹野　義博 企画委員会／丸山　永樹 財務委員会／池田　策彦 経営開発委員会／中村　千春 地域対策委員会／真岸　武史 内報委員会／小林　昌助 国際関係委員会／湯本　正善 交通問題研究委員会／竹内　功 環境問題研究委員会／宮内　義人 都市問題研究委員会／清水　貢 社会福祉問題研究委員会／中島嘉一郎 教育問題研究委員会／酒本　文隆 行政問題研究委員会／土屋　明道 25周年企画委員会／高木　勇 市民スクール推進委員会／北山　文敏	総務委員会／飯田　弘巳 財務委員会／小山　一武 内報委員会／柳沢　一夫 会員開発委員会／小林　一義 会員サービス委員会／松橋　孝夫 青少年開発委員会／若麻積千冬 市民スクール委員会／村山　忠義 地域対策委員会／竜野　秀邦 びんずる企画委員会／植木　修一 健康まつり企画委員会／徳永　公司 サッカースクール委員会／酒井　正晃 指導力開発委員会／久保田輝男 経営開発委員会／深堀　久男 社会開発委員会／高井新太郎 広報委員会／佐々木修司 第一経済問題委員会／加藤　久雄 第二経済問題委員会／瀬戸　長義 第三経済問題委員会／北村　正博 第四経済問題委員会／河井　博良 出向者委員会／山口　富雄 国際交流委員会／松沢　一男 企画委員会／倉石　邦男	総務委員会／池田　策彦 財務委員会／清住　真 企画委員会／倉田　剛 会員開発委員会／中村　千春 例会委員会／酒井　正晃 コミュニケーション委員会／丸山　繁夫 内報委員会／立野　清人 びんずる委員会／小林　邦雄 健康まつり委員会／山口　盛雄 サッカースクール委員会／高橋　俊博 指導力開発委員会／土屋　明道 経営開発委員会／竹内　功 青少年開発委員会／清水　芳夫 市民スクール委員会／塚田　貞俊 エネルギー問題委員会／加藤　孝雄 社会開発委員会／柳澤　一夫 地域対策委員会／岩井　敏 広報委員会／小林　文宗 国際関係委員会／宮原　洋一 文化委員会／諏訪部正二 高齢化社会問題委員会／小林　紘 ふるさと再発見委員会／飯島　輝雄 生きがい問題委員会／佐藤　信行	総務委員会／黒崎　秀夫 財務委員会／倉田　修 サッカースクール委員会／松本　克幸 広報・情報委員会／加藤　孝雄 内報委員会／柳沢　幸一 コミュニケーション委員会／筒井　義寛 会員開発委員会／中島嘉一郎 指導力開発委員会／福沢　亘洋 青少年開発委員会／中井　正明 びんずる委員会／塩沢　英一 社会開発総合企画委員会／笠井　孝英 社会開発第一委員会／大井　正信 社会開発第二委員会／飯島　輝雄 社会開発第三委員会／竜野　秀邦 社会開発第四委員会／小山　弘行 社会開発第五委員会／青木　元吉 社会開発第六委員会／藤井　弘 社会開発第七委員会／小山　健英 社会開発第八委員会／夏目　潔 社会開発第九委員会／飯田　弘己 社会開発第十委員会／北村　隆一 社会開発第十一委員会／村田　徹 社会開発第十二委員会／武井　哲夫 （特別委員会） 信州青年希望の船／立野　清人 健康まつり／長峰　卓義 国際交流／堅谷　芳久 高速交通網／加藤　久雄 国際障害者年／大井　正信 市街地再開発市／高波　謙二 事務局移転準備／黒崎　秀夫 年誌編纂／丸山　繁夫	総務委員会／清水　貢 財務委員会／塚田　知信 30周年企画委員会／植木　修一 例会委員会／柳沢　幸一 対外交流委員会／岩井　敏 教育問題委員会／山田　耕司 青少年開発委員会／山口　盛雄 会員交流委員会／西沢　明 行政問題研究委員会／鹿熊　厚 長期計画委員会／吉田總一郎 出向者委員会／福沢　亘洋 内報委員会／丸田献次郎 広報委員会／甘利陽一郎 指導力開発委員会／長沢　明廣 びんずる委員会／中村　千春 会員開発委員会／若麻績千冬 社会開発委員会／福島　一明 サッカースクール委員会／小山　一武 第一委員会／町田　幸一 第二委員会／平塚　俊明 第三委員会／橋爪　陽一 第四委員会／田丸　照雄 第五委員会／荒井　久生

年	1983（30代）	1984（31代）	1985（32代）	1986（33代）	1987（34代）
理事長	植木　修一	吉田總一郎	酒井　正晃	夏目　　潔	黒崎　秀夫
副理事長	副理事長／笠井　孝英 副理事長／飯田　弘巳 副理事長／鹿熊　　厚	副理事長／福沢　亘洋 副理事長／夏目　　潔 副理事長／清水　　貢 副理事長／黒崎　秀夫 副理事長／長沢　明広 副理事長／柳沢　幸一	総括副理事長／小山　弘行 副理事長／藤原　信雄 副理事長／野村　泰久 副理事長／若麻績千冬 副理事長／小川　一司 副理事長／佐々木修司 事務局長／西沢　　明	総括副理事長／橋爪　陽一 副理事長／藤原　倹二 副理事長／一由　邦保 副理事長／伝田　道隆 副理事長／倉田　　修 副理事長／池内　道雄 事務局長／中川　信幸	総括副理事長／岩井　　敏 副理事長／伊東　義次 副理事長／青木　保都 副理事長／池田　修平 副理事長／寺沢　信栄 副理事長／酒本多佳史 事務局長／竹村　敏明
監　事	監　　事／塚田　義利 監　　事／滝沢　　功	監　　事／佐藤　信行 監　　事／青木　元吉	監　　事／笠井　孝英 監　　事／清水　　貢	監　　事／小山　弘行 監　　事／福沢　亘洋	監　　事／池内　道雄 監　　事／野村　泰久
組織名および役職者名	総務室室長／小山　弘行 会員開発室室長／佐藤　信行 社会開発室室長／松本　克幸 事業室室長／岩井　　敏 政策室室長／夏目　　潔 総務委員会／竹内　　功 財務委員会／深澤　慶一 内報委員会／伝田　道隆 例会委員会／藤原　信雄 会員研修委員会／長沢　明広 指導力開発委員会／青木　保都 経営開発委員会／一由　邦保 社会開発委員会／堅谷　芳久 青少年開発委員会／青木　茂人 教育問題委員会／中野　安久 サッカースクール委員会／滝沢　憲治 行政問題委員会／伊東　義次 地域問題委員会／山本　恒夫 びんずる委員会／吉田總一郎 対外交流委員会／南沢　憲三 広報委員会／橋爪　陽一 長期計画委員会／酒井　正晃 出向者委員会／中島嘉一郎 30周年委員会／深堀　久男 （特別委員会） 青年の船／滝沢　正明 全国大会／酒井　正晃 健康まつり／井上　明彦 サケの会／青木　元吉 褒賞／小山　健英 高速交通網問題／高木　正雄 年誌／鹿熊　　厚	総務室室長／碓氷　　勉 運営室室長／若麻績千冬 会員開発室室長／滝沢　憲治 社会開発室室長／山本　恒夫 事業室室長／橋爪　陽一 総務委員会／丸田献次郎 広報委員会／宮島　章郎 渉外委員会／滝澤　芳一 例会委員会／山口日出憲 内報委員会／池内　道雄 コミュニケーション委員会／滝沢　正明 会員開発委員会／甘利陽一郎 指導力開発委員会／伝田　道隆 経営開発委員会／野村　泰久 子供の教育を考える委員会／高木　正雄 世代交流委員会／久保　　明 地域教育推進委員会／竹村　敏明 地域国際化委員会／中島嘉一郎 地域活性化委員会／小川　一司 びんずる委員会／酒井　正晃 青少年開発委員会／井上　明彦 サッカースクール委員会／笠井　孝英 財務担当理事／原　　徹爾 （特別委員会） 青年の船／川浦二三郎 健康まつり／中越　慎介 サケの会／増子　　清 褒賞／松本　克幸 高速交通網／笠原　甲一 世界合唱祭／渡辺　敬六 年誌編纂／清水　　貢	総務委員会／井田　寛行 財務委員会／丸田　義晴 渉外委員会／平塚　俊明 例会委員会／酒本多佳史 内報委員会／青山　茂樹 コミュニケーション委員会／牧野　　功 国際委員会／藤原　倹二 会員研修委員会／寺沢　信栄 会員開発委員会／岩野　　彰 指導力開発委員会／佐野　修一 経営開発委員会／日南田哲三 人とふれあい委員会／伊藤　義次 親と子供委員会／南　　信行 地域と未来委員会／池田　修平 心と文化委員会／松林　　英 市民祭委員会／武井　哲夫 サッカースクール委員会／高木　敏和 青少年開発委員会／倉田　　修 広報委員会／増子　　清 長期計画委員会／石坂　豊明 出向者委員会／飯島　信幸 地区大会準備委員会／中島　道生 ＜特別委員会＞ 青年の船／篠原　邦雄 健康まつり／宮内　達夫 サケの会／宇都宮英遠 高速交通網／柳川　正武 世代交流／木村　　明	総務委員会／高木敏和 財務担当理事／小林邦一 渉外委員会／大日方俊彦 例会委員会／荒井亮治 コミュニケーション委員会／相馬栄治郎 内報委員会／鈴木義夫 会員開発委員会／木村　　明 指導力開発委員会／関　　一朗 経営開発委員会／川浦二三郎 社会開発委員会／青木保都 青少年開発委員会／北村明彦 広報委員会／石田明夫 市民祭委員会／渡辺　敬六 サッカースクール委員会／一由　宗隆 OBS委員会／宇都宮健雄 ながの2001構想第1委員会／倉島圭三 ながの2001構想第2委員会／関　　邦則 ながの2001構想第3委員会／松林　　英 地区大会委員会／松本克幸 日本JC担当理事／井上明彦 地区協担当理事／黒崎秀夫 ブロック協担当理事／吉田幹雄 ＜特別委員会＞ 高速交通網／百瀬逸男 健康まつり／足立範夫 出向者／池田修平 青年の船／青木茂人 青連協／青山茂樹 サケの会／中山　修 世代交流／宮島章郎 単年度制問題研究会議／瀧澤憲治 年誌編纂／中川信幸	総務委員会／宗田　芳文 財務担当理事／塚田　知信 渉外委員会／吉田　幹雄 例会委員会／森山　　仁 会員サービス委員会／小山　　敏 内報委員会／松崎　芳夫 会員開発委員会／竹内　喜宣 会員研修委員会／青木　茂人 指導力開発委員会／横田　一尊 経営開発委員会／滝沢　正幸 地域文化委員会／小山　健英 地域ふれあい委員会／町田　幸一 地域国際化委員会／滝澤　　純 地域活性化委員会／戸谷　光家 ながの2001年構想委員会／柏尾　正康 市民祭委員会／宮島　章郎 サッカースクール委員会／青山　茂樹 青少年開発委員会／竹沢　秀喜 広報委員会／落合伸一郎 長期ビジョン委員会／長沢　明広 出向者委員会／若麻績千冬 35周年企画委員会／柳澤　一夫 ＜特別委員会＞ 高速交通網／小林　輝久 サケの会／小林　裕生 健康まつり／竹内　正樹 世代交流／篠原　邦雄 長野冬季オリンピック招致／丸田献次郎 信州青年連帯の船／鎌田　雄三 年誌編纂／酒本多佳史

年	1988（35代）	1989（36代）	1990（37代）	1991（38代）	1992（39代）
理事長	柳澤　一夫	長澤　明廣	若麻績千冬	倉田　修	中川　信幸
副理事長 事務局長	総括副理事長／滝沢　正明 副理事長／木村　明 副理事長／横田　一尊 副理事長／石坂　豊明 副理事長／関　邦則 副理事長／松林　英 事務局長／彦坂　慈良	総括副理事長／南　信行 副理事長／北村　明彦 副理事長／井田　寛行 副理事長／宗田　芳文 副理事長／徳永竹千代 副理事長／塚田　芳樹 事務局長／森山　仁	総括副理事長／高木　敏和 副理事長／宮島　章郎 副理事長／西沢　明 副理事長／宇都宮健雄 副理事長／中川　信幸 副理事長／吉田　幹雄 事務局長（専務理事）／丸田　義晴	総括副理事長／森山　仁 専務理事／荒井　久也 副理事長／宮澤　隆 副理事長／鎌田　雄三 副理事長／中川　弘 副理事長／小林　淳生 副理事長／田中　清一	総括副理事長／酒井　哲夫 専務理事／中野　欣哉 副理事長／大日方俊彦 副理事長／相馬栄治郎 副理事長／島田　和佳 副理事長／黒崎　隆彦 副理事長／小笠原康博
監　事	監　事／青木　保都 監　事／藤原　倹二	監　事／池田　修平 監　事／滝沢　正明	監　事／横田　一尊 監　事／宗田　芳文	監　事／吉田　幹雄 監　事／北村　明彦	監　事／鎌田　雄三 監　事／宮島　章郎
組織名および役職者名	総務委員会／勝又　潤 渉外委員会／小出　幸一 例会委員会／北原　厚 内報委員会／竹内　正樹 コミュニケーション委員会／西沢　敏明 指導力開発委員会／赤池　健 経営開発委員会／甘利陽一郎 会員開発研修委員会／黒澤　泰 びんずる委員会／西沢　明 サッカースクール委員会／倉田　修 青少年開発委員会／岩野　彰 ながの2001年構想委員会／武井　哲夫 まちづくりフォーラム委員会／小林　淳生 情報発信委員会／幸村　恭男 地域情報委員会／青沼　基夫 オリンピック委員会／丸田献次郎 長期計画委員会／笠井　憲 広報委員会／小林慎一郎 長期ビジョン委員会／長沢　明広 出向者委員会／関　一朗 35周年企画委員会／柳澤　幸一 財務担当理事／徳永竹千代 地区協担当理事／塚田　芳樹 ＜特別委員会＞ 褒　章／長沢　明広 世代交流／鈴木　義夫 健康まつり／森山　仁 青年の船／町田　幸一 アスペン／宇都宮健雄 年誌編纂／小林慎一郎	総務委員会／森山　仁 例会委員会／滝澤　純 内報委員会／宮澤　隆 渉外委員会／荒井　久也 指導力開発委員会／鎌田　雄三 経営開発委員会／林　隆夫 会員開発委員会／百瀬　逸男 会員研修委員会／奥山　法彦 びんずる委員会／鈴木　義夫 サッカースクール委員会／竹内　隆文 ミニOBS委員会／中川　弘 2001年まちづくり委員会／竹澤　秀喜 教育問題委員会／中村　隆次 青少年開発委員会／粕尾　正康 広報委員会／中山　修 オリンピック委員会／田中　清一 地域国際化委員会／和田　昌宣 地域活性化委員会／久保田知幸 地域活動委員会／森山　茂樹 市民祭会議／武井　哲夫 サッカースクール会議／一由　宗隆 ミニOBS会議／日南田哲三 財務担当理事／楢本　勝祥 ＜特別委員会＞ 出向者特別委員会／若麻績千冬 褒章特別委員会／横田　一尊 信州青年連帯の船特別委員会／滝沢　正幸	総務委員会／小笠原康博 財務担当理事／大日方俊彦 規則委員会／小川　一司 出向者渉外委員会／赤池　健 例会委員会／中野　欣哉 内報委員会／島田　和佳 対外交流委員会／林　健樹 会員開発委員会／一由　宗隆 会員研修委員会／森山　仁 経営指導力委員会／橋本　康司 びんずる委員会／丸田献次郎 サッカースクール委員会／村田　一好 青少年開発委員会／高木　秀昭 オリンピック夢委員会／荒井　久也 まちづくり委員会／酒井　哲夫 ひとづくり委員会／倉谷　光一 広域ネットワーク委員会／羽生田忠良 オリンピック渉外委員会／田中　清一 広報委員会／月岡　哲 長期ビジョン委員会／陸　信義 明日の長野委員会／日南田哲三 無任所理事／夏目　潔 ＜特別委員会＞ 褒章特別委員会／粕尾　正康 青年の船特別委員会／穂刈　秀郎 年誌編纂特別委員会／小笠原康博	総務委員会／黒崎　隆彦 財務担当理事／村井　秀行 渉外委員会／室賀　豊 長期計画委員会／中川　信幸 例会委員会／松崎　芳夫 内報委員会／渡辺　達也 対外交流委員会／金澤久仁彦 会員開発委員会／宮本　正守 会員研修委員会／小川　一司 指導力経営開発委員会／関口　豊 びんずる委員会／青山　茂樹 サッカースクール委員会／小林　武 青少年開発委員会／中島　克文 21まち委員会／大田　敬壹 21ネットワーク委員会／清水　光朗 21ひと委員会／西沢　清一 オリンピック推進委員会／加藤　吉郎 オリンピック渉外委員会／荒井　秀一 国外担当理事／塚田　芳樹 広報委員会／宮野尾　宏 明日の長野を考える委員会／新井　和弘 出向者委員会／塚田　裕一 ＜特別委員会＞ 褒章特別委員会／竹沢　秀喜 長野市青連協特別委員会／穂刈　秀郎	総務委員会／高野　雅史 財務担当理事／太田三喜男 出向者渉外委員会／斎藤　安彦 40周年準備委員会／宇都宮健雄 例会委員会／山口　健一 内報委員会／美谷島寿一 対外交流委員会／若麻績信昭 会員開発委員会／赤池　健 会員研修委員会／黒木　亮谷 指導力経営開発委員会／小林　義朋 びんずる委員会／宮澤　与一 サッカースクール委員会／宮林　睦典 青少年開発委員会／加藤　文俊 まちづくり委員会／宮下　和彦 まちづくりネットワーク委員会／柳　泰博 オリンピックまち委員会／塚田　裕一 広報委員会／和田　安夫 全国大会広報渉外委員会／塚田　芳樹 全国大会企画推進委員会／土屋龍一郎 明日の長野を考える委員会／服部　敏夫 日本JC担当理事／吉田　幹雄 地区担当理事／田中　清一 ＜特別委員会＞ 褒章特別委員会／小林　淳生 まちづくりデザイン会議／加藤　吉郎 青年の船特別委員会／中川　弘

年	1993（40代）	1994（41代）	1995（42代）	1996（43代）	1997（44代）
理事長	塚田　芳樹	宇都宮健雄	田中　精一	小笠原康博	小山　光作
副理事長 専務理事	総括副理事長／森山　茂樹 専務理事／高野　雅史 副理事長／斎藤　安彦 副理事長／篠原　邦雄 副理事長／室賀　豊 副理事長／塚田　裕一 副理事長／宮野尾　宏	総括副理事長／山本　敏夫 専務理事／和田　安夫 副理事長／羽田　和弘 副理事長／羽生田忠良 副理事長／中島　克文 副理事長／小山　光作 副理事長／高木　秀昭	総括副理事長／荒井　久也 専務理事／若麻績享則 副理事長／荒井　秀一 副理事長／酒井謙一郎 副理事長／堀江　三定 副理事長／土屋龍一郎 副理事長／武野　慶仁	総括副理事長／竹村　利器 専務理事／清水　利朗 副理事長／鷲澤　幸一 副理事長／高見澤秀茂 副理事長／渡辺　聖一 副理事長／竹内　隆文 副理事長／岩崎　佳人	総括副理事長／生澤　芳夫 専務理事／松橋　幹生 副理事長／飯島　泰臣 副理事長／狩野　土 副理事長／高橋　聖明 副理事長／宮林　睦典
監　事	監　事／中野　欣哉 監　事／宮澤　隆	監　事／篠原　邦雄 監　事／大日方俊彦	監　事／中島　克文 監　事／宮野尾　宏	監　事／酒井謙一郎 監　事／羽生田忠良	監　事／島田　和佳 監　事／堀江　三定
組織名および役職者名	40周年委員会／小川　一司 総務委員会／山本　敏夫 財務担当理事／難波　正治 出向者渉外委員会／田中　尚登 例会委員会／羽田　和弘 内報委員会／森山　久 対外交流委員会／小山　光作 会員開発委員会／荒井　祐司 指導力開発委員会／塚田　篤雄 経営問題委員会／太田　正雄 びんずる委員会／竹鼻　隆幸 サッカースクール委員会／藤沢　幸雄 青少年開発委員会／若麻績享則 まちづくり委員会／岩崎　佳人 オリンピック関係委員会／服部　俊直 広域ネットワーク委員会／高見澤秀茂 長期計画委員会／中川　弘 環境問題委員会／遠藤　隆 広報委員会／山田　雅之 褒賞委員会／北村　明彦 全国大会誘致第一委員会／土屋龍一郎 全国大会誘致第二委員会／市川　雅朗 ＜特別委員会＞ 青年の船特別委員会／宮澤　与一	総務委員会／池田　龍一 財務委員会／竹村　利器 出向者渉外委員会／小池　裕孝 例会委員会／清水　利朗 内報委員会／太田　康晴 国際交流委員会／渡辺　聖一 会員拡充委員会／武野　慶仁 会員交流委員会／狩野　土 経営指導力委員会／玉井　友雄 びんずる委員会／五明　浩之 サッカースクール委員会／中島　伸也 青少年開発委員会／渡邊　伸和 まちづくり委員会／酒井謙一郎 JCとオリンピック委員会／松本　清 広域ネットワーク委員会／堀江　三定 長期計画委員会／田中　精一 環境委員会／岡澤　元夫 広報委員会／小林　武 明日の長野委員会／宮島　章郎 褒賞委員会／田中　肇 全国大会準備委員会／竹内　隆文 理　事／中川　信幸 ＜特別委員会＞ 信州青年連帯の船特別委員会／山田　雅之 年誌編纂特別委員会／池田　龍一	総務室／室賀　豊 事業室／加藤　文俊 総務委員会／松橋　幹生 財務委員会／若林　健太 渉外委員会／武井　宏道 例会コミュニケーション委員会／永島　康弘 広報委員会／中澤　和久 会員開発委員会／塚田　哲郎 まちづくり委員会／高橋　聖明 広域ネットワーク委員会／生澤　芳夫 オリンピック委員会／鷲澤　幸一 環境委員会／若麻績敬史 青少年開発委員会／永井　英一 大会企画委員会／中島　清光 大会宿泊運輸委員会／宮林　睦典 大会運営サービス委員会／深澤　資弘 大会事業委員会／岩崎　佳人 びんずる委員会／太田三喜男 サッカースクール委員会／小玉　悦夫 理　事／小笠原康博 ＜特別委員会＞ FMびんこうじ「JCフォーラム」 運営特別委員会／荒井　秀一	全国大会実行委員長／荒井　久也 全国大会副実行委員長／小山　光作 大会総務室／松橋　幹生 大会管理室／室賀　豊 大会財務室／倉田　博光 大会広報室／生澤　芳夫 大会式典室／市川　雅朗 大会運輸室／小池　裕孝 大会宿泊室／塚田　裕一 大会交流室／土屋龍一郎 大会サービス室／服部　敏夫 地球市民事業室／渡邊　伸和 地域支援事業室／竹内　雅昭 地域応援室／加藤　文俊 総務委員会／神津　雄平 財務委員会／小川　直樹 渉外委員会／飯島　泰臣 全国大会地区調整会議／狩野　土 全国大会B/L調整会議／武野　慶仁 大会総務部会／和田　安夫 大会企画部会／中島　清光 大会登録部会／池田　龍一 大会ネットワーク部会／荒井　秀一 大会財務部会／岡澤　吉修 PR部会／倉沢　慶一 行政・トライネット部会／小林　尊 メディア・記録部会／中澤　和久 大会式典部会／深沢　資弘 宮様・諸行事部会／若麻績享則 大会運輸部会／林　宏道 市内交通部会／武井　宏道 大会宿泊部会／島田　和佳 諸会議部会／橋本　亙司 大懇親会部会／宮林　睦典 ホスピタリティー部会／加藤　文俊 大会ナイト部会／鷹見　英征 エクスカーション部会／羽田　和弘 国際協力推進部会／森山　久 地球市民ジュニア育成部会／青木　幸彦 まちづくり推進部会／小池　一夫 オリンピック関係部会／宮沢　清治 渉外委員会（副委員長）／小原　英機 渉外委員会（副委員長）／増田久仁彦 渉外委員会（副委員長）／山口　健一 財務委員会（副委員長）／八田静二郎 総務委員会（副委員長）／井出忠吉 総務委員会（副委員長）／岡　健一郎 総務委員会（副委員長）／小林　武 びんずる特別委員会／小林義朋 サッカースクール特別委員会／沖島哲也	総務委員会／岡　健一郎 財務運営委員会／岡澤　吉修 メディアネットワーク委員会／宮澤　徹 コミュニケーション委員会／荒井　久也 出向者・渉外委員会／小玉　悦夫 国際交流委員会／増田久仁彦 会員開発委員会／岡本　直之 アカデミー研修委員会／赤塚　正明 経営開発プログラム／今井　剛 オリンピック企画委員会／神津　雄平 KICIO委員会／青木　幸彦 オリンピック環境委員会／林　宏道 まちづくり委員会／小池　一夫 福祉政策委員会／中島　吉隆 JCネットワーク委員会／中山　晴男 長期計画委員会／鷲澤　幸一 青少年と教育委員会／鷹見　英征 45周年準備委員会／武井　宏道 ＜特別委員会＞ びんずる特別委員会／髙木　將晴 サッカースクール特別委員会／小林　富雄 上信越トライネット特別委員会／田中　精一 褒賞特別委員会／荒井　久也

年	1998（45代）	1999（46代）	2000（47代）	2001（48代）	2002（49代）
理事長	土屋龍一郎	鷲澤　幸一	竹内　隆文	若麻績享則	飯島　泰臣
副理事長 専務理事	総括副理事長／小池　裕孝 専務理事／小玉　悦夫 副理事長／髙木　將晴 副理事長／武井　宏道 副理事長／竹内　雅昭 副理事長／田中　尚登 副理事長／中島　伸也	総括副理事長／岩崎　佳人 副理事長／松本　清 副理事長／増田久仁彦 副理事長／小池　一夫 専務理事／千野　貴文	総括副理事長／渡辺　聖一 副理事長／橋本　圭右 副理事長／宮澤　政徳 副理事長／渡邊　伸和 専務理事／宮本　和弥	総括副理事長／室賀　豊 副理事長／近山　俊也 副理事長／若林　健太 副理事長／倉石　和明 専務理事／宮澤　徹	総括副理事長／塩沢　均 副理事長／山本　修 副理事長／石田　治 副理事長／服部　俊直 副理事長／新井　昇 副理事長／三上　淳 専務理事／倉田　浩
監事 顧問	監　事／武野　慶仁 監　事／中川　弘 顧　問／生澤　芳夫 顧　問／小笠原康博	監　事／荒井　秀一 監　事／中島　伸也	監　事／狩野　土 監　事／小池　裕孝 顧　問／土屋龍一郎	監　事／松本　清 監　事／渡邊　伸和 顧　問／土屋龍一郎 顧　問／鷲澤　幸一	監　事／増田久仁彦 監　事／渡辺　聖一 顧　問／鷲澤　幸一
組織名および役職者名	総　務　室／小林　武 運　営　室／羽田　和弘 ひと応援室／片桐　基博 21世紀まちづくり室／小池　一夫 地域事業推進室／永井　英一 夢　創　造　室／渡邊　伸和 総務委員会／塩沢　均 渉外委員会／北澤雄一郎 メディアネットワーク委員会／千野　貴文 例会コミュニケーション委員会／小池　正明 アジア交流委員会／小山　和弘 会員開発委員会／小菅　孝泰 ビジネス問題委員会／沖島　哲也 まちネット委員会／木賀田俊彦 まちづくり委員会／小林　一郎 オリンピックとまち委員会／塚田　裕一 福祉パラリンピック委員会／青木　宏 青少年委員会／北村　秀雄 サッカースクール委員会／深澤　資弘 45周年委員会／野本　大介 びんずる委員会／塚田まゆり 〈特別委員会〉 出向者特別委員会／鷲澤　幸一	国際交流室／橋本　圭右 ひと交流室／塚田まゆり Jaycee開発室／青木　幸彦 ニューリーダー開発室／林　宏道 地域政策室／宮澤　政徳 21世紀政策室／鷹見　英征 総務財務委員会／松澤　憲一 渉外委員会／宮本　和弥 メディアコミュニケーション委員会／藤澤　英司 国際化推進委員会／大城　日昇 アジア交流委員会／星野　善彦 「心の資産」推進委員会／竹内　隆文 例会コミュニケーション委員会／新井　昇 リーダーシップアカデミー委員会／若麻績享則 ビジネスアカデミー委員会／若林　健太 青少年開発委員会／滝沢　家城 会員開発委員会／石田　治 コミュニティー推進委員会／小林　尊 ネットワーク推進委員会／松田　淳 環境政策委員会／宮坂　弘 福祉政策委員会／倉石　和明 市民祭支援委員会／塩沢　均 日本JC関係特別委員会／倉沢　慶一 年誌編集特別委員会／千野　貴文	会員創造室／小玉　悦夫 会員研修室／中澤　和久 JCネットワーク室／永井　英一 地域政策室／若林　健太 地球市民開発室／倉石　和明 21世紀政策室／塩沢　均 総務・財務委員会／田子　將一 出向者・渉外委員会／中島　敏行 メディアコミュニケーション委員会／宮崎　秀夫 会員開発委員会／髙木　將晴 会員交流委員会／鏑木　俊樹 ビジネス研修委員会／山上　泰司 リーダーシップ研修委員会／飯島　泰臣 国際交流委員会／鎌倉　良収 広域ネットワーク委員会／近山　俊也 コミュニティー推進委員会／岩下　和宏 パートナーシップまちづくり委員会／羽田　和弘 青少年開発委員会／朝場祐一郎 生きがい創造社会推進委員会／竜野　泰一 JC未来ビジョン委員会／若麻績享則 市民祭支援委員会／新井　昇 年誌編集特別委員会／田子　將一	運　営　室／石田　治 Jaycee創起室／岩下　和宏 Jaycee開発室／沖島　哲也 地域政策推進室／朝場祐一郎 JCプロジェクト室／松澤　憲一 新世紀創造室／青木　宏 市民共動室／宮坂　弘 総務委員会／倉田　浩 情報サービス委員会／池田　竜夫 出向者・渉外委員会／山崎雷太郎 国際交流委員会／山本　修 会員交流委員会／竹内　秀一 会員創起委員会／水島　康明 Jaycee開発プログラム委員会／涌井　和也 豊かな地域経済創造委員会／米山　慎二 広域連携推進委員会／渡邉　茂昭 長野のかたち創造委員会／小山田雄治 LOMプロジェクト委員会／飯島　泰臣 グローバルプロジェクト委員会／中嶋　秀磨 共創社会推進委員会／竹本　浩 地域共育推進委員会／五明　久昇 コミュニティ共動第1委員会／服部　俊直 コミュニティ共動第2委員会／小林　哲雄 日本JC交流委員会／小池　正明	新たなるあたりまえ推進室／倉田　浩 愛しさ推進室／山本　修 次世代開拓室／石田　治 長野のかたち開発室／服部　俊直 長野のかたち推進室／新井　昇 長野のかたち創造室／三上　淳 総務委員会／小山浩太郎 情報ネットワーク／徳嵩　大 出向者・渉外委員会／長田　滋人 例会コミュニケーション委員会／高澤　曜宏 国際交流委員会／左右田　光 Jaycee開拓委員会／水野　雅義 地域開拓委員会／中村　智 起業家マインド推進委員会／倉石　和明 賑わいスポット開発委員会／松橋　達也 タウンマネジメント企画委員会／松本　徹也 タウンマネジメント渉外委員会／青木　幸彦 びんずる委員会／宮澤　政徳 長期ビジョン委員会／橋本　圭右 理　事／内山　幸宏 理　事／小池　正明 理　事／小林　宗義 理　事／轟　道弘 理　事／三戸部善一 理　事／宮内　隆太 理　事／宮崎　秀夫 理　事／宮本　和弥 理　事／若林　健太

年	2003（50代）	2004（51代）	2005（52代）	2006（53代）	2007（54代）
理事長	若林　健太	倉石　和明	千野　貴文	倉田　浩	鈴木　隆治
副理事長 専務理事	総括副理事長／小池　正明 専務理事／竜野　泰一 副理事長／竹本　浩 副理事長／岩下　和宏 副理事長／水野　雅義 副理事長／小山田雄治 副理事長／松橋　達生	総括副理事長／朝場祐一郎 副理事長／池田　竜夫 副理事長／宮内　隆太 副理事長／高澤　曜宏 専務理事／五明　久昇	総括副理事長／宮崎　秀夫 副理事長／松本　徹也 副理事長／鈴木　隆治 副理事長／山ノ井大樹 副理事長／徳嵩　大 専務理事／盛田勝幸	総括副理事長／林　宏道 副理事長／本道　正長 副理事長／鹿熊　聡 副理事長／山﨑雷太郎 副理事長／小林　八郎 副理事長／水島　康明 専務理事／土屋　陽平	総括副理事長／霜田　清 副理事長／左右田　光 副理事長／倉島　正光 副理事長／植木　宏一 専務理事／増田裕一郎
監事 顧問	監事／近山　俊也 監事／服部　俊直 顧問／鷲澤　幸一	監事／新井　昇 監事／岩下　和宏 顧問／飯島　泰臣 顧問／水野　雅義 顧問／鷲澤　幸一	監事／池田　竜夫 監事／水野　雅義 顧問／飯島　泰臣 顧問／鷲澤　幸一	監事／宮内　隆太 監事／松本　徹也 顧問／倉石　和明	監事／朝場祐一郎 監事／宮崎　秀夫 顧問／千野　貴文
組織名および役職者名	50周年運営室／宮崎　秀夫 国際アカデミーサポート室／米山　慎二 総務委員会／盛田　勝幸 広報委員会／本道　正長 渉外委員会／髙木　真 広域交流委員会／植木　宏一 国際交流委員会／宮野　悟 会員開発委員会／宮内　隆太 例会委員会／中村　正人 青少年開発委員会／小林　淳 ビジネス委員会／武田　桂征 長野の夢創造委員会／倉石　和明 長野のかたち創造委員会／水島　康明 50周年企画委員会／宮本　和弥 50周年記念誌委員会／千野　貴文 アカデミーホームステイ委員会／志川　孝之 アカデミー地域プログラム委員会／中嶋　秀磨 びんずる委員会／沖島　哲也 理事／野澤　敏 理事／深澤　資弘 理事／大越　真人 理事／山本　修	LOMサポート室／三戸部善一 Jaycee交流室／宮野　悟 未来開発室／宮坂　弘 Jaycee活力室／髙木　真 教育力開発室／山上　泰司 松代コラボレート室／松本　徹也 地域共動室／高澤　曜宏 総務委員会／宮坂　和彦 広報委員会／西沢　正隆 出向者・渉外委員会／吉田　のあ 例会コミュニケーション委員会／小林　真矢 広域連携委員会／宮澤　幸彦 国際交流委員会／福澤　吉晃 会員開発委員会／髙木　俊行 未来ビジョン実践委員会／千野　貴文 リーダーシップ委員会／霜田　清 ビジネス委員会／野路　美徳 地域共育推進委員会／清水　明 個性溢れる学校づくり委員会／倉田　浩 城下町魅力創造委員会／柄澤　壮重 城下町魅力推進委員会／窪田　国典 長野の夢創造委員会／鈴木　隆治 長野のかたち創造委員会／小山浩太郎 理事／中嶌　知文	総務広報室／志川　孝之 情報管理室／宮下　秀己 総務財務委員会／小林　八郎 広報渉外委員会／加藤　義広 内報記録委員会／山崎　千弘 日本JC関係委員会／松澤　吉剛 例会運営委員会／宮澤　貴光 人間力開発委員会／小泉　利広 共育実践委員会／鹿熊　聡 国際化推進委員会／土屋　陽平 地域「調和」委員会／小林　一雄 政治経済研究委員会／小出　浩幸 長野びんずる企画委員会／宮本　哲也 門前まち魅力創造委員会／伊藤　永嗣 「われらの意思」オープン会議／倉田　浩 理事／中嶋　秀磨 理事／林　宏道 理事／霜田　清 理事／宮野　悟 理事／松橋　達生 理事／西沢　正隆 理事／山上　泰司 理事／高澤　曜宏	総務委員会／坂本　千尋 財務管理委員会／中野　雅章 出向者支援委員会／木戸　智幸 広報委員会／轟　健一 内報記録委員会／前川　仁史 コミュニティ事業サポート委員会／霜田　清 例会交流委員会／植木　宏一 共育交流委員会／岡宮　秀治 国際交流委員会／増田裕一郎 会員開拓委員会／堀内　英二 経営品質向上委員会／宮下　正幸 人間力開発委員会／牛山　博史 長期ビジョン委員会／鈴木　隆治 新長野構築委員会／寺島　広之 広域ネットワーク委員会／西野　一英 門前まち探求委員会／松本　桂 びんずる探求委員会／福澤　謙一 理事／掛川　明彦 理事／五明　久昇 理事／高澤　曜宏 理事／竹本　浩 理事／樋口　敦子	運営室／柄澤　壮重 Jayceeサポート室／清水　明(129) Jaycee開発室／山﨑　千弘 市民共動室／中村　智 地域啓発室／伊藤　永嗣 Jaycee交流室／笠松　弘幸 ASPAC企画戦略室／松澤　吉剛 総務財務委員会／丸山　和俊 広報コミュニケーション委員会／藤澤　克彦 例会委員会／木賣　慈教 出向者渉外委員会／今村　光 会員開発委員会／大矢　洋丈 リーダーシップ委員会／長原　真一 コミュニティ活動推進委員会／小池　修弘 コミュニティ活動創造委員会／山本　博一 共育推進委員会／加藤恵美子 ビジネスネットワーク委員会／小林　正直 国際交流委員会／鈴木　康照 広域交流委員会／徳武　信行 長野らしさ探究委員会／髙澤　曜宏 ASPAC事業企画委員会／小山田雄治 ASPAC渉外委員会／山本　修 褒賞特別委員会／霜田　清 理事／五明　久昇 理事／土屋　陽平

年	2008（55代）	2009（56代）	2010（57代）	2011（58代）	2012（59代）
理事長	高澤　曜宏	五明　久昇	山本　修	加藤　恵美子	植木　宏一
副理事長 専務理事	総括副理事長／竹本　浩 副理事長／中村　智 副理事長／大矢　洋丈 副理事長／髙木　真 副理事長／宮下　秀己 副理事長／志川　孝之 専務理事／松澤　吉剛	総括副理事長／村山　幸造 副理事長／加藤恵美子 副理事長／宮澤　貴光 副理事長／清水　明 専務理事／大日方哲也	総括副理事長／塚原　久幸 副理事長／小坂　禎二 副理事長／中野　雅章 副理事長／木戸　智幸 副理事長／長原　真一 副理事長／宮下　健吾 専務理事／長田　滋人	総括副理事長／宮澤　貴光 副理事長／山田　啓文 副理事長／宮岡　謙介 副理事長／山崎　千弘 副理事長／内山　剛 副理事長／渡辺　圭 専務理事／小林　正和	総括副理事長／倉島　正光 副理事長／武井　秀樹 副理事長／福澤　吉晃 副理事長／和田　貴幸 副理事長／塩沢　豪 副理事長／中島　政宏 専務理事／若麻績秋嘉
監事 顧問	監　　事／小山田雄治 監　　事／山崎雷太郎	監　　事／左右田　光 監　　事／宮下　秀己	監　　事／増田裕一郎 監　　事／宮澤　貴光	監　　事／小坂　禎二 監　　事／中村　智	監　　事／大日方哲也 監　　事／小林　八郎
組織名および役職者名	総務財務委員会／宮岡　謙介 広報委員会／松橋　慎也 出向者渉外委員会／原田　達矢 例会交流委員会／村山　幸造 記念誌・褒賞委員会／西澤　基喜 会員開発委員会／小山　正晃 人間力開発委員会／宮下　健吾 地域共育委員会／北澤　竜二 国際交流委員会／木村　恒丸 地域共動委員会／渡辺　圭 市民共動委員会／保科　正徳 利他の心推進委員会／塚原　久幸 理　　事／植木　宏一 理　　事／柄澤　壮重 理　　事／五明　久昇 理　　事／左右田　光 理　　事／土屋　陽平 理　　事／前川　仁史 理　　事／増田裕一郎 理　　事／松浦　哲也 理　　事／山ノ井大樹 理　　事／山本　修	総務財務委員会／小林　正和 財務担当理事／若麻績秋嘉 広報・記録委員会／塩入　正充 会員サポート室／宮下　健吾 出向者・渉外委員会／中村　基 例会交流委員会／安田　英哲 Jaycee開発室／武田　桂征 リーダーシップ開発委員会／太田　耕一 ビジネス開発委員会／小林　美紀 JCネットワーク室／山ノ井大樹 広域連携委員会／増田裕一郎 国際交流委員会／和田　貴幸 地域開発室／西沢　正隆 地域共育推進委員会／佐藤　明宏 協働事業推進委員会／小古井昭人 OMOIYARI実践室／小山田雄治 環境事業推進委員会／小坂　禎二 国際協力推進委員会／土屋　陽平 市民共動室／中野　雅章 長野の魅力創造委員会／矢部　弘司 長野の活力創造委員会／宮崎　秀夫 未来創造室／長原　真一 会員開発委員会／平林　雄作 長期ビジョン委員会／山本　修	総務財務委員会／飯田　憲司 広報・記録委員会／大池　健 出向者・渉外委員会／石田　彰男 例会交流委員会／小池　修弘 国際交流委員会／徳武　好春 広域交流委員会／鈴木　高幸 共育交流委員会／中島　政宏 未来ビジョン委員会／加藤恵美子 会員開拓委員会／内山　剛 長野ブランド・ひとづくり委員会／塩沢　豪 長野ブランド・ものづくり委員会／大野　道啓 長野の夢創新委員会／大日方哲也 長野の愛創新委員会／山田　啓文 敬愛実践委員会／植木　宏一 理　　事／青木　寛文 理　　事／小田切康典 理　　事／金井　正樹 理　　事／神林　宏明 理　　事／清水　一臣 理　　事／左右田　光 理　　事／土屋　陽平 理　　事／中島　文晴	LOMのちから聡明室／小林　八郎 総務財務委員会／神林　宏明 法人制度対策委員会／高波雄一郎 広報記録委員会／田中　慎也 出向者渉外委員会／中島　丈晴 例会運営委員会／武井　秀樹 未来ビジョン委員会／大矢　洋丈 ビジネス委員会／一由　貴行 恵愛実践委員会／宮本　光 会員開発委員会／清水　一臣 共育交流委員会／杉村　智代 国際交流委員会／宮坂　昇道 広域交流委員会／勝山　剛頼 地域環境推進委員会／高木亜矢子 地域力開拓委員会／町田　竜彦 地域力発信委員会／足立　暁 灯明まつり委員会／江遠　昌弘 長野びんずる委員会／市岡　秀教 まちづくり推進委員会／重倉　広典 理　　事／植木　宏一 理　　事／大日方哲也 理　　事／土屋　陽平	LOMの魂サポート室／小池　修弘 総務財務委員会／野村　和正 広報記録委員会／赤地　正行 例会委員会／山口　博規 渉外委員会／藤沢　仁 未来ビジョン委員会／土屋　陽平 青少年育成委員会／新野　健 会員開発委員会／宮坂　雅樹 国際交流委員会／兪　大輝 広域交流委員会／　―― 市民連携委員会／伊藤　安芸 地域連携委員会／渡辺　康博 灯明委員会／丸山　宏城 びんずる委員会／小田切康典 理　　事／河合　達志 理　　事／木戸　智幸 理　　事／小山　正晃 理　　事／清水　明 理　　事／中野　雅章 理　　事／西澤　基善 理　　事／松澤　吉剛 理　　事／宮岡　謙介

年	2013（60代）	2014（61代）	2015（62代）	2016（63代）	2017（64代）
理事長	土屋　陽平	宮岡　謙介	和田　貴幸	中島　政宏	野村　和正
副理事長 専務理事	総括副理事長／清水　明 副理事長／町田　竜彦 副理事長／野村　和正 副理事長／新野　健 副理事長／丸山　宏城 副理事長／北澤　竜二 専務理事／渡辺　康博	総括副理事長／松澤　吉剛 副理事長／兪　大輝 副理事長／宮崎　大吾 副理事長／宇賀田伸彦 副理事長／熊木　克明 副理事長／高澤　和幹 専務理事／小山　正晃	総括副理事長／兪　大輝 副理事長／佐藤　弘和 副理事長／中沢　匠 副理事長／竹内　克斗 副理事長／中島　丈晴 副理事長／小笠原一範 専務理事／小林　宣範	総括副理事長／竹内　克斗 副理事長／加藤　大介 副理事長／竹内　健二 副理事長／松橋　和之 副理事長／百瀬　衛 副理事長／小田切康典 専務理事／　――	総括副理事長／宮崎　大吾 副理事長／安田　英俊 副理事長／赤地　正行 副理事長／春日　均哉 副理事長／畑山　昇 副理事長／小林　賢行 専務理事／松澤　充朗
監事 顧問	監　事／大日方哲也 監　事／小林　八郎 監　事／武井　秀樹 監　事／松澤　吉剛	監　事／福澤　吉晃 監　事／渡辺　康博 顧　問／植木　宏一	監　事／柄澤　壮重 監　事／福澤　吉晃 監　事／新野　健 監　事／中野　雅章	監　事／柄澤　壮重 監　事／新野　健 監　事／熊木　克明 監　事／兪　大輝	監　事／柄澤　壮重 監　事／熊木　克明 監　事／佐藤　弘和 監　事／竹内　克斗 顧　問／和田　貴幸
組織名および役職者名	LOMのちからサポート室／松橋　慎也 総務財務委員会／佐藤　弘和 広報委員会／中沢　匠 出向者渉外委員会／高澤　和幹 会員開発委員会／熊木　克明 例会委員会／中澤　富晃 地域交流委員会／宮崎　大吾 国際交流委員会／菅沼　郁男 市民連携委員会／宇賀田伸彦 青少年育成委員会／伊藤　有希 灯明まつり委員会／上市　真輔 ぴんずる委員会／坂田　吉久 60周年「伝承」委員会／宮岡　謙介 60周年「伝統」委員会／若麻績秋嘉 無任所理事／一由　貴行 無任所理事／井上　博登 無任所理事／黒田まき絵 無任所理事／中島　政宏 無任所理事／　―― 無任所理事／福澤　吉晃 無任所理事／和田　貴幸	源　流　室／西澤　基喜 総務財務委員会／佐々木　浩 広報委員会／松橋　和之 例会委員会／広瀬加菜子 出向者渉外委員会／小笠原一範 長期ビジョン委員会／竹内　克斗 地域の活力創造委員会／龍野　伸樹 青少年育成委員会／鎌田　拓平 会員開発委員会／野村　和正 広域交流委員会／長峯　光子 郷土愛醸成委員会／加藤　大介 連携のかたち伝承委員会／平林　雄作 国際交流委員会／春日　均哉 LOMの力結集委員会／市川　善隆 長野灯明委員会／畑山　昇 長野ぴんずる委員会／武井　秀樹 無任所理事／井上　博登 無任所理事／北村　博樹 無任所理事／小林　大 無任所理事／中島　政宏 無任所理事／若麻績秋嘉 無任所理事／和田　貴幸	想　集　室／一由　貴行 総務財務委員会／大前　辰憲 例会委員会／高田　弥佳 広報渉外委員会／堀内　博 会員拡大委員会／熊原　真二 エポック推進委員会／松山　直弘 新連携確立委員会／芳川　真一 地域力育成委員会／百瀬　衛 国際交流委員会／竹内　健二 JCブランド向上委員会／中島　政宏 JAYCEE結束委員会／出口　太一 夢祭伝承委員会／若麻績秋嘉 夢総和楽委員会／金箱　学 無任所理事／荒川　亘 無任所理事／宇賀田伸彦 無任所理事／熊木　克明 無任所理事／小林　大 無任所理事／小山　正晃 無任所理事／徳永　大悟 無任所理事／中森　宣明 無任所理事／野村　和正 無任所理事／増田　秀之	確かな輝きサポート室／早川　芳弘 総務財務委員会／安田　英俊 広報委員会／篠田　光宏 例会委員会／増子　健司 会員拡大委員会／小林　賢行 渉外支援委員会／伊藤　拓宗 アカデミー委員会／小林　宣範 広域連携委員会／増田　秀之 国際交流委員会／松本　夏樹 地域の希望育成委員会／松澤　充朗 地域の魅力創生委員会／髙波　浩之 長野灯明委員会／寺澤　大亮 長野ぴんずる委員会／塚田　研悟 無任所理事／一由　貴行 無任所理事／影嶋　広志 無任所理事／佐藤　弘和 無任所理事／田中　慎也 無任所理事／手塚　剛司 無任所理事／中島　丈晴 無任所理事／野村　和正 無任所理事／宮崎　大吾 無任所理事／吉澤　弘晴	光　明　室／森山アリエル 総務財務委員会／樋川　和広 広報記録委員会／武内　浩太 出向者支援委員会／伊藤　新祐 例会委員会／島田　貴規 会員開発委員会／山崎　年起 市民共働委員会／吉原進太郎 未来創造委員会／中島　丈晴 広域連携委員会／鶴田　真央 国際交流委員会／関　康児 経済研究委員会／北村　博樹 共育推進委員会／萩原　茂裕 魅力確立委員会／早川　芳弘 情熱共感委員会／田中　慎也 長野魂伝承委員会／兪　大輝 無任所理事／伊藤　拓宗 無任所理事／小田切康典 無任所理事／加藤　大介 無任所理事／鎌田　拓平 無任所理事／塚田　高大 無任所理事／　―― 無任所理事／松本　夏樹

年	2018（65代）	2019（66代）	2020（67代）	2021（68代）	2022（69代）
理事長	中沢　匠	——	伊藤　拓宗	百瀬　衛	中川　大三
副理事長 専務理事	総括副理事長／安田　英俊 副理事長／関　康児 副理事長／樋川　和広 副理事長／山﨑　年起 副理事長／北村　博樹 副理事長／ —— 専務理事／伊藤　拓宗	総括副理事長／山﨑　年起 副理事長／礒　宏典 副理事長／加藤　昇平 副理事長／吉田　茂巧 副理事長／有吉　隆 副理事長／小林　大輔 専務理事／早川　芳弘	総括副理事長／松橋　和之 副理事長／寺澤　大亮 副理事長／中川　大三 副理事長／伊藤　新祐 専務理事／鶴田　真央	総括副理事長／樋川　和広 副理事長／市川　太 副理事長／池田　和樹 副理事長／長坂　洋平 副理事長／田中隆太郎 専務理事／福島　勇太	総括副理事長／鶴田　真央 副理事長／日下部好治 副理事長／宮澤　拓也 副理事長／小林　優輔 副理事長／市川　亮 専務理事／山内　孝次
監事 顧問	監　事／柄澤　壮重 監　事／佐藤　弘和 監　事／小田切康典 監　事／宮﨑　大吾	監　事／杉村　智代 監　事／小田切康典 監　事／畑山　昇 監　事／丸山　宏城 顧　問／野村　和正	監　事／杉村　智代 監　事／丸山　宏城 監　事／早川　芳弘 監　事／吉田　茂巧	監　事／宇賀田伸彦 監　事／早川　芳弘 監　事／赤地　正行 監　事／松橋　和之 顧　問／ ——	監　事／宇賀田伸彦 監　事／赤地　正行 監　事／小林　大輔 監　事／寺澤　大亮 顧　問／伊藤　拓宗 顧　問／ ——
組織名および役職者名	協　翼　室／夏目慶太郎 総務財務委員会／小林　大輔 広報委員会／礒　宏典 例会委員会／山口　一生 出向者支援委員会／森山　翔 会員開発委員会／金澤　俊 希望育成委員会／小林　純 地域連携委員会／吉田　茂巧 国際交流委員会／市川　太 灯明委員会／石井　大輔 びんずる委員会／小林　真 65周年創力委員会／有吉　隆 65周年創伝委員会／加藤　昇平 無任所理事／池田　和樹 無任所理事／伊藤　新祐 無任所理事／小林　大登 無任所理事／鶴田　真央 無任所理事／中澤　富晃 無任所理事／中島　丈晴 無任所理事／畑山　昇 無任所理事／百瀬　衛	敬　心　室／塚田　高大 総務財務委員会／田上　直寿 広報委員会／村石　雅之 例会委員会／池田　和樹 出向者支援委員会／堤　健至 会員開発委員会／丸山　敦史 未来ビジョン委員会／中川　大三 広域連働委員会／北原　優介 国際交流委員会／小林　優輔 青少年共創委員会／田中隆太郎 スポーツのちから共生委員会／日下部好治 まつりのこころ共鳴委員会／藤沢　岳 まつりのこころ継承委員会／加藤久美子 無任所理事／赤羽　悠一 無任所理事／石井　大輔 無任所理事／市川　太 無任所理事／窪　智敬 無任所理事／関　恒外 無任所理事／増子　健司 無任所理事／松橋　和之 無任所理事／百瀬　衛 無任所理事／山口　一生	昂　然　室／鵜野　裕基 総務広報委員会／長坂　洋平 例会委員会／笠井　智 出向者支援委員会／福島　勇太 全国大会招致委員会／久保田一臣 会員開発委員会／冨沢　大樹 未来育成委員会／宮澤　拓也 地域ビジョン委員会／今井　昌実 国際交流委員会／宮尾　龍介 灯明委員会／千葉　一平 びんずる委員会／中森　孝 無任所理事／有吉　隆 無任所理事／池田　和樹 無任所理事／礒　宏典 無任所理事／加藤　昇平 無任所理事／小林　優輔 無任所理事／島田　貴規 無任所理事／田中　裕樹 無任所理事／田中隆太郎 無任所理事／田上　直寿 無任所理事／樋川　和広 無任所理事／百瀬　衛 無任所理事／山口　一生	思いやりの心協動室／増子　桂介 総務財務委員会／村田　雄介 広報渉外委員会／山内　孝次 例会委員会／宮崎　伸孝 未来ビジョン委員会／窪　智敬 会員拡大委員会／小井土　祥 青少年育成委員会／塚田　翠 国際交流委員会／若麻績憲義 地域経済委員会／増田　年晴 灯明委員会／市川　亮 びんずる委員会／西澤　圭一 無任所理事／有吉　隆 無任所理事／礒　宏典 無任所理事／加藤　昇平 無任所理事／佐藤　廉 無任所理事／清水　努 無任所理事／白土巴瑠香 無任所理事／鶴田　真央 無任所理事／中川　大三	根幹立志室／松本　拓城 拡大戦略特別委員会／田中　裕樹 総務財務委員会／佐藤　廉 ブランディング委員会／白土巴瑠香 未来資本創造委員会／清水　努 環境ビジネス委員会／岡本　洋平 国際交流委員会／石井　隆幸 びんずる委員会／中森　孝 まち創生委員会／唐木沢正晃 無任所理事／礒　宏典 無任所理事／加藤　昇平 無任所理事／金丸　望美 無任所理事／窪　智敬 無任所理事／久保田一臣 無任所理事／田上　直寿 無任所理事／塚田　翠 無任所理事／中村　律王 無任所理事／福島　勇太 無任所理事／増子　桂介 無任所理事／若麻績憲義

年	2023（70代）	2024（71代）	2025（72代）
理事長	加藤　昇平	有吉　隆	村田　雄介
副理事長 専務理事	総括副理事長／市川　亮 副理事長／唐木沢正晃 副理事長／田上　直寿 副理事長／村田　雄介 副理事長／福島　勇太 副理事長／若麻績憲義 専務理事／増子　桂介	総括副理事長／小林　優輔 副理事長／佐藤　廉 副理事長／倉島　盛朗 副理事長／長田　雄介 副理事長／窪　智敬 副理事長／塚田　翠 専務理事／宮澤　遥	総括副理事長／唐木沢正晃 副理事長／宮尾　龍介 副理事長／山崎　義明 副理事長／若林　裕士 副理事長／小林　徹哉 専務理事／白土巴瑠香
監事 顧問	監事／宇賀田伸彦 監事／小林　大輔 監事／鶴田　真央 監事／山内　孝次 顧問／伊藤　拓宗	監事／宇賀田伸彦 監事／山内　孝次 監事／田上　直寿 監事／福島　勇太 顧問／伊藤　拓宗	監事／松橋　丈雄 監事／田上　直寿 監事／礒　宏典 監事／福島　勇太 顧問／伊藤　拓宗 顧問／加藤　昇平
組織名および役職者名	根幹　室／楯本　大介 総務財務委員会／長田　雄介 広報渉外委員会／横川　歩 例会委員会／中村　律王 地域創生委員会／宮尾　龍介 灯明委員会／町田　孝幸 希望育成委員会／宮澤　遥 国際交流委員会／倉島　盛朗 会員拡大委員会／小林　徹哉 ぴんずる委員会／竹内　友哉 70周年レガシー委員会／有吉　隆 70周年ビジョン委員会／礒　宏典 無任所理事／勝野　照章 無任所理事／日下部好治 無任所理事／窪　智敬 無任所理事／宮澤　拓也 無任所理事／若林　裕士	根幹支援室／小山　宙軌 総務渉外委員会／山崎　義明 例会委員会／中野　大輔 拡大広報戦略委員会／北島　謙治 ゆめ創造委員会／西澤　孝仁 かち共創委員会／福岡　正芳 未来ビジョン委員会／若林　裕士 国際交流委員会／中川　広三 ぴんずる灯明委員会／日下部好治 無任所理事／伊藤　新祐 無任所理事／唐木沢正晃 無任所理事／小林　徹哉 無任所理事／白土巴瑠香 無任所理事／田中　裕樹 無任所理事／楯本　大介 無任所理事／町田　孝幸 無任所理事／松本　拓城 無任所理事／宮澤　拓也 無任所理事／村田　雄介 無任所理事／若麻績憲義	志縁　室／池田　竜一 総務渉外委員会／大工原遼太 広報例会委員会／黒岩　龍 国際交流委員会／楯本　大介 未来黎明委員会／西澤　準 青少年共創委員会／原山　大樹 市民力向上委員会／高野　裕也 灯明委員会／峯村　侑弥 会員拡大委員会／宮沢　洋平 ぴんずる委員会／伊藤　陵輔 無任所理事／北島　謙治 無任所理事／窪　智敬 無任所理事／倉島　盛朗 無任所理事／小森　穂高 無任所理事／塚田　翠 無任所理事／福岡　正芳 無任所理事／町田　信也 無任所理事／宮澤　遥 無任所理事／若麻績憲義

ANNUAL REPORT／REVIEW 2025

発 行 日　2026年2月7日

発　　行　公益社団法人長野青年会議所
長野市大字鶴賀（七瀬中町）276番地
長野商工会議所３階

発 行 人　村田　雄介

監　　修　宮尾　龍介

編　　集　広報例会委員会
編 集 長　堀内　清文
委 員 長　黒岩　　龍
副委員長　小泉　　渓
佐藤　　廉
委　　員　海野　良瑛
関原　　司
杉本　　陽
戸谷　保明
町田　信也
丸山　真一
準 会 員　青木　孝裕
早川　巧起
両角　　享

制　　作　カシヨ株式会社

JCI NAGANO

公益社団法人 長野青年会議所

〒380-0904
長野市大字鶴賀(七瀬中町)276番地
長野商工会議所3階
TEL 026-228-3260
FAX 026-228-3278
URL https://nagano-jc.or.jp

◇この冊子は再生紙を使用しています。

Instagram Facebook X